

資料 1

白石町町民アンケート調査報告書

令和3年7月

白石町

目次

調査概要	1
回答者属性.....	2
白石町への愛着心などについて.....	5
白石町での普段の暮らしについて	24
白石町での暮らし全般について.....	40
これからの暮らしについて	63
地域活動について.....	73
新型コロナウイルス感染症の影響について.....	100
これからの白石町について	106

調査概要

- 調査対象:18歳以上の白石町民
- 調査期間:令和3年5月1日～5月15日
- 調査方法:郵送調査とインターネットを用いた調査を併用
- サンプル数:2,000
- 抽出方法:無作為抽出

配布数	回収数	有効回答票数	回収率
2,000	883 (郵送:728) (WEB:155)	879 (郵送:727) (WEB:152)	44.0%

【注】

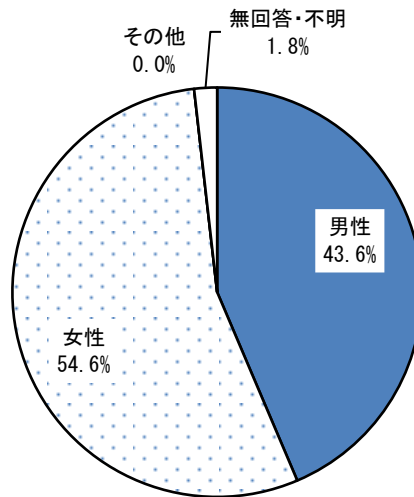
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答・不明」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

回答者属性

問1 あなたの性別は。

「女性」が54.6%、「男性」が43.6%となっています。

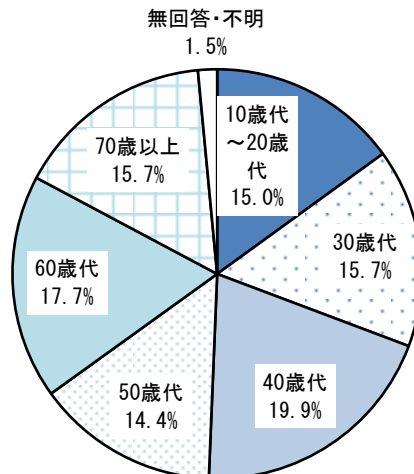
N=879



問2 あなたの年齢は。

「10歳代～20歳代」は15.0%、「30歳代」は15.7%、「40歳代」は19.9%、「50歳代」は14.4%、「60歳代」は17.7%、「70歳以上」は15.7%となっています。

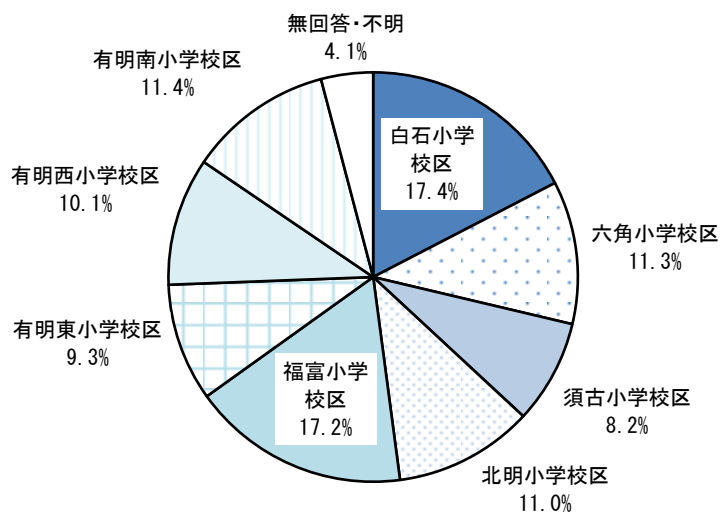
N=879



問3 あなたのお住まいの地区は。

「白石小学校区」が18.0%で最も高くなっています。次いで「福富小学校区」が17.3%、「有明南小学校区」が11.5%で続いています。

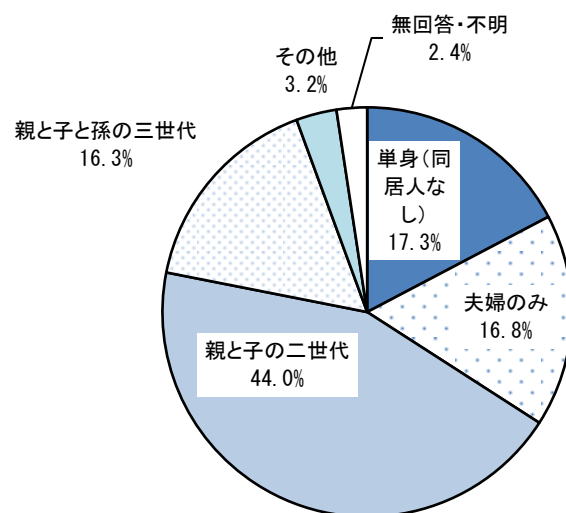
N=879



問4 あなたの家族構成は。

「親と子の二世代」が44.0%で最も高くなっています。次いで「単身(同居人なし)」が17.3%、「夫婦のみ」が16.8%で続いています。

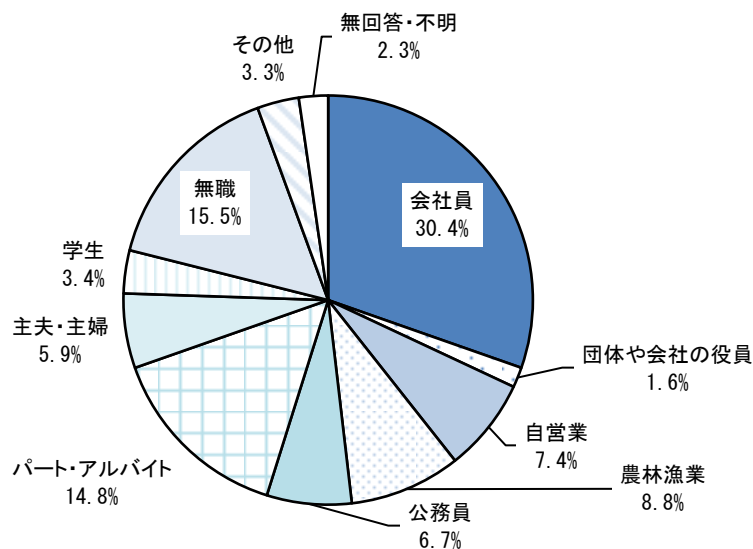
N=879



問5 あなたの職業は。

「会社員」が30.4%で最も高くなっています。次いで「無職」が15.5%、「パート・アルバイト」が14.8%となっています。

N=879



【その他】

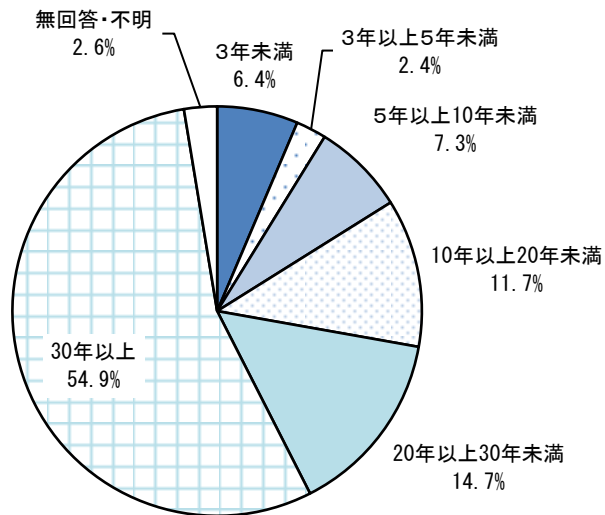
かがやきの丘利用／病院／縫製業／障がい者事業所へ通所／保育士／農業研修生／介護職／福祉／育休中／B型支援

白石町への愛着心などについて

問6 あなたは、白石町に住んで延べ何年経ちますか。

「30年以上」が54.9%を占めています。次いで「20年以上30年未満」が14.7%、「10年以上20年未満」が11.7%となっています。

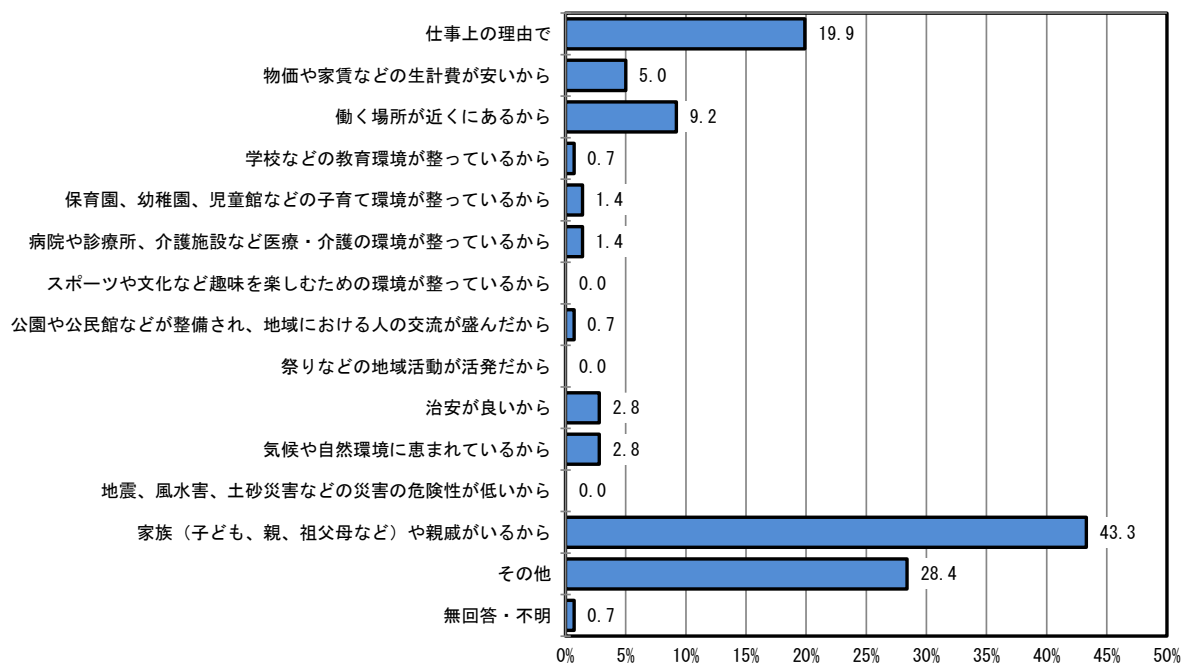
N=879



問6-1 (問6で①～③)あなたが白石町に住むことになった理由は何ですか。

「家族（子ども、親、祖父母など）や親戚がいるから」が43.3%で最も高くなっています。次いで「仕事上の理由で」が19.9%、「働く場所が近くにあるから」が9.2%が続いています。

N=141

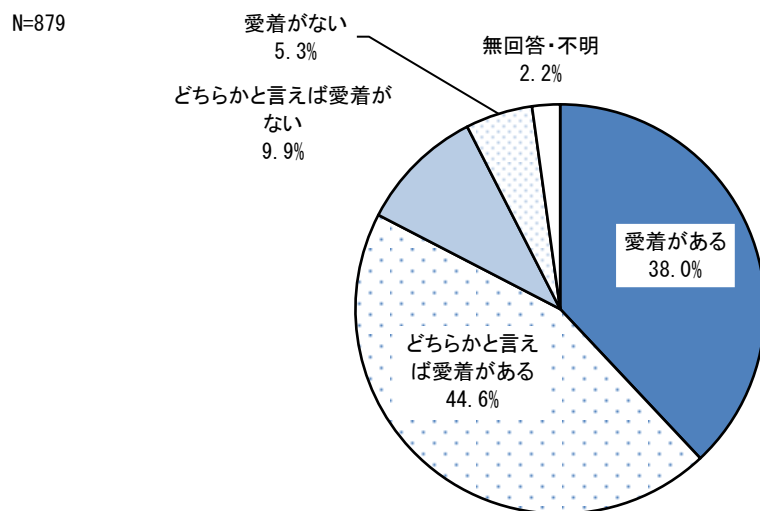


【その他】

グループホーム入所のため／結婚／スーパーが近くにあるため／様々な市町村へ行きやすいため／義理実家が近い方が良くと旦那に言われたから／Uターン／嫁さんの仕事場が近いから／親の介護のため／佐賀医大に近い／地域の方々が優しいから／実家なので／当時父が透析をしているため／共立病院へ転院しようと思い白石町に来た／結婚した夫と自分の職場の中間地点だから／夫の転職／気に入った家があったため

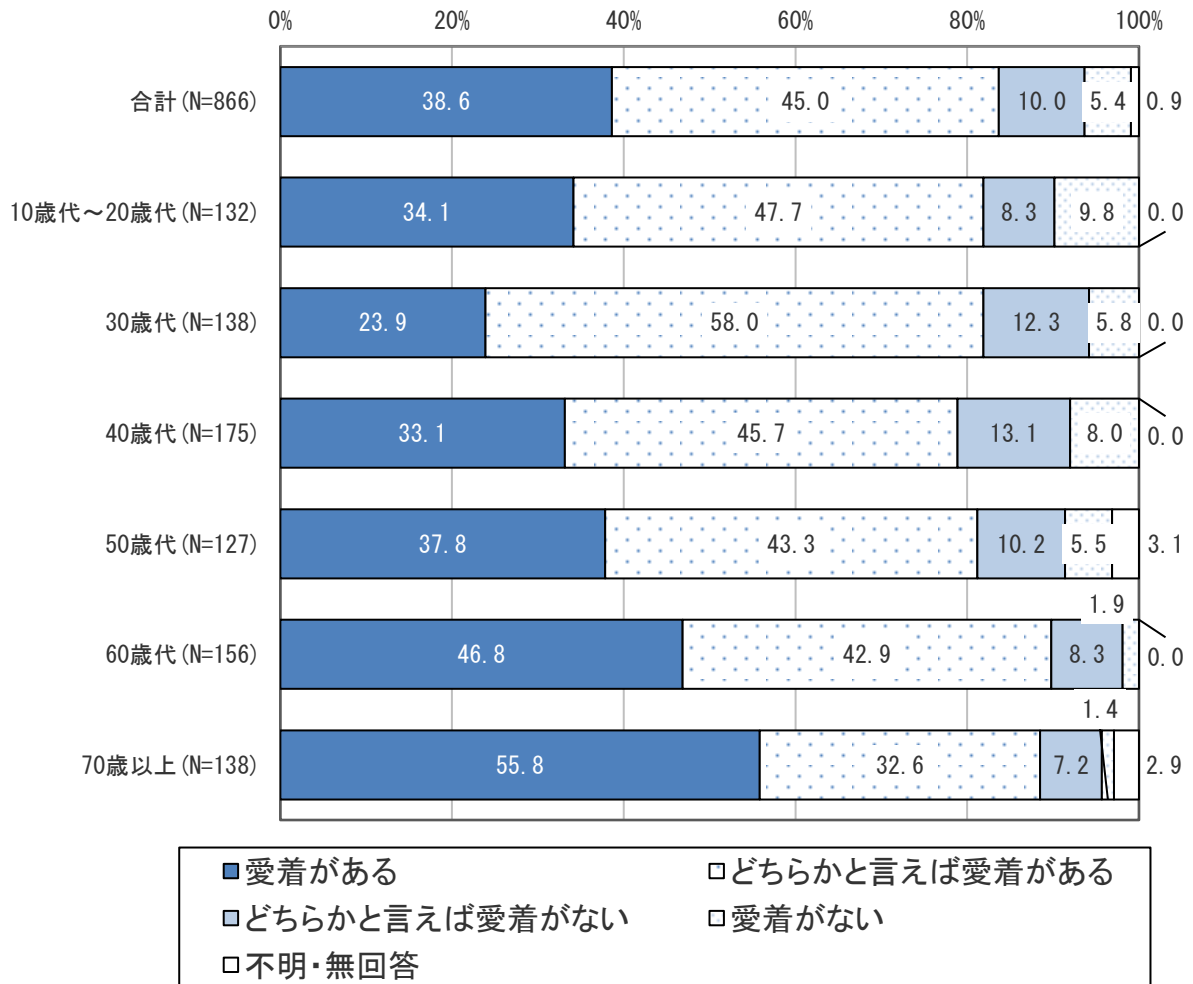
問7 あなたは、白石町に愛着を感じますか。

「どちらかと言えば愛着がある」が 44.6%で最も高くなっています。次いで「愛着がある」が 38.0%、「どちらかと言えば愛着がない」が 9.9%が続いています。



【年代別クロス】

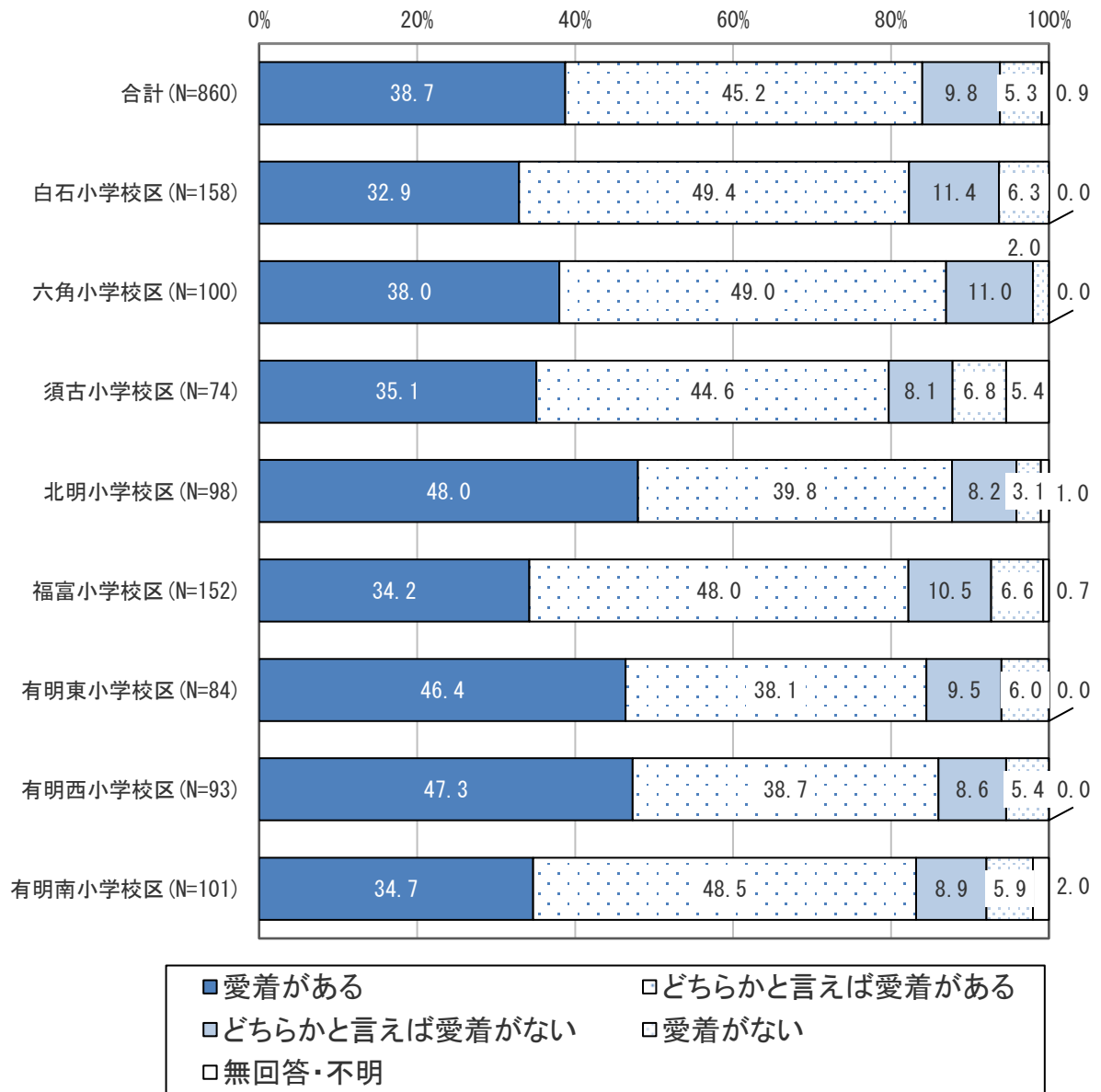
年代別にみると、「愛着がある」は「70歳以上」が最も高く、「30歳代」が最も低くなっています。30歳代から年代が上がるにつれて、その割合も上昇しています。「愛着がある」と「どちらかと言えば愛着がある」を合計した割合は、「10歳代～20歳代」から「50歳代」で約80%、それ以上の年代で約90%となっています。



*クロス表の合計グラフにおいて、単純集計の結果とは異なっている。これは、年代別であれば「年齢」、地区別であれば住んでいる「地区」、これらに関する問において回答していないサンプルは、クロス集計から除いているためである。以下、同様

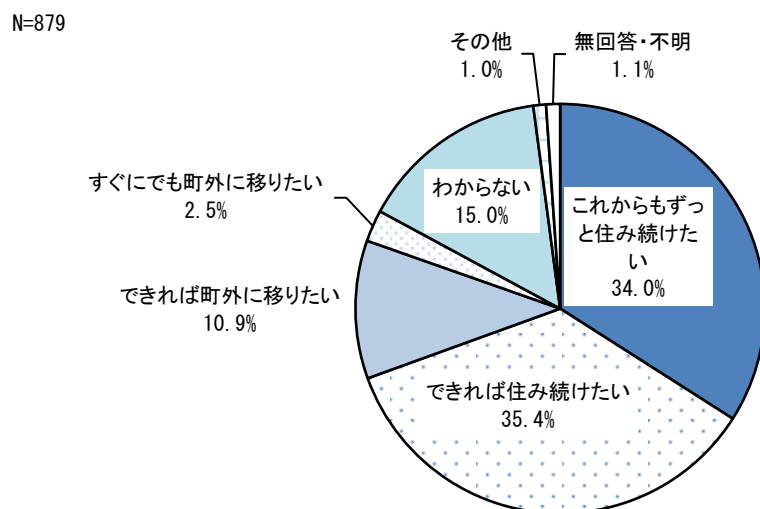
【地域別クロス】

地域別にみると、「愛着がある」が最も高いのは「北明小学校区」となっており、最も低くなっているのは「白石小学校区」となっています。“愛着がある”（「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」の合計）の割合は、どの校区でも約80%となっています。



問8 あなたは、これからも白石町に住み続けたいと思いますか。

「できれば住み続けたい」が35.4%で最も高くなっています。次いで「これからもずっと住み続けたい」が34.0%、「わからない」が15.0%が続いています。

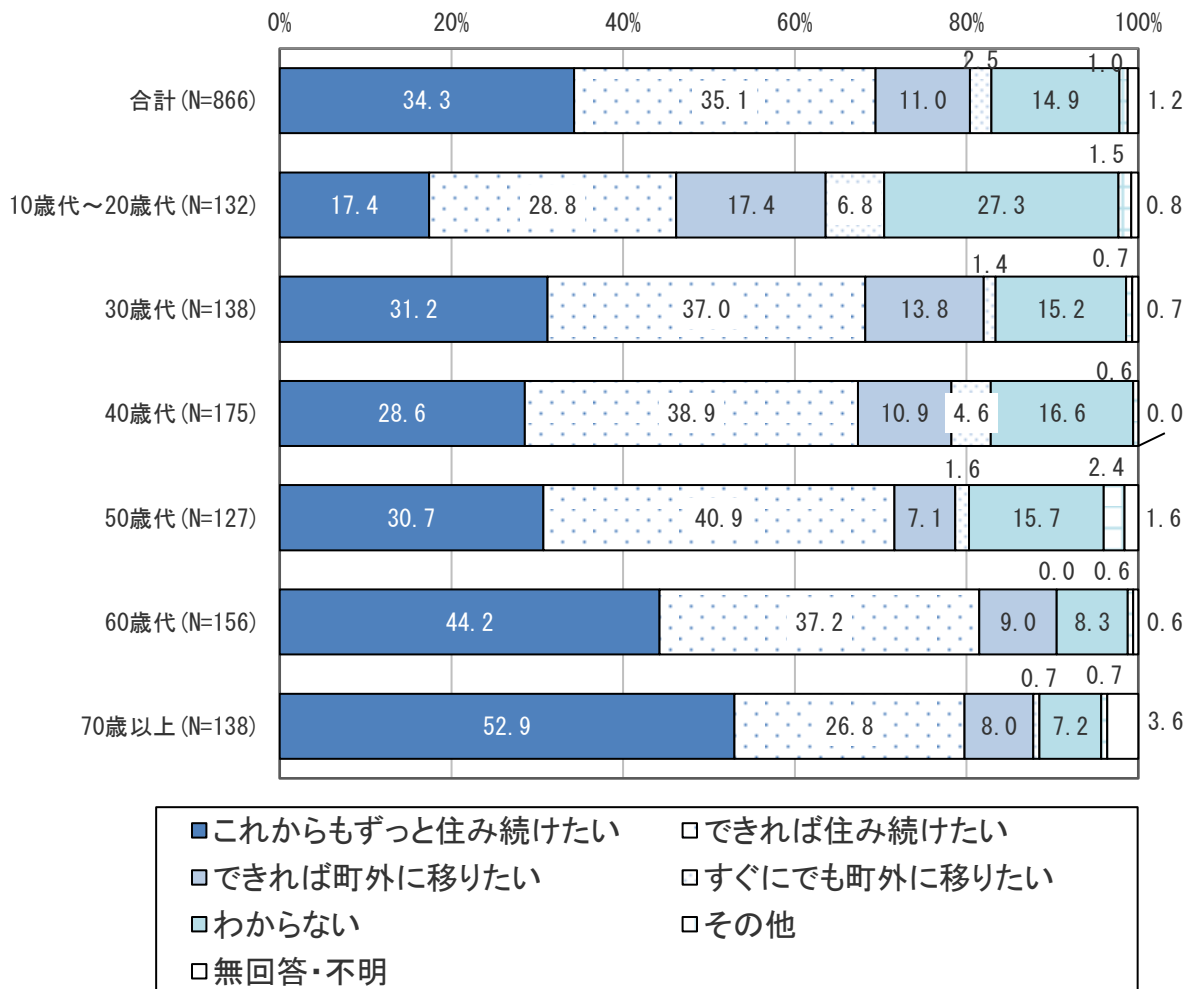


【その他】

交通の便が悪く不便／元は佐世保市出身なので、会社定年後は帰るつもりでいるから／住み続けたいが水害が怖いため、対策をしてもらえれば住み続けたい／両親が亡くなればわからない／私たち夫婦で終わりとなる

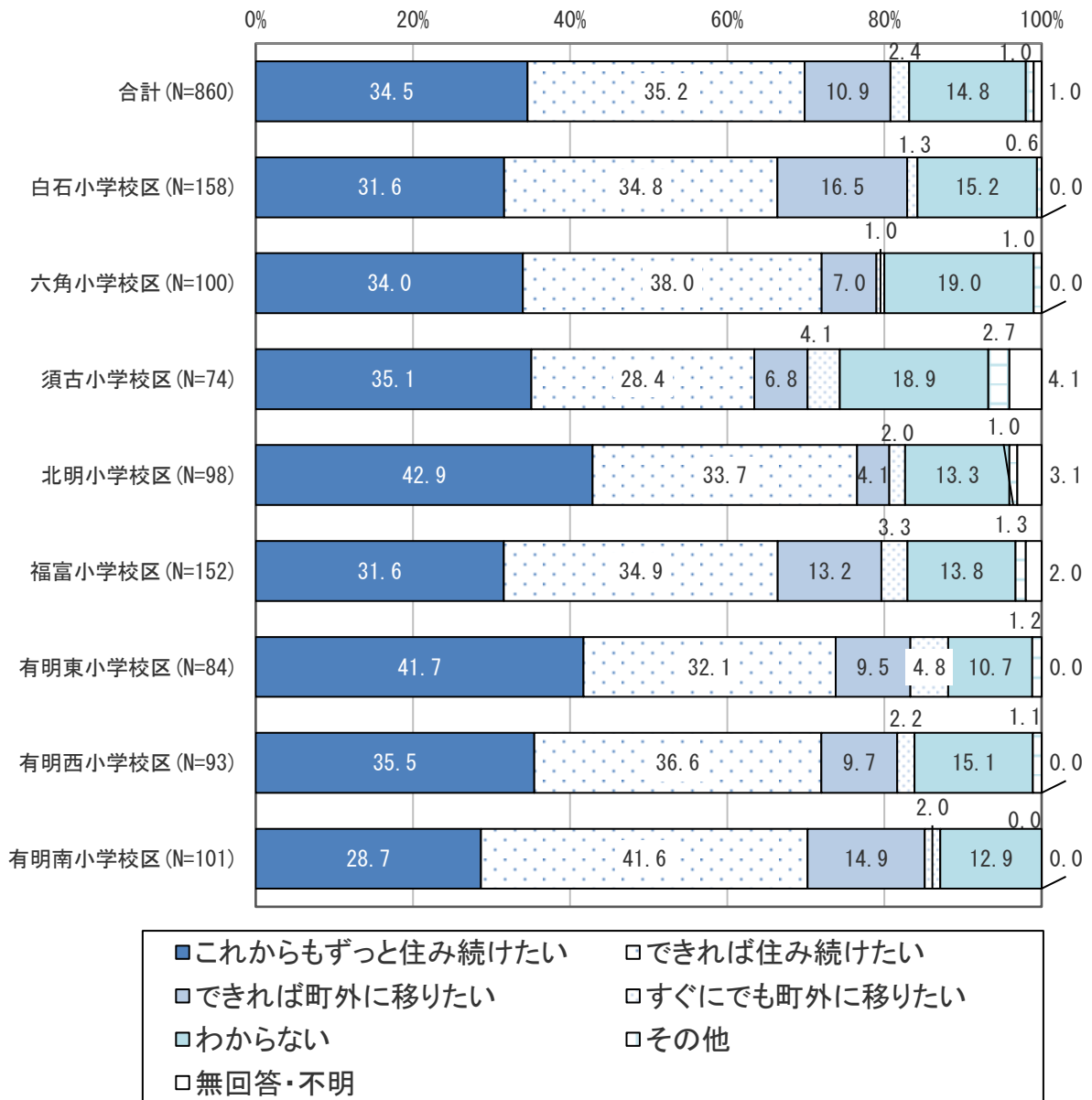
【年代別クロス】

年代別にみると、「住み続けたい」（「これからもずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」との合計）の割合が最も高いのは「60歳代」（81.4%）となっており、最も低いのは「10歳代～20歳代」（46.2%）となっています。



【地区別クロス】

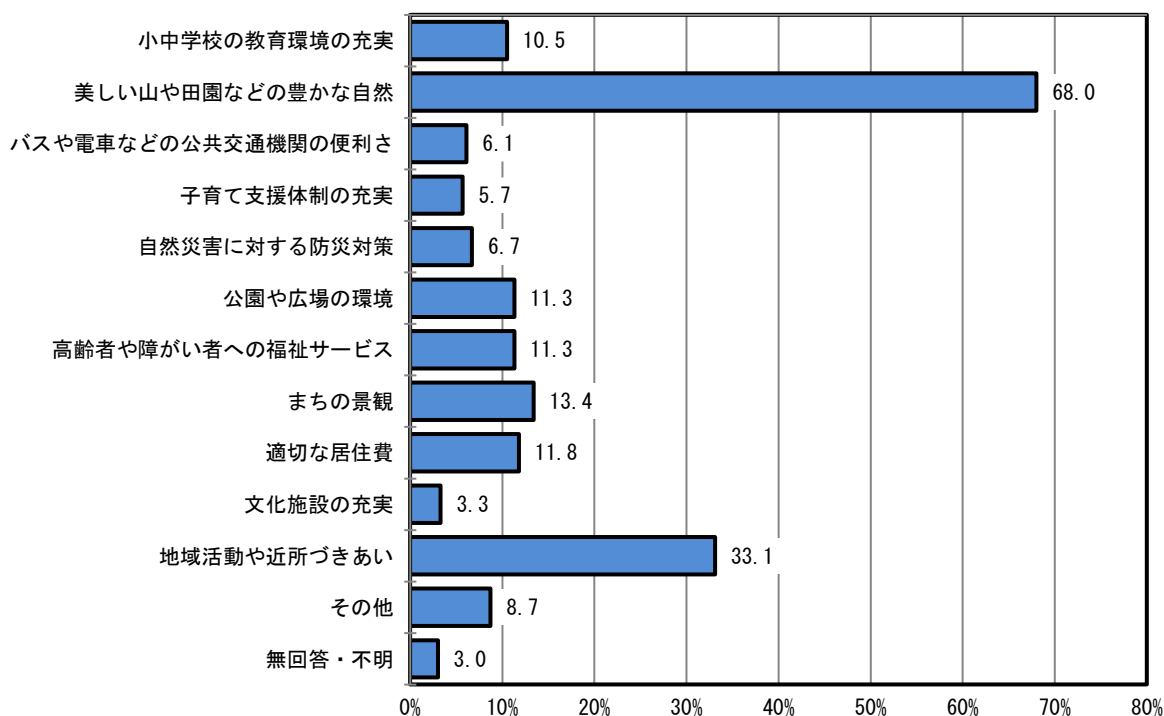
地区別にみると、「住み続けたい」（「これからもずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」との合計）の割合が最も高いのは「北明小学校区」（76.6%）となっており、最も低いのは「須古小学校区」（63.5%）となっています。



問 8 - 1 (問 8 で①か②) あなたが思う、白石町の魅力は何ですか。

「美しい山や田園などの豊かな自然」が 68.0%を占めています。「地域活動や近所づきあい」が 33.1%、「まちの景観」が 13.4%で続いています。

N=610



【その他】

役場の方々の優しさ／住み慣れているから／実家暮らしの方が楽／家を建てたから／故郷だから／病院が行きやすい／特産品（玉ねぎ、レンコン、イチゴなど）／全部充実／考えたことはない／農業の町／自然災害が少ない／食べ物がおいしい（米・玉ねぎ・レンコンなど）／住み続けたいではなく、住み続けなければならない／義父母宅がある／人柄が良い／安らげる環境／病院やスーパー、ドラッグストアの充実／今現在住んでいるから／のんびりしている／野菜がもらえる／これからもっと魅力ある町に私がする！！／水がおいしい／出生地という愛着／家族がいるから／会社に近いから／

【年代別クロス】

年代別にみると、どの年代においても「美しい山や田園などの豊かな自然」が最も高くなっています。またどの年代においても「地域活動や近所づきあい」が高くなっています。「10歳代～20歳代」では「まちな景観」、「30歳代」では「公園や広場の環境」、「40歳代」では「小中学校の教育環境の充実」、「50歳代」では「高齢者や障がい者への福祉サービス」「まちな景観」、「60歳代」では「適切な居住費」、「70歳以上」では「高齢者や障がい者への福祉サービス」が高くなっています。

	全体 (N=601)	10歳代 ～20歳代 (N=61)	30歳代 (N=94)	40歳代 (N=118)	50歳代 (N=91)	60歳代 (N=127)	70歳以上 (N=110)
小中学校の教育環境の充実	10.5	8.2	10.6	16.1	7.7	10.2	8.2
美しい山や田園などの豊かな自然	68.4	65.6	62.8	68.6	71.4	74.8	64.5
バスや電車などの公共交通機関の便利さ	6.0	1.6	5.3	4.2	4.4	7.1	10.9
子育て支援体制の充実	5.8	4.9	17.0	5.1	2.2	2.4	4.5
自然災害に対する防災対策	6.8	4.9	3.2	3.4	2.2	11.8	12.7
公園や広場の環境	11.3	19.7	20.2	12.7	5.5	7.1	7.3
高齢者や障がい者への福祉サービス	11.3	3.3	2.1	5.9	14.3	13.4	24.5
まちな景観	13.5	27.9	8.5	13.6	14.3	14.2	8.2
適切な居住費	11.5	9.8	9.6	10.2	5.5	18.1	12.7
文化施設の充実	3.3	1.6	1.1	4.2	-	5.5	5.5
地域活動や近所づきあい	33.4	24.6	19.1	28.8	29.7	39.4	51.8
その他	8.3	6.6	11.7	12.7	6.6	7.1	4.5
無回答・不明	3.0	-	2.1	2.5	2.2	3.1	6.4

【地区別クロス】

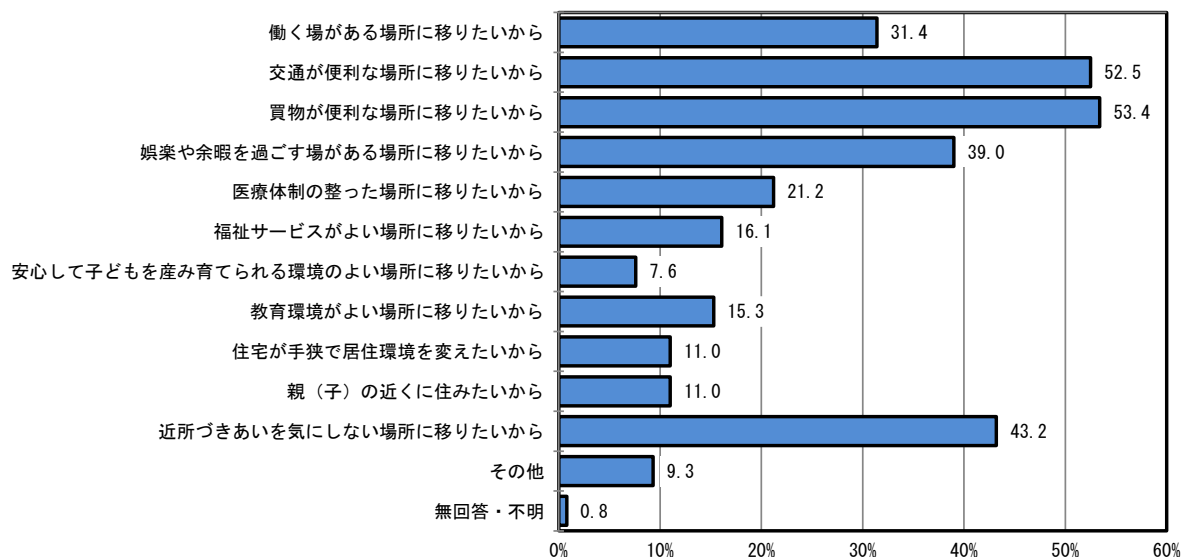
地区別にみると、どの小学校区でも「美しい山や田園などの豊かな自然」「地域活動や近所づきあい」が高くなっています。

	全体 (N=600)	白石小学校区 (N=105)	六角小学校区 (N=72)	須古小学校区 (N=47)	北明小学校区 (N=75)	福富小学校区 (N=101)	有明東小学校区 (N=62)	有明西小学校区 (N=67)	有明南小学校区 (N=71)
小中学校の教育環境の充実	10.5	6.7	12.5	12.8	18.7	10.9	9.7	6.0	8.5
美しい山や田園などの豊かな自然	68.5	74.3	59.7	78.7	70.7	57.4	71.0	71.6	70.4
バスや電車などの公共交通機関の 利便さ	6.0	11.4	12.5	-	-	3.0	3.2	3.0	11.3
子育て支援体制の充実	5.8	5.7	6.9	4.3	4.0	5.9	9.7	6.0	4.2
自然災害に対する防災対策	6.8	5.7	11.1	4.3	5.3	8.9	12.9	4.5	1.4
公園や広場の環境	11.3	14.3	9.7	2.1	6.7	7.9	24.2	10.4	14.1
高齢者や障がい者への福祉サービス	11.2	13.3	12.5	8.5	8.0	14.9	9.7	11.9	7.0
まちの景観	13.5	11.4	13.9	14.9	6.7	17.8	16.1	16.4	11.3
適切な居住費	11.5	10.5	13.9	6.4	14.7	15.8	12.9	6.0	8.5
文化施設の充実	3.3	2.9	1.4	-	1.3	5.9	4.8	6.0	2.8
地域活動や近所づきあい	33.5	30.5	26.4	34.0	46.7	33.7	33.9	26.9	36.6
その他	8.3	13.3	12.5	6.4	8.0	7.9	6.5	7.5	1.4
無回答・不明	3.0	2.9	2.8	2.1	2.7	2.0	4.8	6.0	1.4

問 8 - 2 (問 8 で③か④) あなたが白石町外に移りたい理由は何ですか。

「買物が便利な場所に移りたいから」が 53.4%を占めています。「交通が便利な場所に移りたいから」が 52.5%、「近所づきあいを気にしない場所に移りたいから」が 43.2%で続いています。

N=118



【その他】

稼げないから／過疎化が進みお年寄りばかりになり、部落役員等の役まわりが早いため／義親の近くに住みたくないから／町民税が高すぎるから／子育て支援や若い世代への定住支援がしっかりしている市町へうつりたい／冠水するから／若い人の職場(仕事)がない／水害(災害)が怖い／町内企業の給与の少なさ／

【年代別クロス】

年代別にみると、「10歳代～20歳代」では、「働く場がある場所に移りたいから」「交通が便利な場所に移りたいから」「買物が便利な場所に移りたいから」「娯楽や余暇を過ごす場がある場所に移りたいから」が高くなっています。「30歳代」では「買物が便利な場所に移りたいから」「交通が便利な場所に移りたいから」「娯楽や余暇を過ごす場がある場所に移りたいから」「近所づきあいを気にしない場所に移りたいから」が高くなっています。「40歳代」では「近所づきあいを気にしない場所に移りたいから」が最も高く、次いで「働く場がある場所に移りたいから」「交通が便利な場所に移りたいから」となっています。「50歳代」、「60歳代」では「交通が便利な場所に移りたいから」「買物が便利な場所に移りたいから」が高く、次いで「近所づきあいを気にしない場所に移りたいから」となっています。「70歳以上」では「交通が便利な場所に移りたいから」「買物が便利な場所に移りたいから」「娯楽や余暇を過ごす場がある場所に移りたいから」が高くなっています。

	全体 (N=117)	10歳代 ～20歳代 (N=32)	30歳代 (N=21)	40歳代 (N=27)	50歳代 (N=11)	60歳代 (N=14)	70歳以上 (N=12)
働く場がある場所に移りたいから	31.6	53.1	38.1	37.0	-	7.1	8.3
交通が便利な場所に移りたいから	52.1	50.0	66.7	37.0	54.5	57.1	58.3
買物が便利な場所に移りたいから	53.0	53.1	76.2	33.3	54.5	64.3	41.7
娯楽や余暇を過ごす場がある場所に移りたいから	39.3	50.0	52.4	29.6	27.3	21.4	41.7
医療体制の整った場所に移りたいから	21.4	15.6	33.3	18.5	18.2	21.4	25.0
福祉サービスがよい場所に移りたいから	16.2	12.5	19.0	11.1	9.1	21.4	33.3
安心して子どもを産み育てられる環境のよい場所に移りたいから	7.7	9.4	28.6	-	-	-	-
教育環境がよい場所に移りたいから	14.5	3.1	42.9	18.5	9.1	-	8.3
住宅が手狭で居住環境を変えたいから	11.1	3.1	23.8	18.5	18.2	-	-
親（子）の近くに住みたいから	11.1	9.4	4.8	11.1	9.1	28.6	8.3
近所づきあいを気にしない場所に移りたいから	43.6	34.4	52.4	51.9	45.5	42.9	33.3
その他	9.4	3.1	9.5	22.2	-	14.3	-
不明・無回答	0.9	-	-	-	-	-	8.3

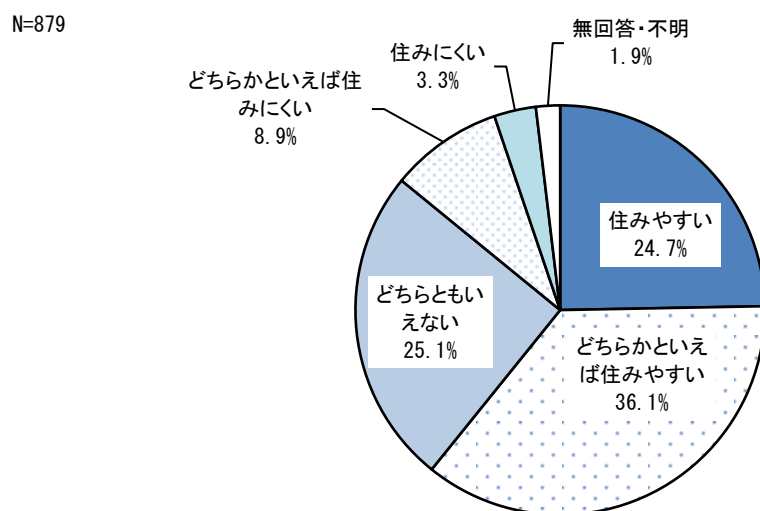
【地区別クロス】

地区別にみると、全体的に「交通が便利な場所に移りたいから」「買物が便利な場所に移りたいから」「近所づきあいを気にしない場所に移りたいから」が高くなっています。

	全体 (N=115)	白石小学 校区 (N=28)	六角小学 校区 (N=8)	須古小学 校区 (N=8)	北明小学 校区 (N=6)	福富小学 校区 (N=25)	有明東小 学校区 (N=12)	有明西小 学校区 (N=11)	有明南小 学校区 (N=17)
働く場がある場所に移りたいから	32.2	17.9	37.5	37.5	-	20.0	58.3	54.5	47.1
交通が便利な場所に移りたいから	52.2	39.3	25.0	50.0	50.0	76.0	58.3	36.4	58.8
買物が便利な場所に移りたいから	53.9	42.9	37.5	37.5	50.0	76.0	66.7	54.5	47.1
娯楽や余暇を過ごす場がある場所に移りたいから	40.0	50.0	62.5	12.5	33.3	36.0	41.7	36.4	35.3
医療体制の整った場所に移りたいから	21.7	14.3	12.5	37.5	33.3	28.0	25.0	18.2	17.6
福祉サービスがよい場所に移りたいから	15.7	21.4	12.5	12.5	16.7	12.0	8.3	9.1	23.5
安心して子どもを産み育てられる環境のよい場所に移りたいから	7.8	14.3	-	-	-	8.0	16.7	9.1	-
教育環境がよい場所に移りたいから	13.9	21.4	-	-	-	24.0	25.0	-	5.9
住宅が手狭で居住環境を変えたいから	11.3	21.4	12.5	-	-	8.0	16.7	-	11.8
親（子）の近くに住みたいから	11.3	14.3	12.5	12.5	-	20.0	-	9.1	5.9
近所づきあいを気にしない場所に移りたいから	43.5	39.3	50.0	25.0	33.3	56.0	58.3	36.4	35.3
その他	9.6	17.9	-	25.0	16.7	4.0	8.3	-	5.9
不明・無回答	0.9	-	-	12.5	-	-	-	-	-

問9 あなたは、白石町が住みやすいまちだと思いますか。

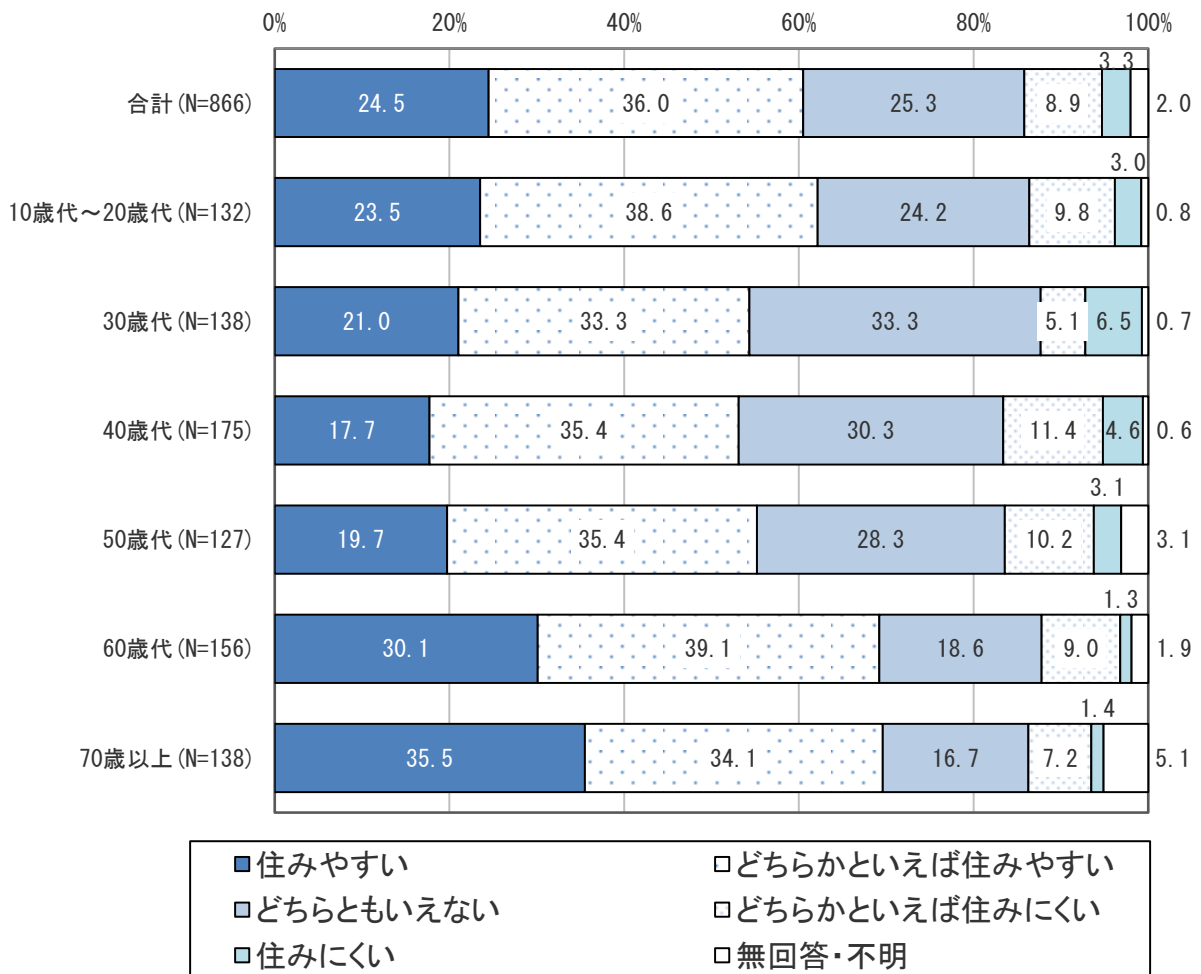
「どちらかといえば住みやすい」が36.1%で最も高くなっています。次いで「どちらともいえない」が25.1%、「住みやすい」が24.7%が続いています。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計は、60.8%となっています。



【年代別クロス】

年代別にみると、「住みやすい」（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は、「10歳代～20歳代」では約60%、30歳代～50歳代では約50%、60歳代以上では約70%となっています。

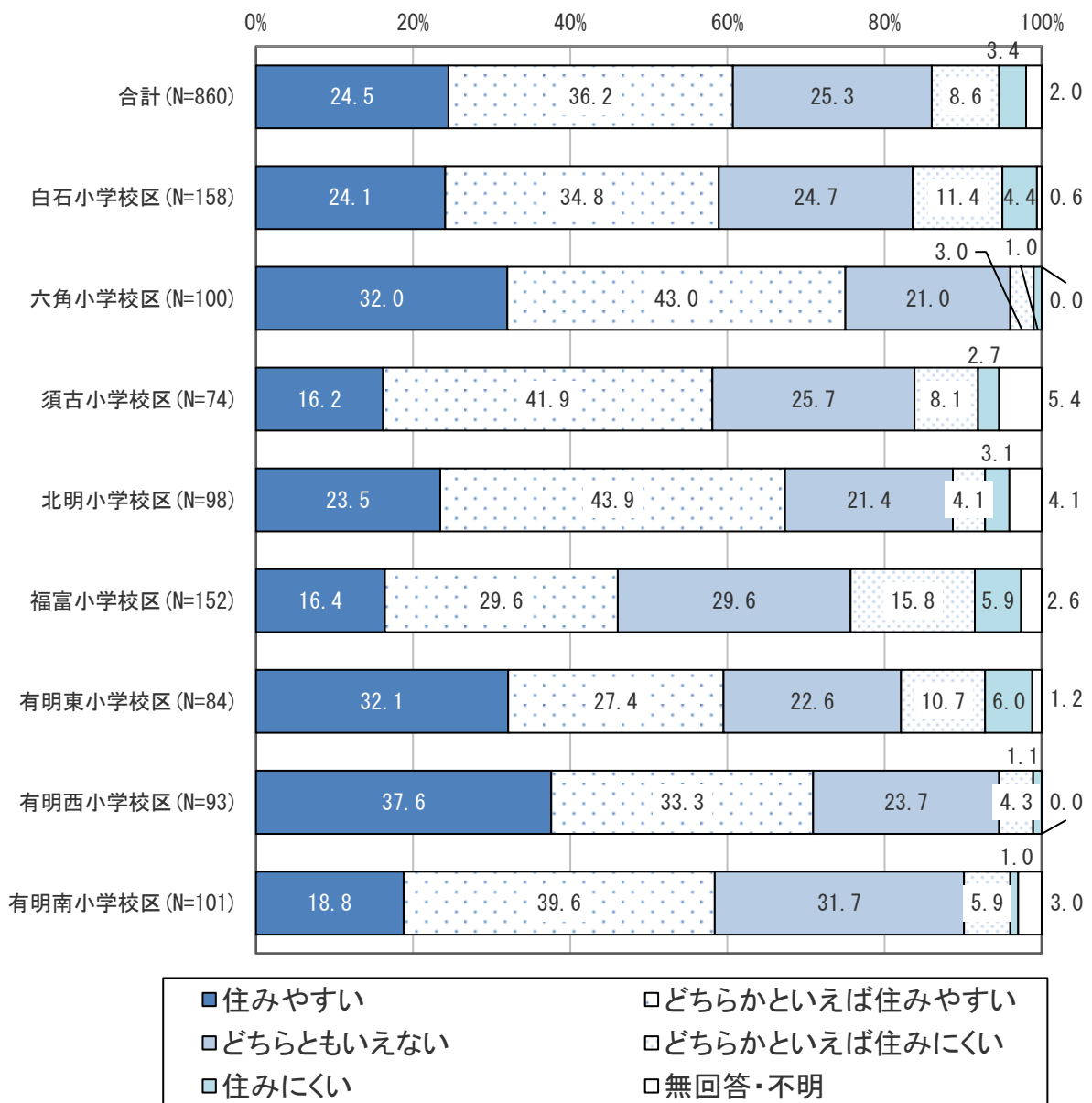
「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計）が最も高くなっているのは「40歳代」（16.0%）、次いで「50歳代」（13.3%）となっています。



【地区別クロス】

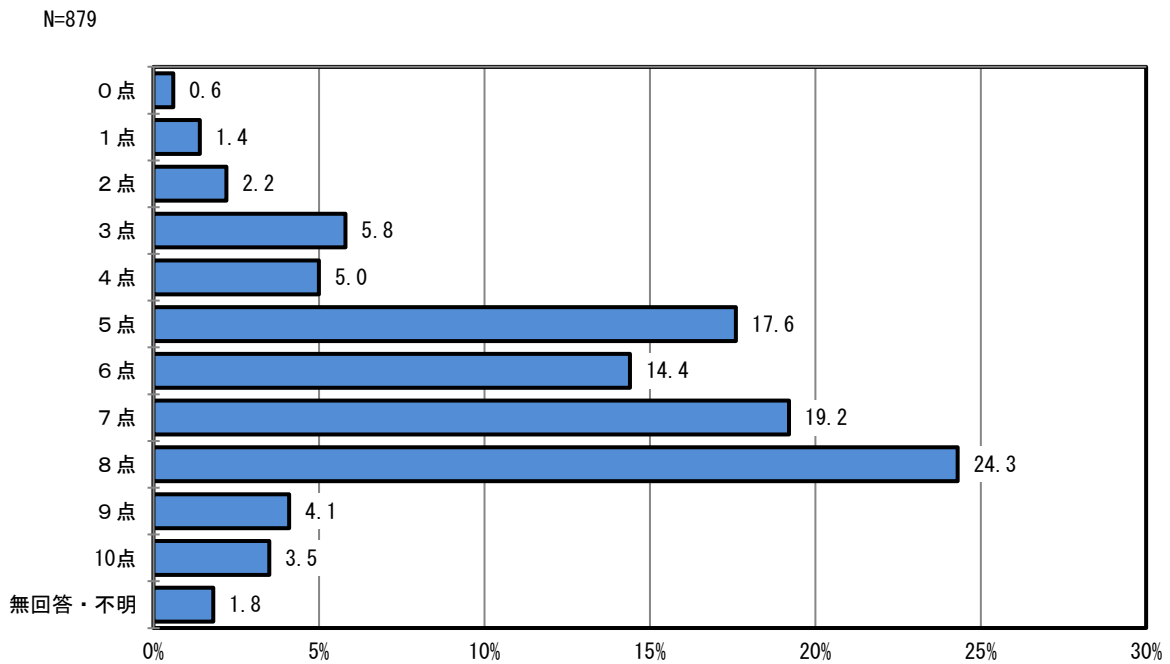
地区別にみると、“住みやすい”（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）が最も高くなっているのは、「六角小学校区」（75.0%）となっています。逆に最も低くなっているのは、「福富小学校区」（46.0%）となっています。

“住みにくい”（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」との合計）が最も高くなっているのは「福富小学校区」（21.7%）となっています。



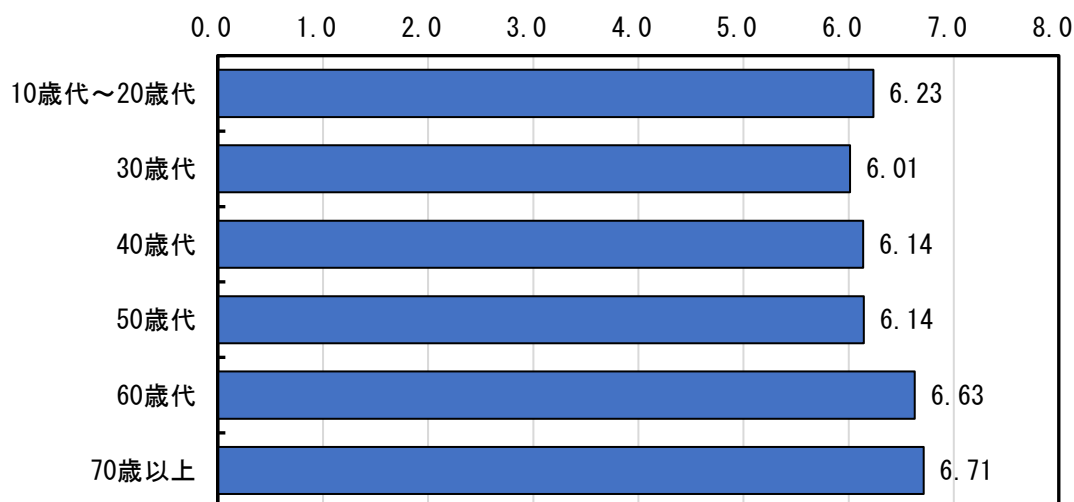
問10 あなたが思う、白石町における暮らしの満足度は、どれくらいですか。10点満点で、0～10点で点数を付けてください。（数量）

「8点」が24.3%で最も高くなっています。次いで「7点」が19.2%、「5点」が17.6%で続いています。なお、得点の平均値は、**6.31**となっています。



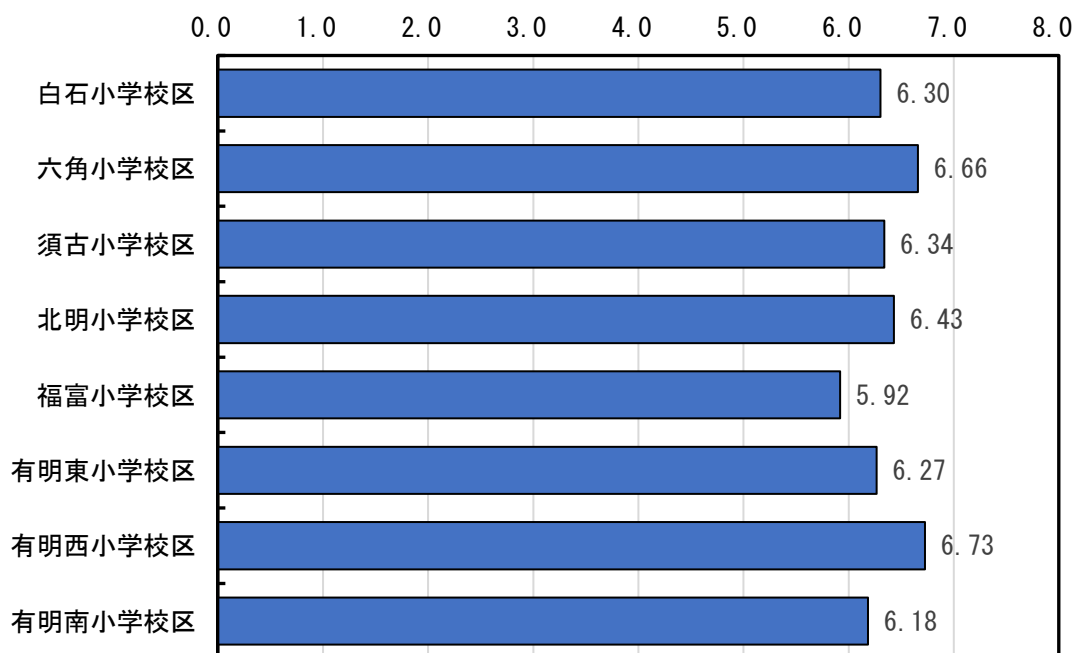
【年代別クロス】

年代別に満足度の平均値をみると、最も高いのは70歳以上で6.71となっています。逆に最も低いのは30歳代で6.01となっています。



【地区別クロス】

地区別に満足度の平均値をみると、最も高いのは「有明西小学校区」で6.73となっています。逆に最も低いのは「福富小学校区」で5.92となっています。

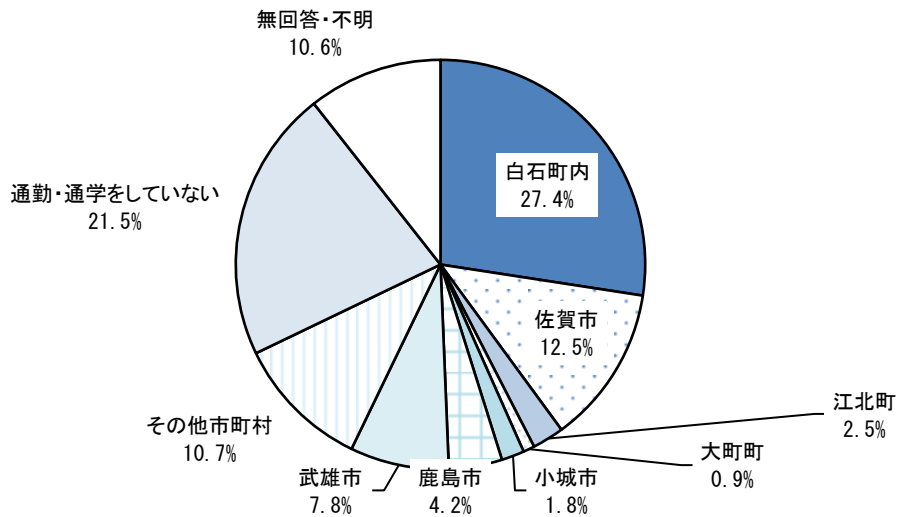


白石町での普段の暮らしについて

問11 あなたの通勤・通学先はどこですか？

「白石町内」が27.4%で最も高くなっています。次いで「通勤・通学をしていない」が21.5%、「佐賀市」が12.5%で続いています。

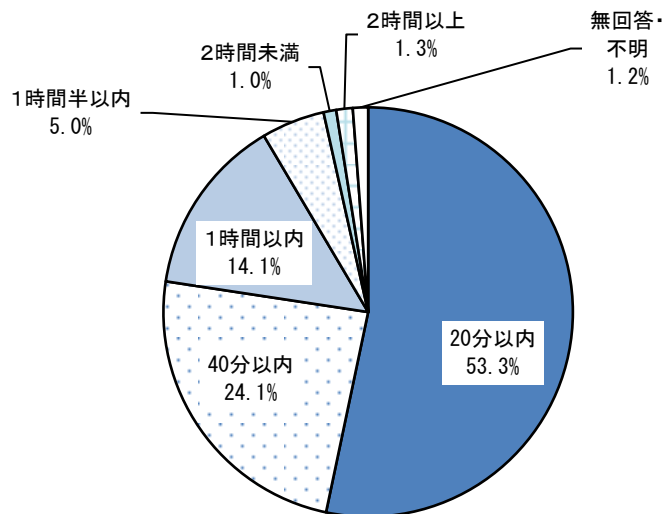
N=879



問11-1 (問11で①～⑧)あなたが通勤・通学にかかる時間はどのくらいですか？

「20分以内」が53.3%を占めています。「40分以内」が24.1%、「1時間以内」が14.1%で続いています。

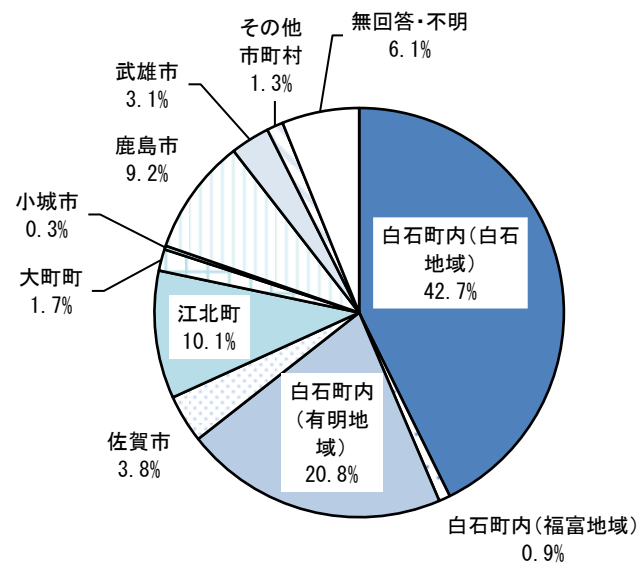
N=597



問12 毎日の食料など日常的な買い物はどちらで行っていますか。最もよく買い物するところを教えてください。

「白石町内（白石地域）」が42.7%で最も高くなっています。次いで「白石町内（有明地域）」が20.8%、「江北町」が10.1%が続いています。

N=879



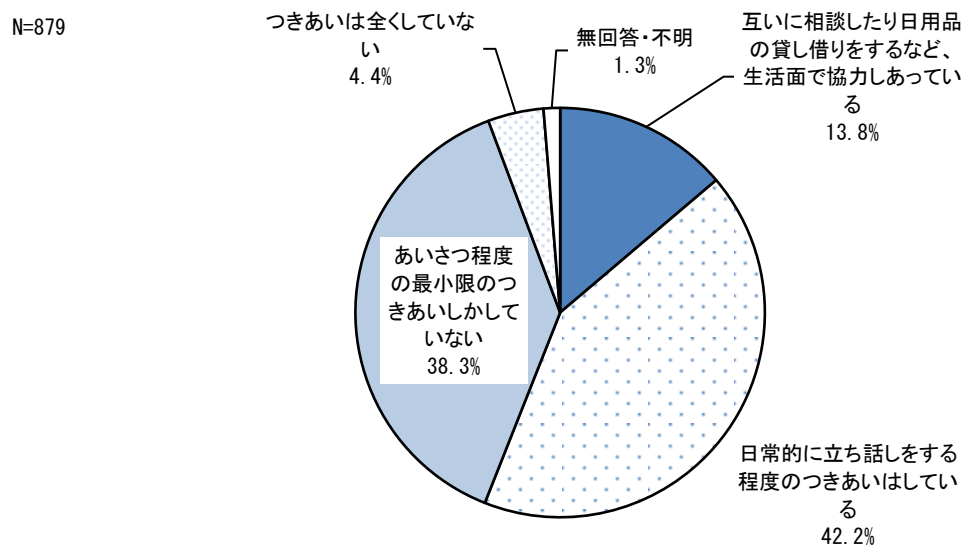
【地区別クロス】

地区別にみると、「白石小学校区」「六角小学校区」「須古小学校区」「北明小学校区」では、「白石町内（白石地域）」が最も高くなっており、「福富小学校区」では「江北町」、「有明東小学校区」「有明西小学校区」では「白石町内（有明地域）」、「有明南小学校区」では「鹿島市」が最も高くなっています。

	全体 (N=860)	白石小学校区 (N=158)	六角小学校区 (N=100)	須古小学校区 (N=74)	北明小学校区 (N=98)	福富小学校区 (N=152)	有明東小学校区 (N=84)	有明西小学校区 (N=93)	有明南小学校区 (N=101)
白石町内（白石地域）	42.3	63.3	67.0	50.0	62.2	30.9	19.0	24.7	12.9
白石町内（福富地域）	0.9	-	1.0	-	-	4.6	-	-	-
白石町内（有明地域）	21.3	13.3	5.0	5.4	23.5	3.3	58.3	51.6	27.7
佐賀市	3.8	2.5	2.0	5.4	3.1	9.9	2.4	2.2	1.0
江北町	10.2	7.0	9.0	9.5	2.0	36.8	1.2	-	2.0
大町町	1.6	3.2	2.0	4.1	-	2.0	-	1.1	-
小城市	0.3	0.6	-	-	-	0.7	-	-	1.0
鹿島市	9.2	0.6	2.0	2.7	2.0	2.6	15.5	10.8	44.6
武雄市	3.1	3.8	4.0	6.8	1.0	1.3	1.2	3.2	5.0
その他市町村	1.0	-	2.0	1.4	1.0	1.3	-	1.1	2.0
無回答・不明	6.0	5.7	6.0	14.9	5.1	6.6	2.4	5.4	4.0

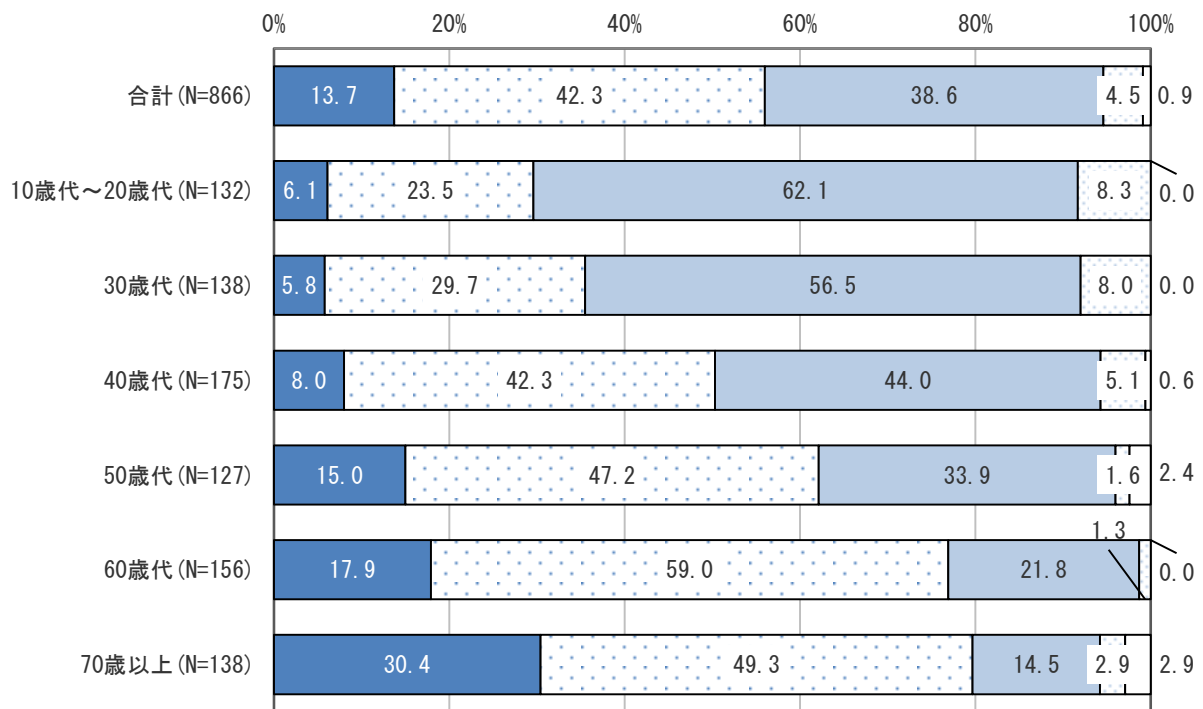
問13 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。つきあいの程度について教えてください。

「日常的に立ち話しをする程度のつきあいはしている」が 42.2%で最も高くなっています。次いで「あいさつ程度の最小限のつきあしかしていない」が 38.3%、「互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている」が 13.8%で続いています。



【年代別クロス】

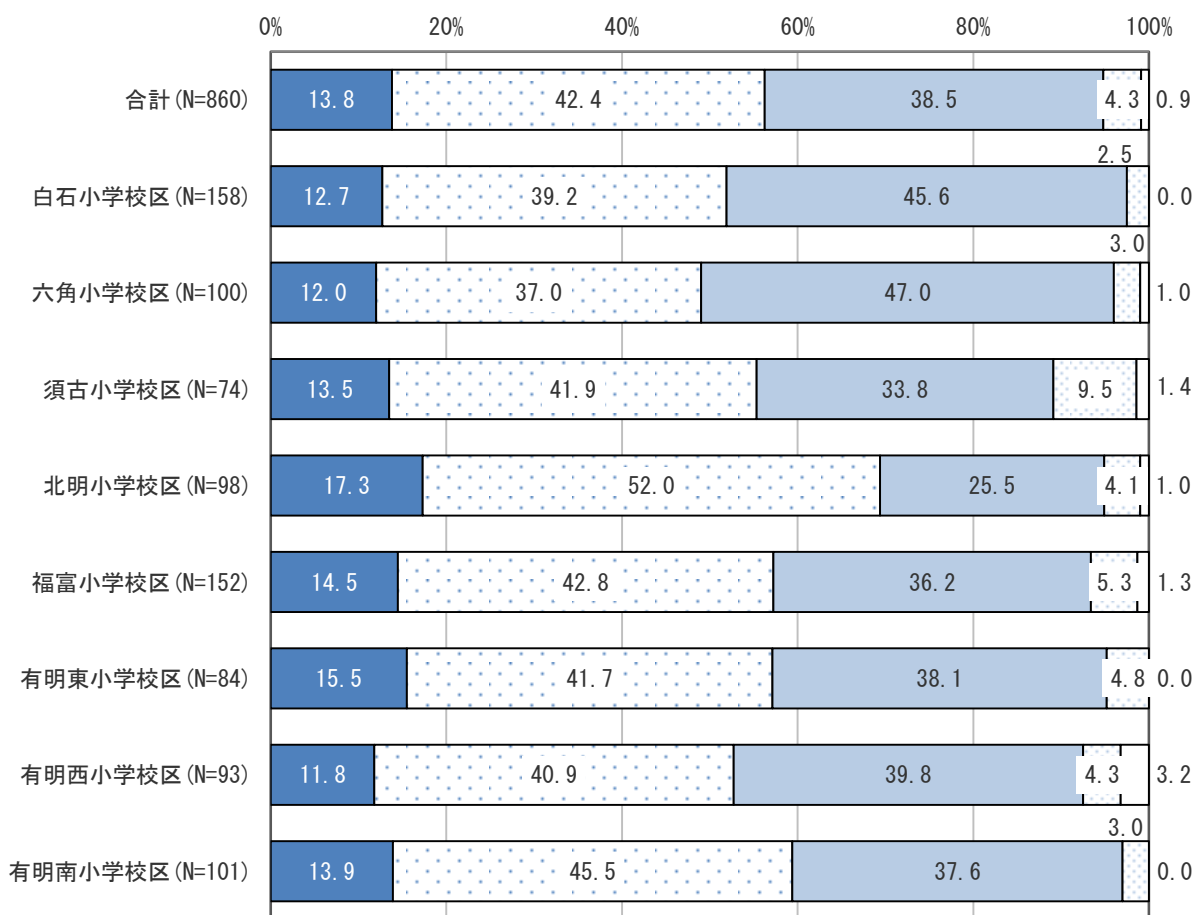
年代別にみると、「互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている」と「日常的に立ち話しをする程度のつきあいにはしている」の割合は、年齢が上がるにつれてその割合も高くなる傾向がみられます。



- 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている
- 日常的に立ち話しをする程度のつきあいにはしている
- あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
- つきあいは全くしていない
- 無回答・不明

【地区別クロス】

地区別にみると、比較的「北明小学校区」で「互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている」と「日常的に立ち話しをする程度のつきあいはしている」の割合が高くなっています。

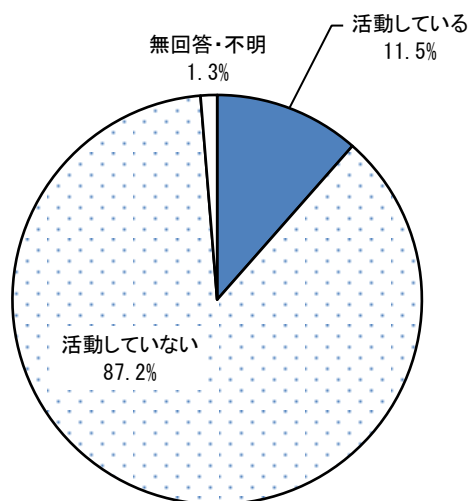


- 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている
- 日常的に立ち話しをする程度のつきあいはしている
- あいさつ程度の最小限のつきあしかしていない
- つきあいは全くしていない
- 無回答・不明

問14 あなたは、スポーツサークル等でスポーツをしたり、スポーツの指導をするなど、日常的にスポーツ活動をされていますか。

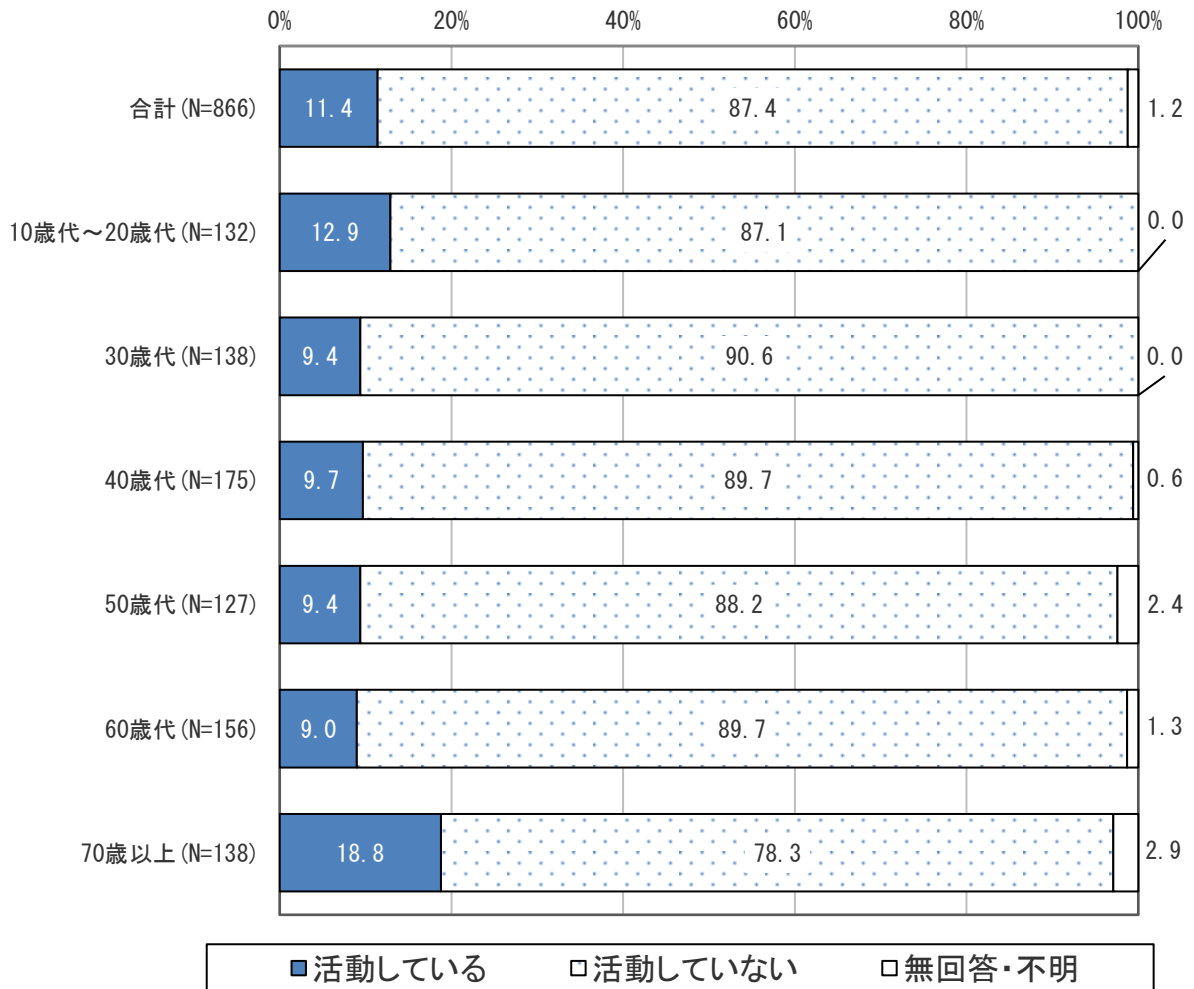
「活動していない」が 87.2%となっています。

N=879



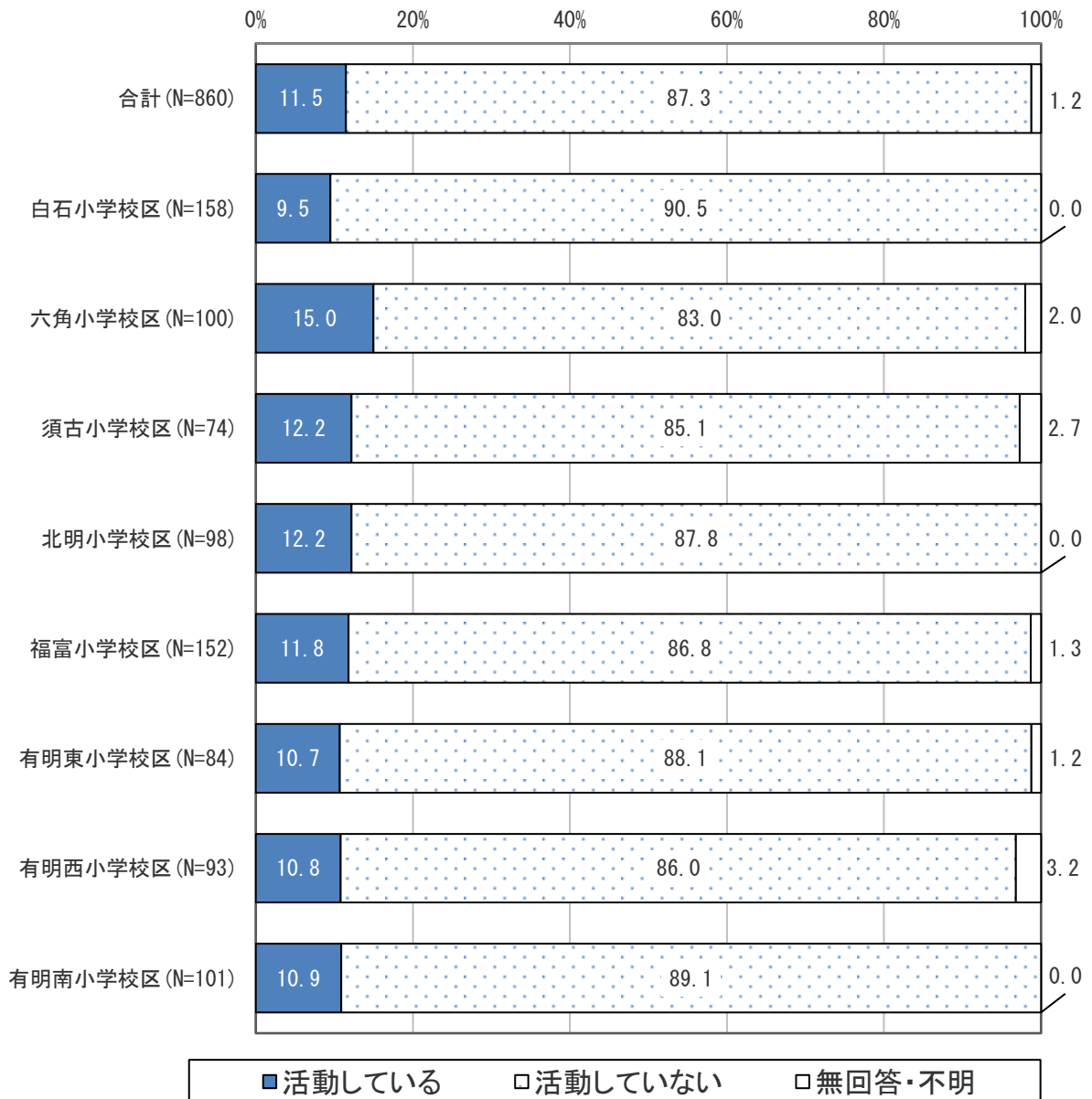
【年代別クロス】

年代別にみると、「活動している」の割合が最も高いのは「70歳以上」(18.8%) となっており、最も低いのは「60歳代」(9.0%) となっています



【地区別クロス】

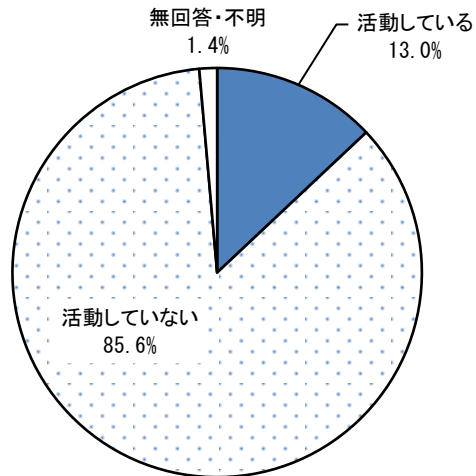
地区別にみると、「活動している」の割合が最も高いのは「六角小学校区」(15.0%)となっており、最も低いのは「白石小学校区」(9.5%)となっています。



問15 あなたは、ボランティア・NPO・市民活動(まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て支援、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など)をしていますか。

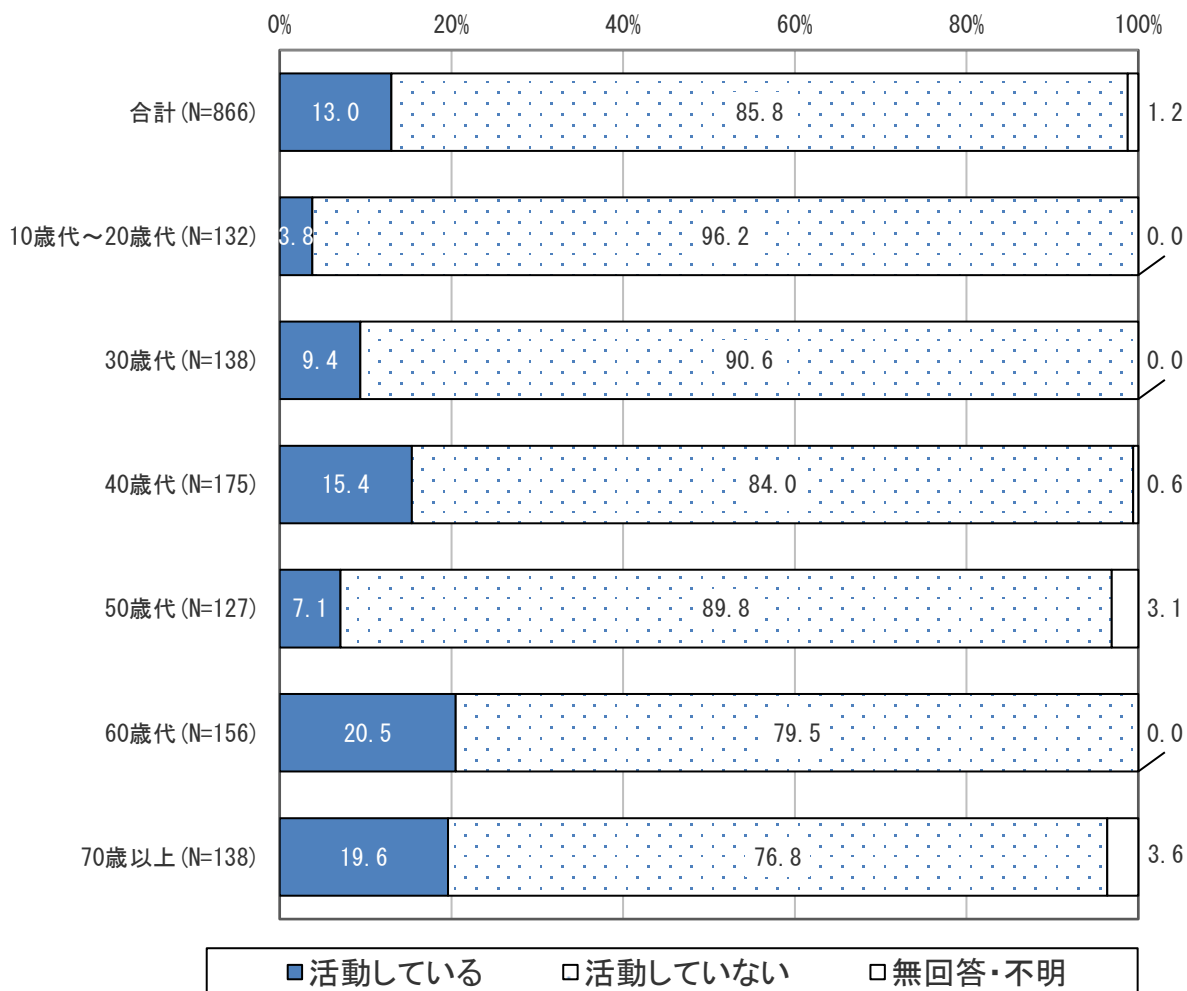
「活動していない」が85.6%となっています。

N=879



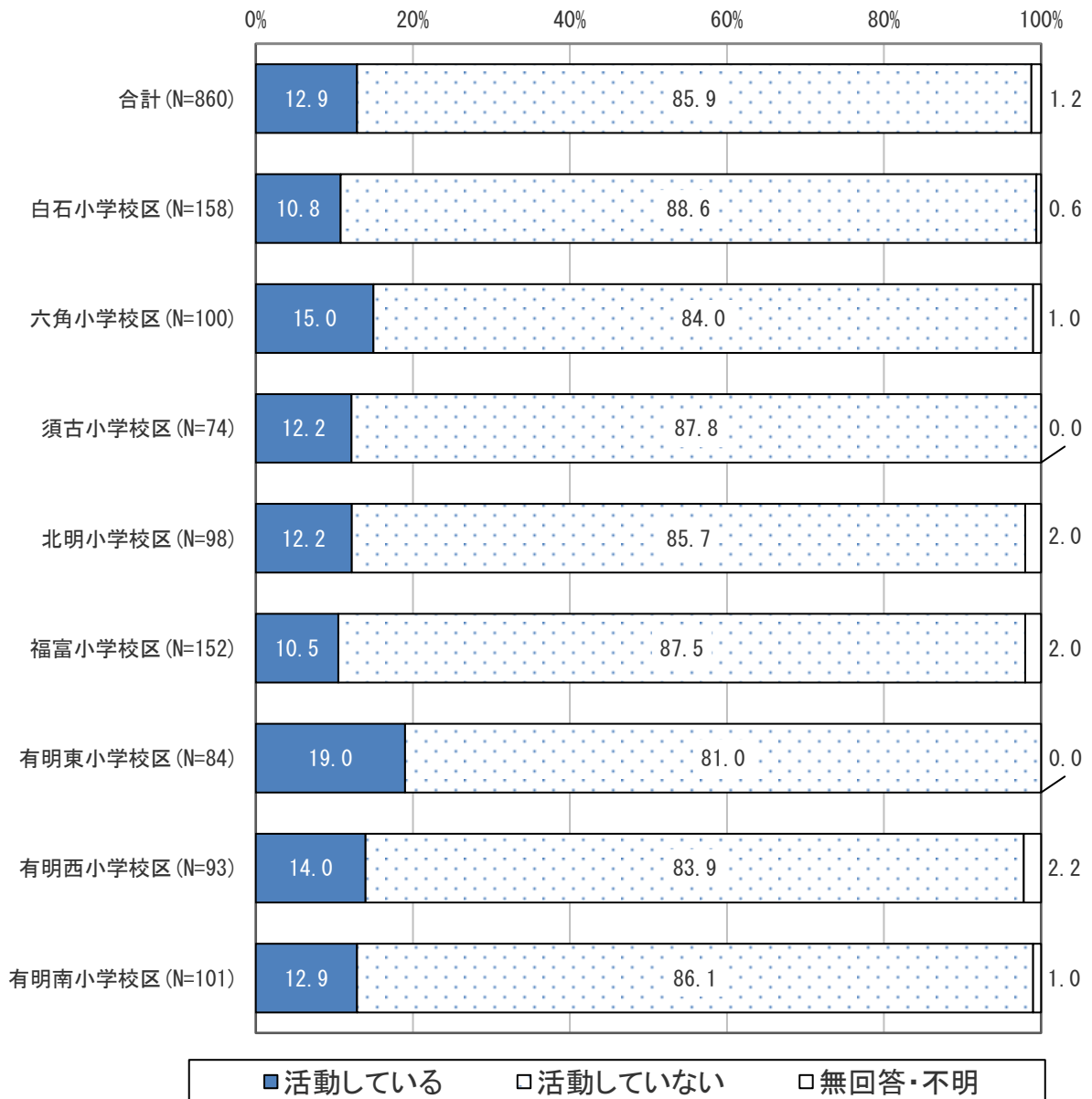
【年代別クロス】

年代別にみると、「活動している」の割合が最も高いのは「60歳代」(20.5%)となっており、最も低いのは「10歳代~20歳代」(3.8%)となっています。



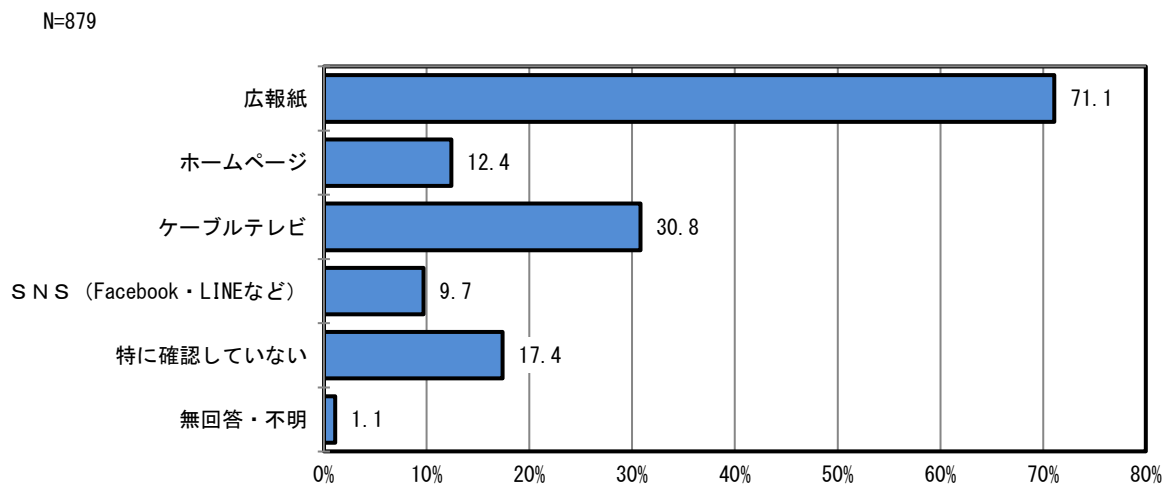
【地区別クロス】

地区別にみると、「活動している」の割合が最も高いのは「有明東小学校区」（19.0%）となっており、最も低いのは「福富小学校区」（10.5%）となっています。



問16 あなたは、町から発信している情報をどのような方法で確認していますか。

「広報紙」が71.1%で突出しています。



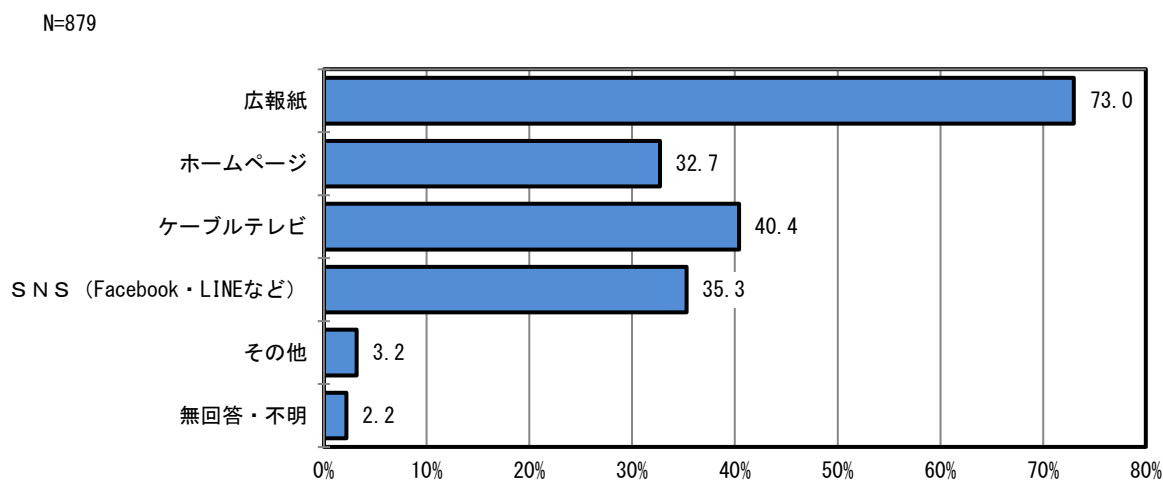
【年代別クロス】

年代別にみると、「10歳代～20歳代」では「特に確認していない」が最も高くなっています。他の年代では、「広報紙」が最も高くなっています。

	全体 (N=866)	10歳代 ～20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
広報紙	71.4	33.3	69.6	74.9	80.3	80.1	87.0
ホームページ	12.5	4.5	21.7	20.0	13.4	8.3	5.1
ケーブルテレビ	31.2	27.3	22.5	34.3	27.6	33.3	40.6
S N S (Facebook・LINEなど)	9.8	11.4	17.4	13.1	7.1	6.4	2.9
特に確認していない	17.3	47.0	18.1	14.9	9.4	11.5	5.1
無回答・不明	0.9	-	-	-	1.6	1.3	2.9

問17 あなたは、町からの情報発信は、どのような方法で行うべきだと思いますか。

「広報紙」が73.0%で突出しています。



【その他】

有線放送／防災ネットで／ユーチューブ／サガテレビ／各家庭への放送／回覧板／ここにあげられている方法で良いと思う／広報誌、自治会・役場の受け付け、相談ネットなど多重的に／自宅の無線／手紙／情報を知らないから確認できない、知らない。広報誌を見やすくしてほしい／公民館のマイク等。「今日は粗大ごみの日です」「今日は不燃物の日です」などとケーブルテレビのテロップでも流してほしい。文字は老人が見れる大きさ、NHK等の非常時に出る文字の大きさ／各家庭にアイパッドの配布。紙の無駄／ラジオテレビ／わからない／

【年代別クロス】

年代別にみると、年代が上がるにつれて「広報紙」の割合が上昇していますが、逆に「SNS（Facebook・LINEなど）」の割合は減少しています。

	全体 (N=866)	10歳代 ~20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
広報紙	73.3	44.7	67.4	75.4	77.2	85.3	87.0
ホームページ	32.9	30.3	42.0	44.0	38.6	26.3	14.5
ケーブルテレビ	40.5	31.1	35.5	44.6	44.1	41.0	45.7
SNS（Facebook・LINEなど）	35.1	58.3	58.0	40.0	26.8	19.9	8.7
その他	3.1	2.3	0.7	3.4	3.9	5.8	2.2
無回答・不明	2.1	0.8	0.7	0.6	2.4	0.6	8.0

白石町での暮らし全般について

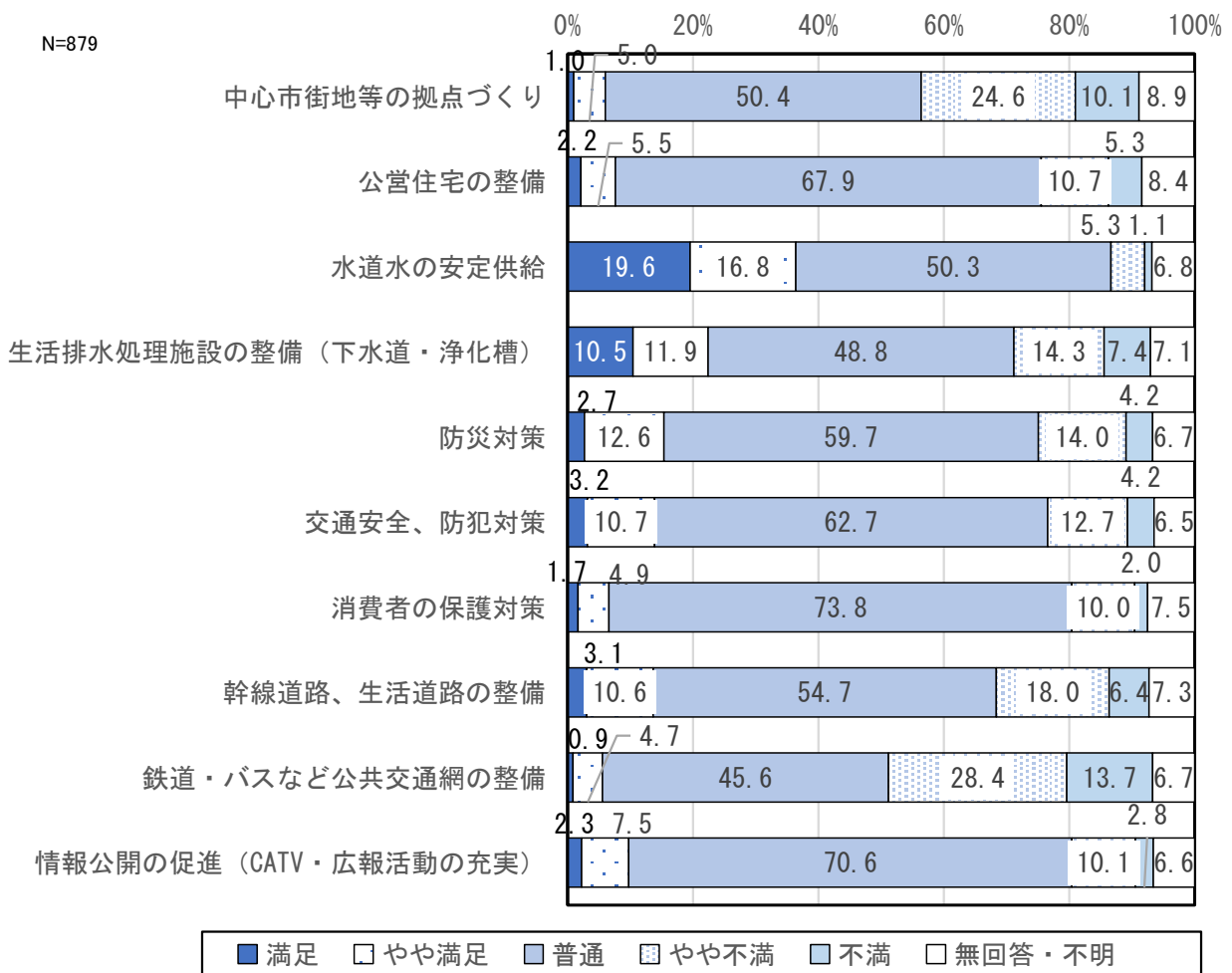
問18 白石町での暮らしの「満足度」と、町の取り組みとしての「重要度」をおたずねします。下記の項目ごとに「満足度」（1～5）にあてはまるものを1つと、「重要度」（1～5）にあてはまるものを1つ、それぞれ〇をつけてください。

■住環境について

【満足度】

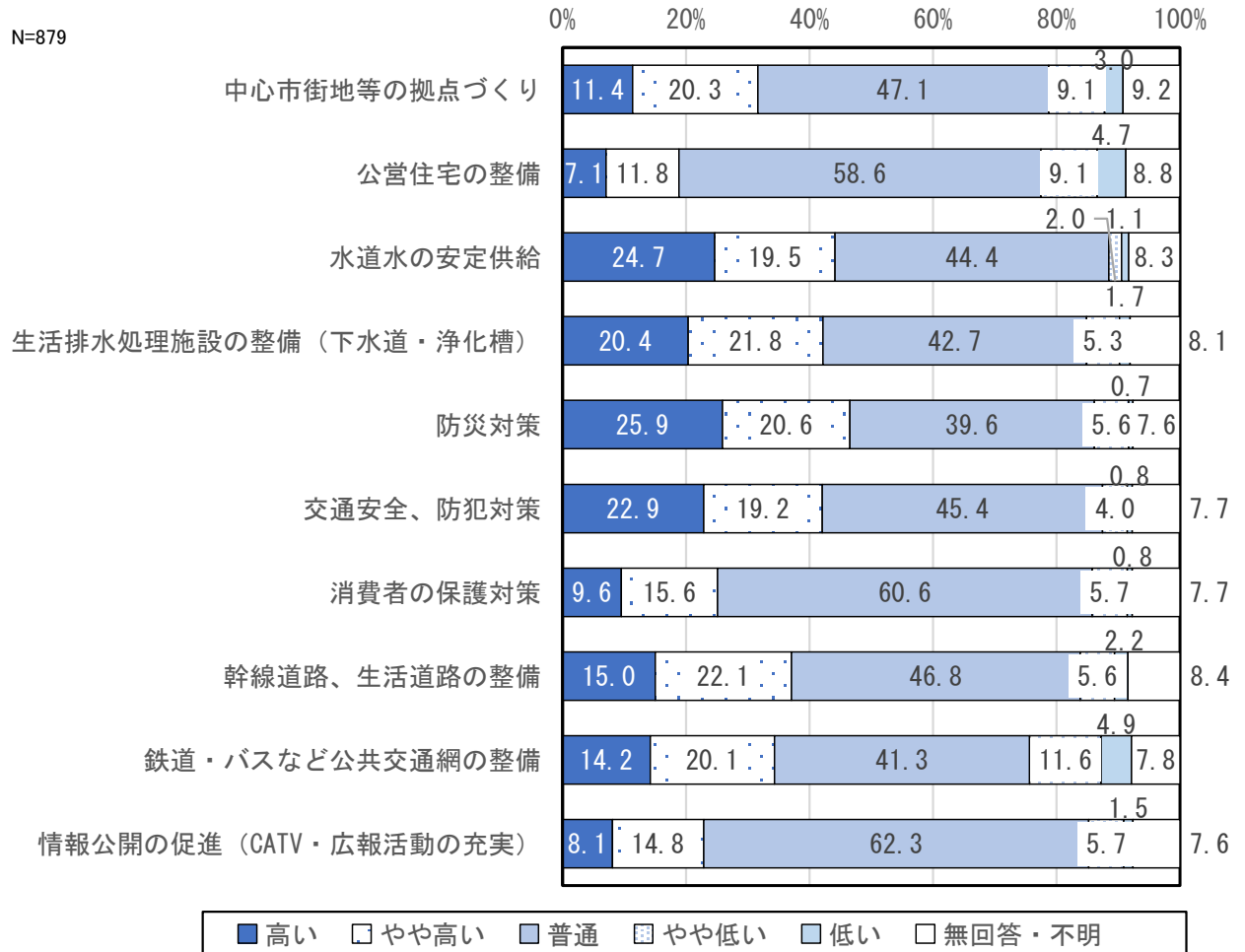
満足している人の割合（「満足」と「やや満足」の合計）が高くなっているのは、「水道水の安定供給」（36.4%）となっており、次いで「生活排水処理施設の整備」（22.4%）となっています。

逆に、満足していない人の割合（「やや不満」と「不満」の合計）が高くなっているのは、「鉄道・バスなど公共交通網の整備」（42.1%）、「中心市街地等の拠点づくり」（34.7%）となっています。



【重要度】

重要度が高い（「高い」と「やや高い」の合計）と考えている施策は、「防災対策」（46.5%）、次いで「水道水の安定供給」（44.2%）、「生活排水処理施設の整備」（42.2%）、「交通安全、防犯対策」（42.1%）、「幹線道路、生活道路の整備」（37.1%）となっています。

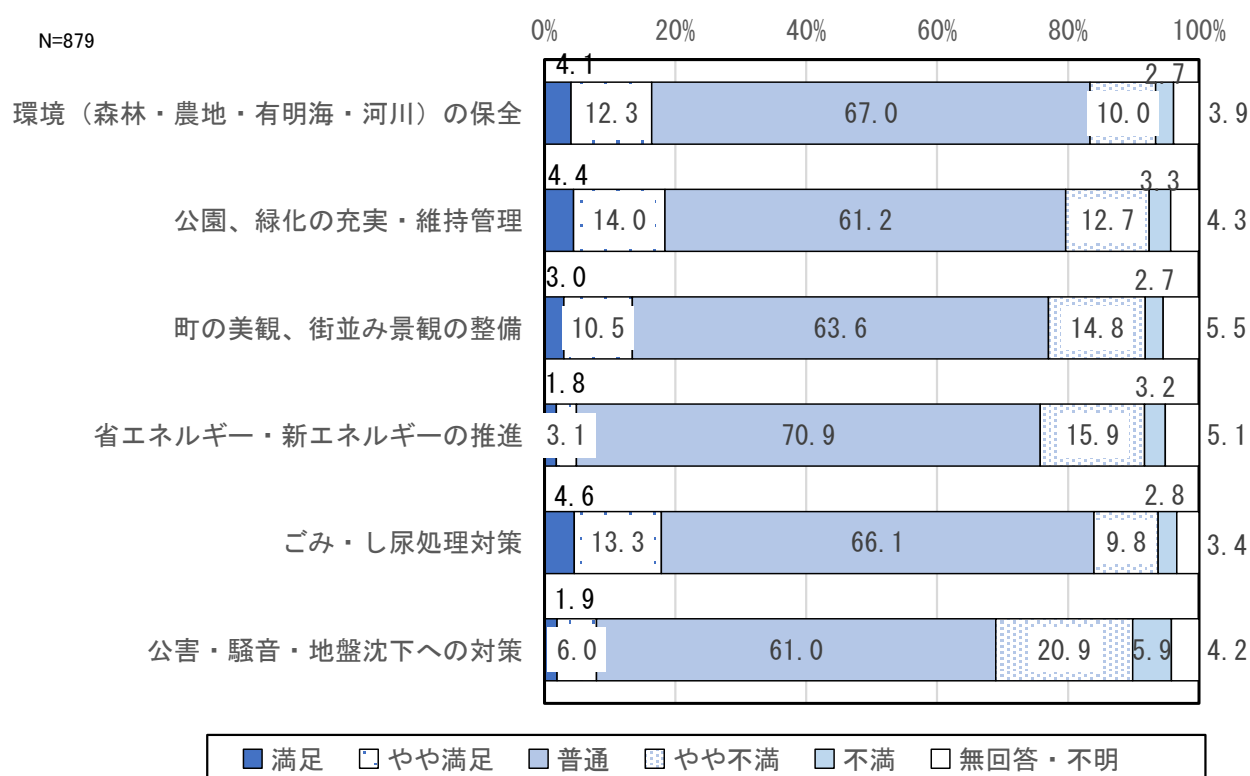


■環境について

【満足度】

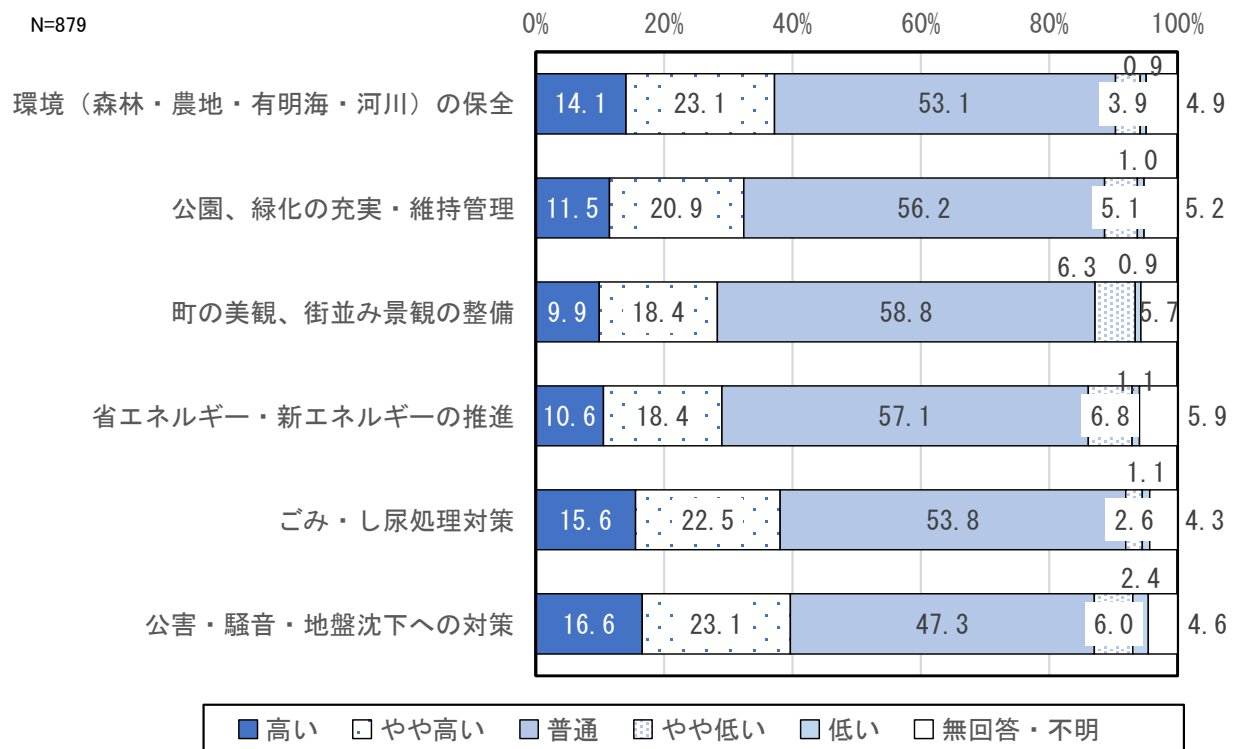
満足している人の割合（「満足」と「やや満足」の合計）が高くなっているのは、「公園、緑化の充実・維持管理」（18.4%）、次いで「ごみ・し尿処理対策」（17.9%）、「環境（森林・農地・有明海・河川）の保全」（16.4%）となっています。

逆に、満足していない人の割合（「やや不満」と「不満」の合計）が高くなっているのは、「公害・騒音・地盤沈下への対策」（26.8%）、「省エネルギー・新エネルギーの推進」（19.1%）となっています。



【重要度】

重要度が高い（「高い」と「やや高い」の合計）と考えている施策は、「公害・騒音・地盤沈下への対策」（39.7%）、次いで、「ごみ・し尿処理対策」（38.1%）、「環境（森林・農地・有明海・河川）の保全」（37.2%）となっています。

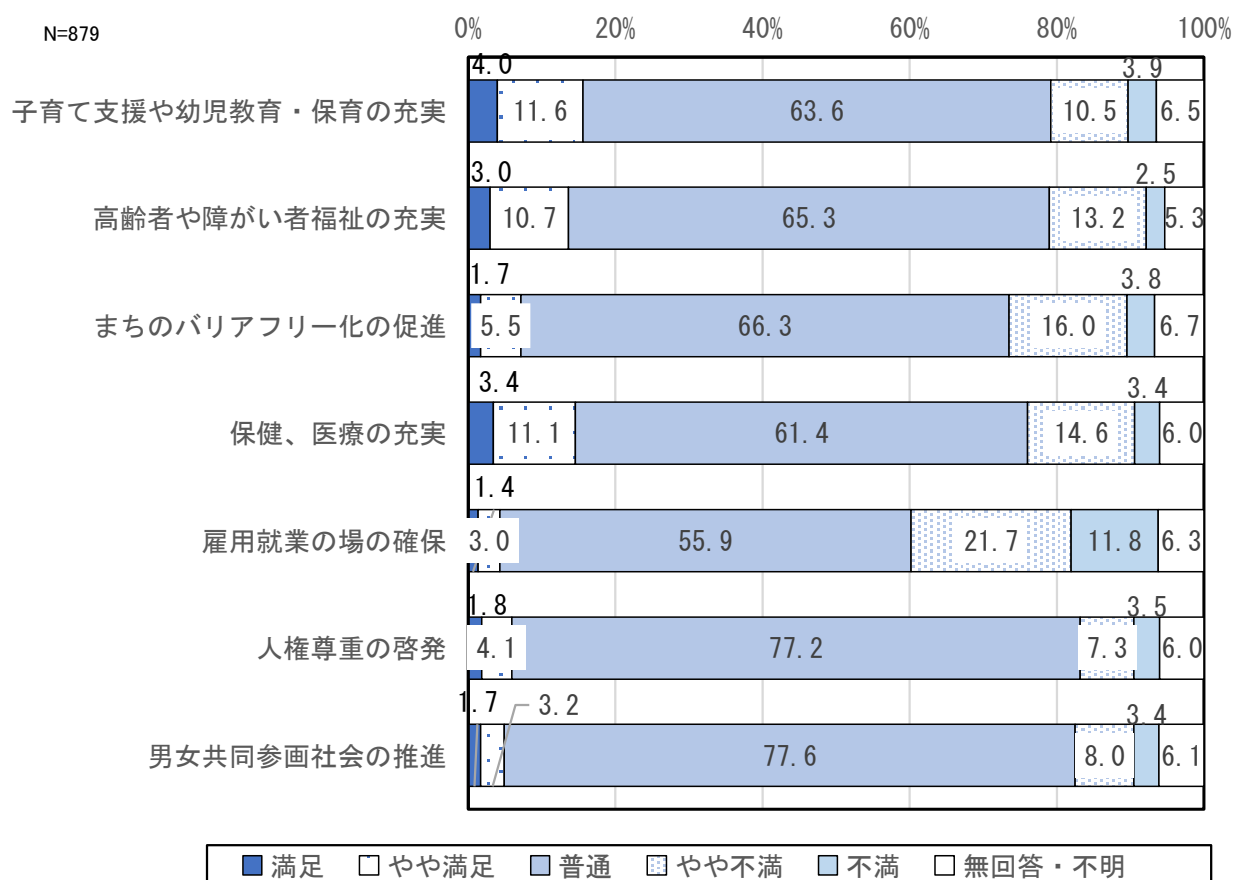


■福祉・健康等について

【満足度】

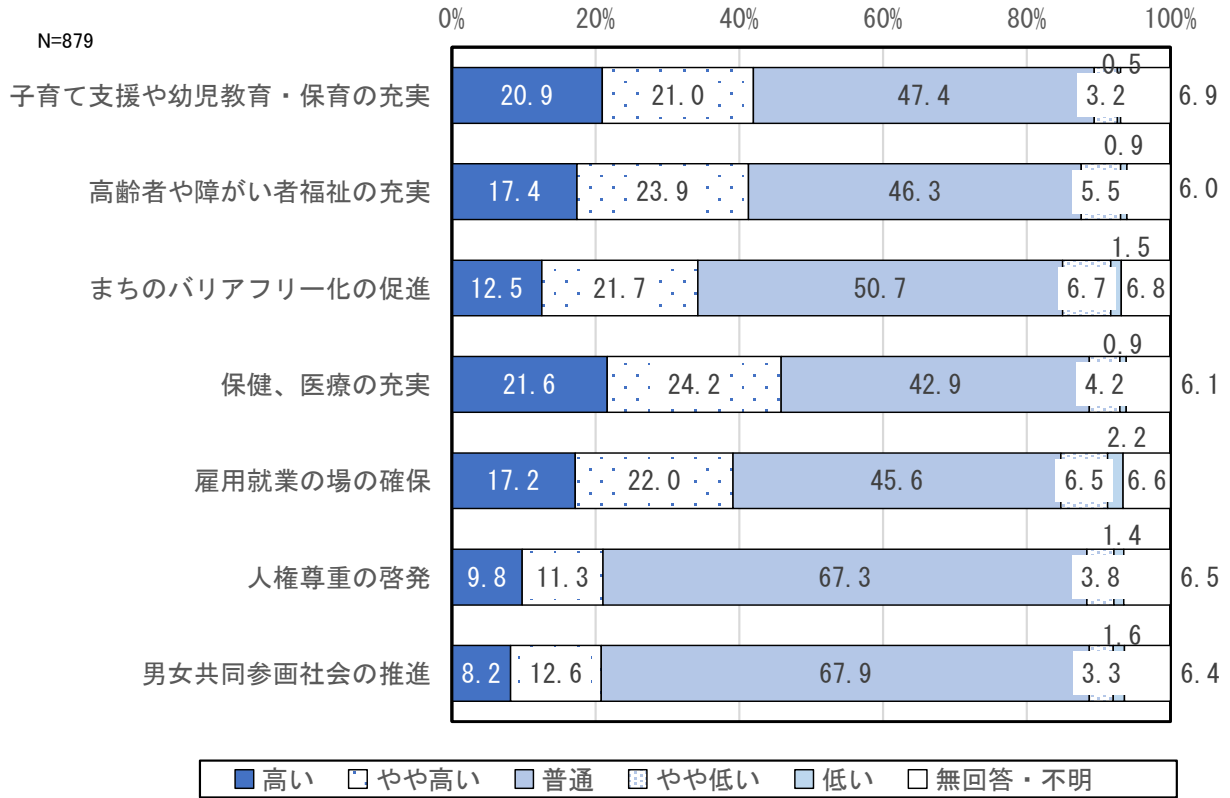
満足している人の割合（「満足」と「やや満足」の合計）が高くなっているのは、「子育て支援や幼児教育・保育の充実」（15.6%）、「保健、医療の充実」（14.5%）、「高齢者や障がい者福祉の充実」（13.7%）となっています。

逆に、満足していない人の割合（「やや不満」と「不満」の合計）が高くなっているのは、「雇用就業の場の確保」（33.5%）、「まちのバリアフリー化の促進」（19.8%）、「保健、医療の充実」（18.0%）となっています。



【重要度】

重要度が高い（「高い」と「やや高い」の合計）と考えている施策は、「保健、医療の充実」（45.8%）、「子育て支援や幼児教育・保育の充実」（41.9%）、「高齢者や障がい者福祉の充実」（41.3%）、「雇用就業の場の確保」（39.2%）となっています。

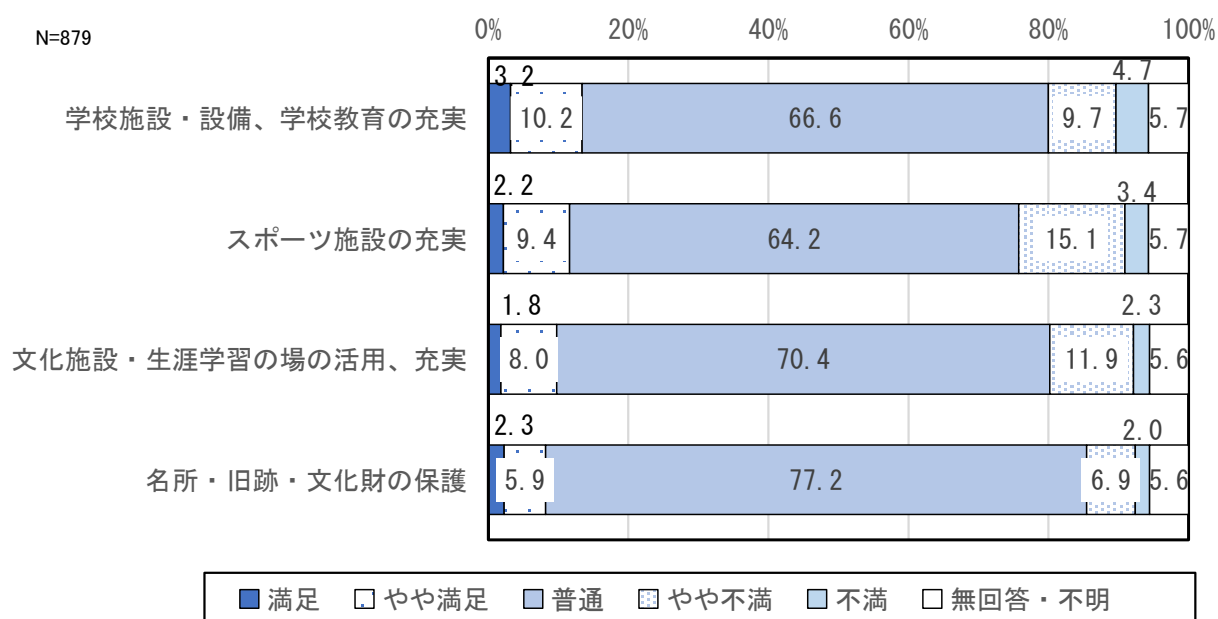


■教育・文化について

【満足度】

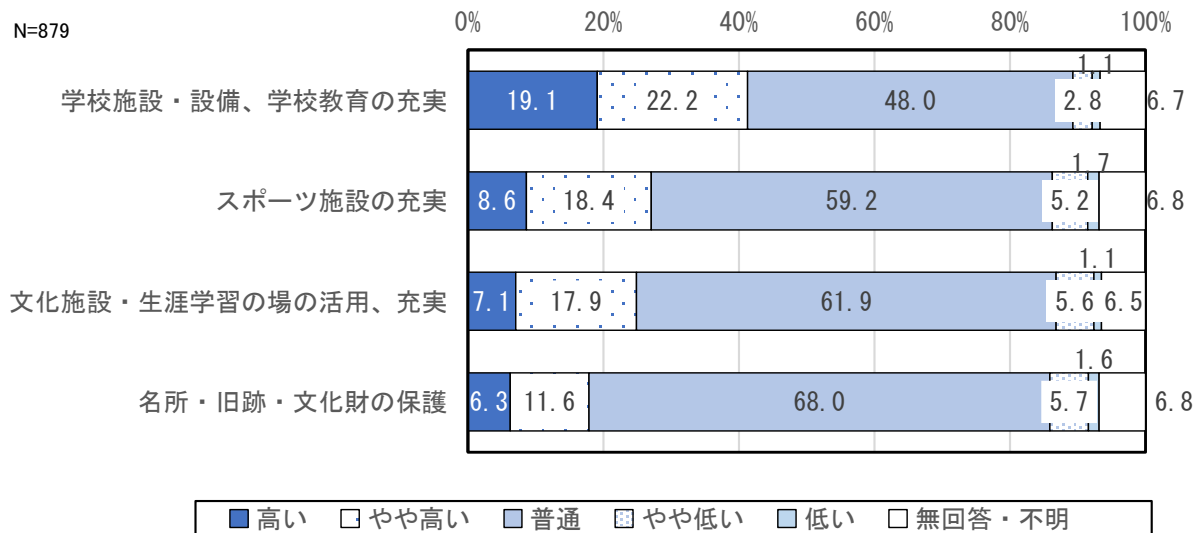
満足している人の割合（「満足」と「やや満足」の合計）が高くなっているのは、「学校施設・設備、学校教育の充実」（13.4%）となっており、次いで「スポーツ施設の充実」（11.6%）となっています。

逆に、満足していない人の割合（「やや不満」と「不満」の合計）が高くなっているのは、「スポーツ施設の充実」（18.5%）、「学校施設・設備、学校教育の充実」（14.4%）となっています。



【重要度】

重要度が高い（「高い」と「やや高い」の合計）と考えている施策は、「学校施設・設備、学校教育の充実」（41.3%）、「スポーツ施設の充実」（27.0%）となっています。

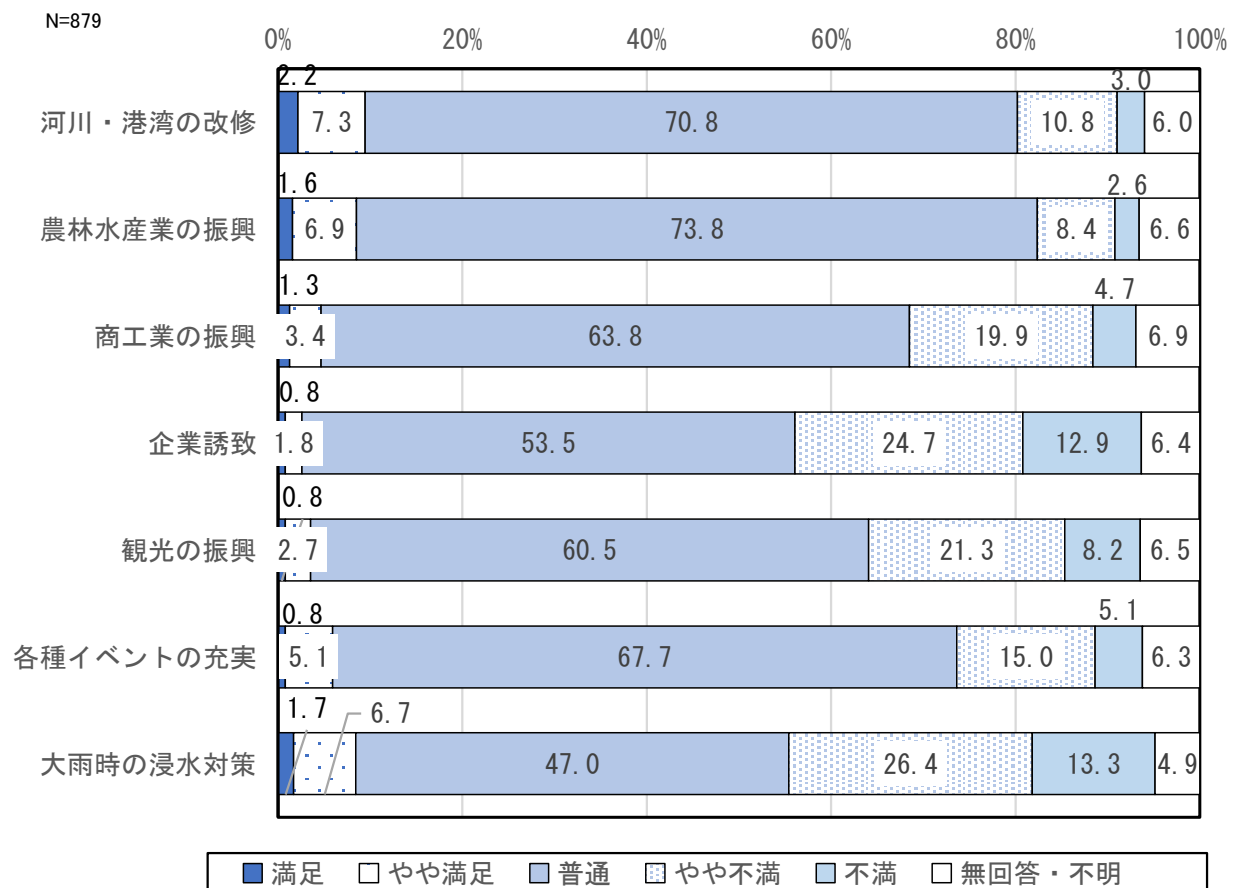


■都市整備・産業振興について

【満足度】

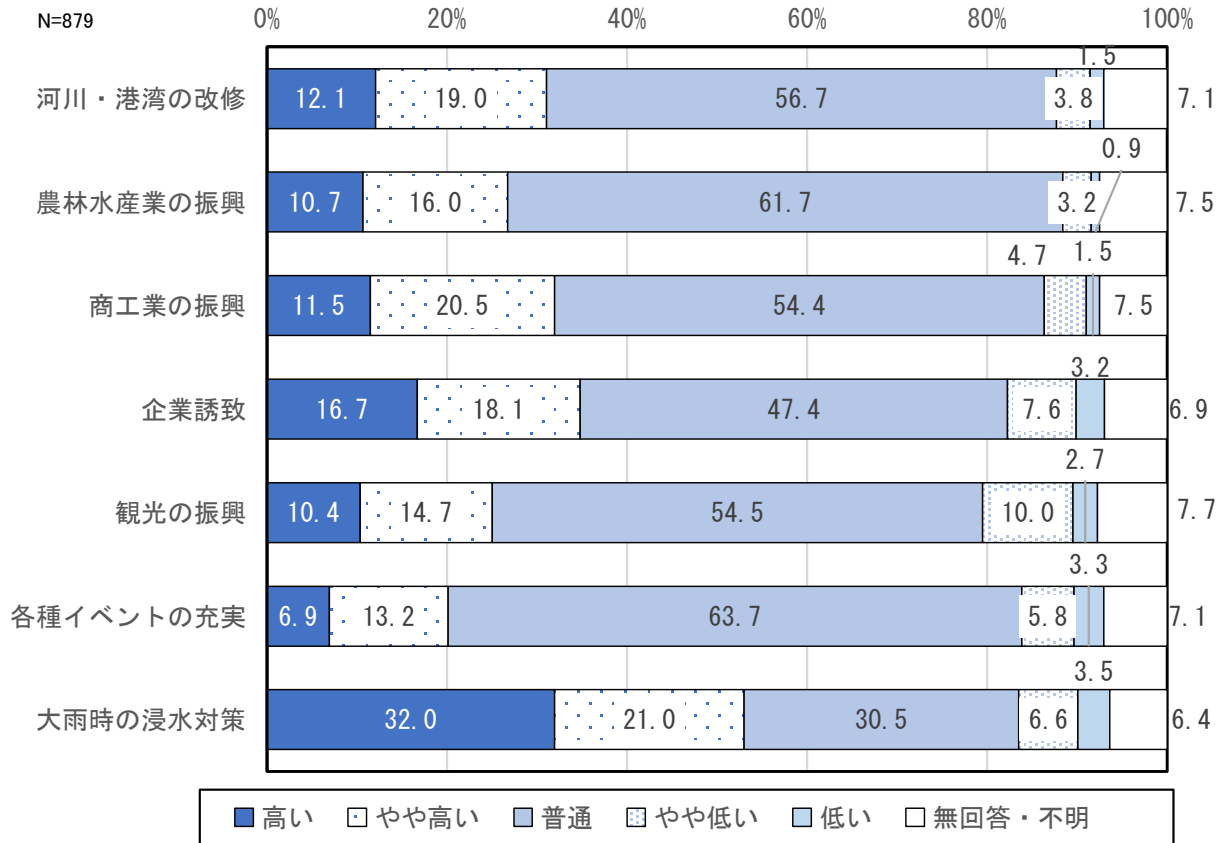
満足している人の割合（「満足」と「やや満足」の合計）が高くなっているのは、「河川・港湾の改修」（9.5％）となっており、次いで「農林水産業の振興」（8.5％）となっています。

逆に、満足していない人の割合（「やや不満」と「不満」の合計）が高くなっているのは、「大雨時の浸水対策」（39.7％）、「企業誘致」（37.6％）、「観光の振興」（29.5％）となっています。



【重要度】

重要度が高い（「高い」と「やや高い」の合計）と考えている施策は、「大雨時の浸水対策」（53.0%）、「企業誘致」（34.8%）、「商工業の振興」（32.0%）、「河川・港湾の改修」（31.1%）となっています。

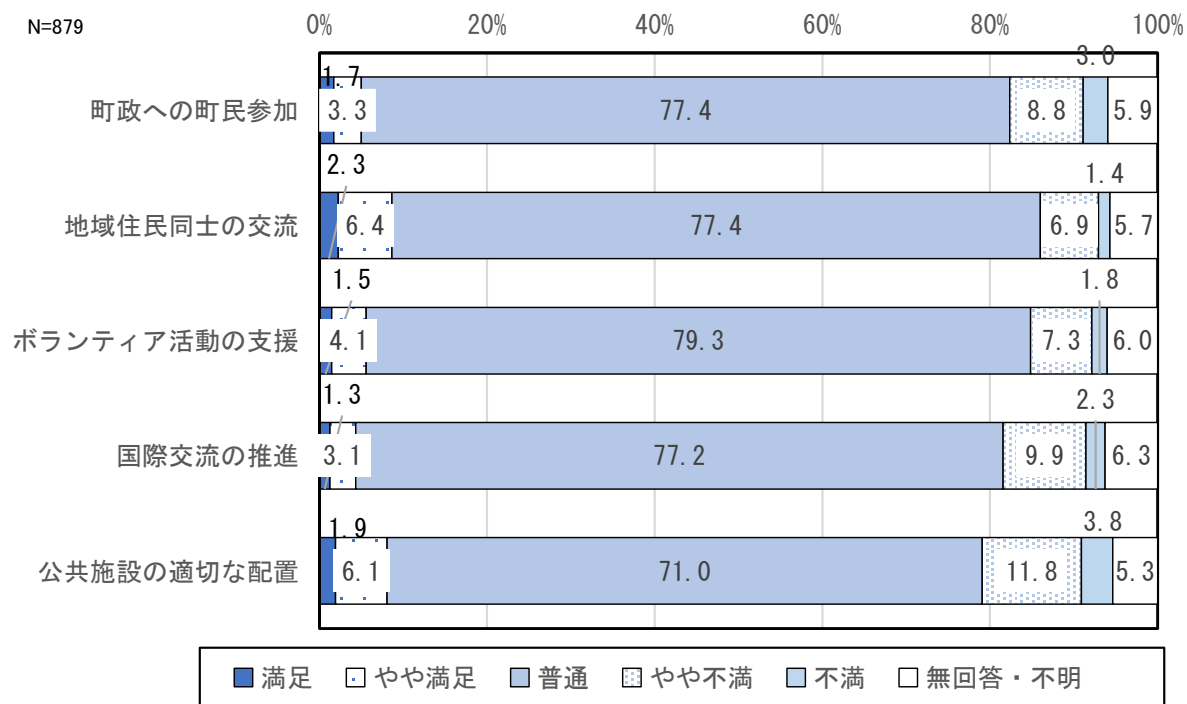


■町民参画について

【満足度】

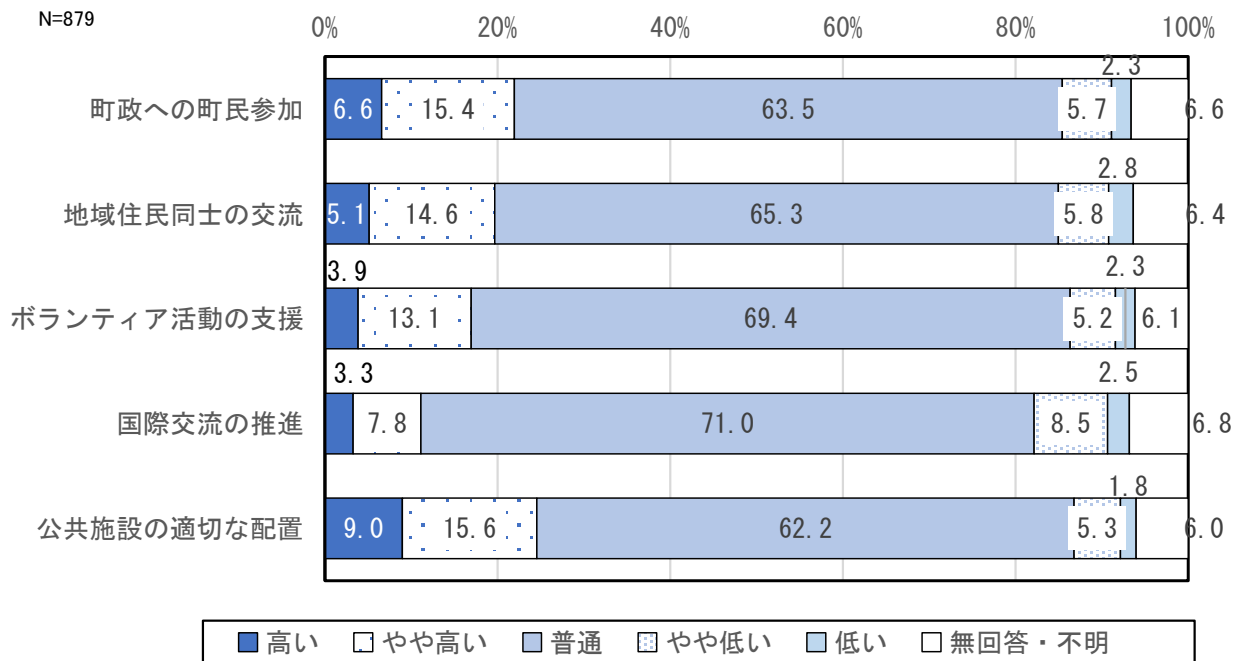
満足している人の割合（「満足」と「やや満足」の合計）が高くなっているのは、「地域住民同士の交流」（8.7%）となっており、次いで「公共施設の適切な配置」（8.0%）となっています。

逆に、満足していない人の割合（「やや不満」と「不満」の合計）が高くなっているのは、「公共施設の適切な配置」（15.6%）、「国際交流の推進」（12.2%）となっています。



【重要度】

重要度が高い（「高い」と「やや高い」の合計）と考えている施策は、「公共施設の適切な配置」（24.6%）、「町政への町民参加」（22.0%）、「地域住民同士の交流」（19.7%）となっています。

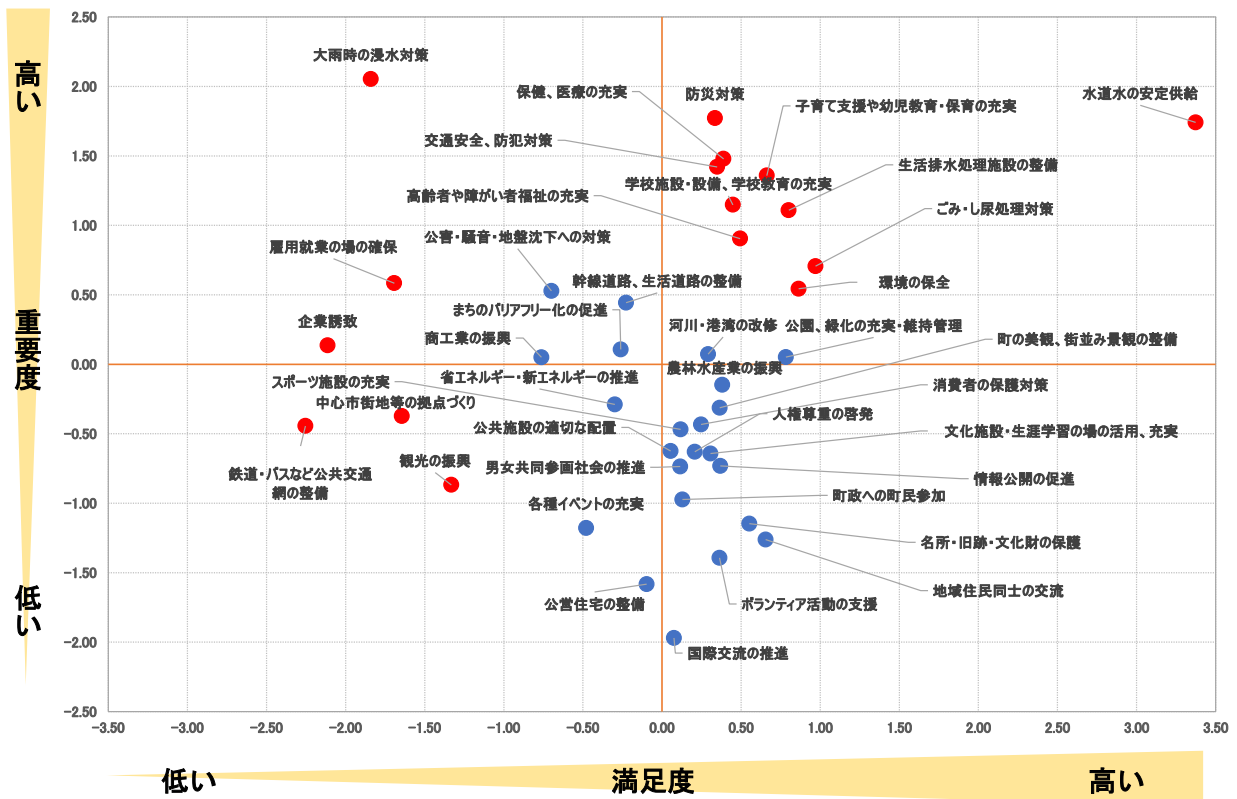


◆問 18 の回答について、満足度と重要度の相関

満足度・重要度の双方について、各サンプルの回答に対して以下のように得点を付与し、各項目を数値化（平均値を算出）しました。そして理解しやすいように、その数値を標準化（平均が 0、標準偏差が ±1 となるように再計算を行った）し、それに基づき散布図を作成しました。

■得点化の基準					
満足度	「満足」	「やや満足」	「普通」	「やや不満」	「不満」
	2 点	1 点	0 点	-1 点	-2 点
重要度	「高い」	「やや高い」	「普通」	「やや低い」	「低い」
	2 点	1 点	0 点	-1 点	-2 点

■施策の満足度と重要度の散布図



【満足度】

満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点が > 0.80 となっているもの）のは、「ごみ・し尿処理対策」「環境の保全」「生活排水処理施設の整備」となっています。

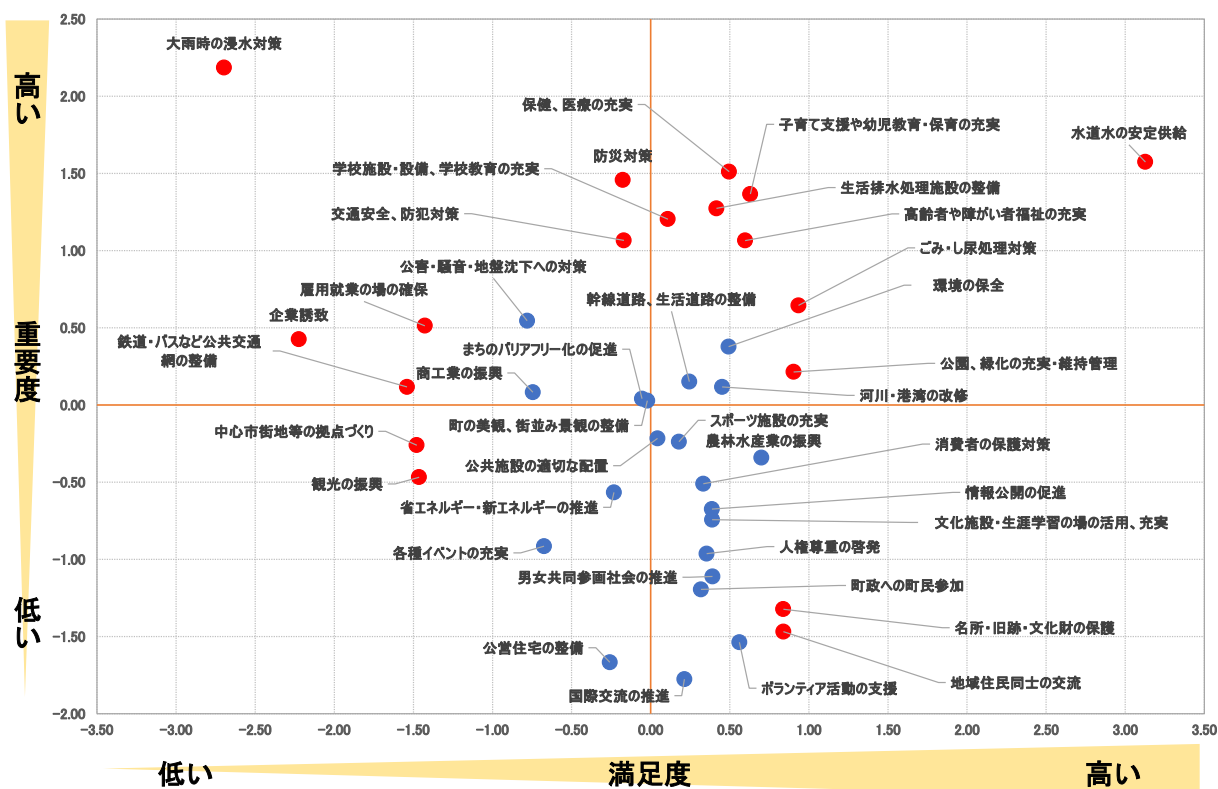
逆に低くなっている（得点が < -1.00 となっているもの）のは、「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「企業誘致」「大雨時の浸水対策」「雇用就業の場の確保」「中心市街地等の拠点づくり」「観光の振興」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点が >1.00 となっているもの）のは、「大雨時の浸水対策
防災対策」「水道水の安定供給」「保健、医療の充実」「交通安全、防犯対策」「子育て支援や幼
児教育・保育の充実」「学校施設・設備、学校教育の充実」「生活排水処理施設の整備」となっ
ています。

■地区別の施策の満足度と重要度の散布図

【白石小学校区】



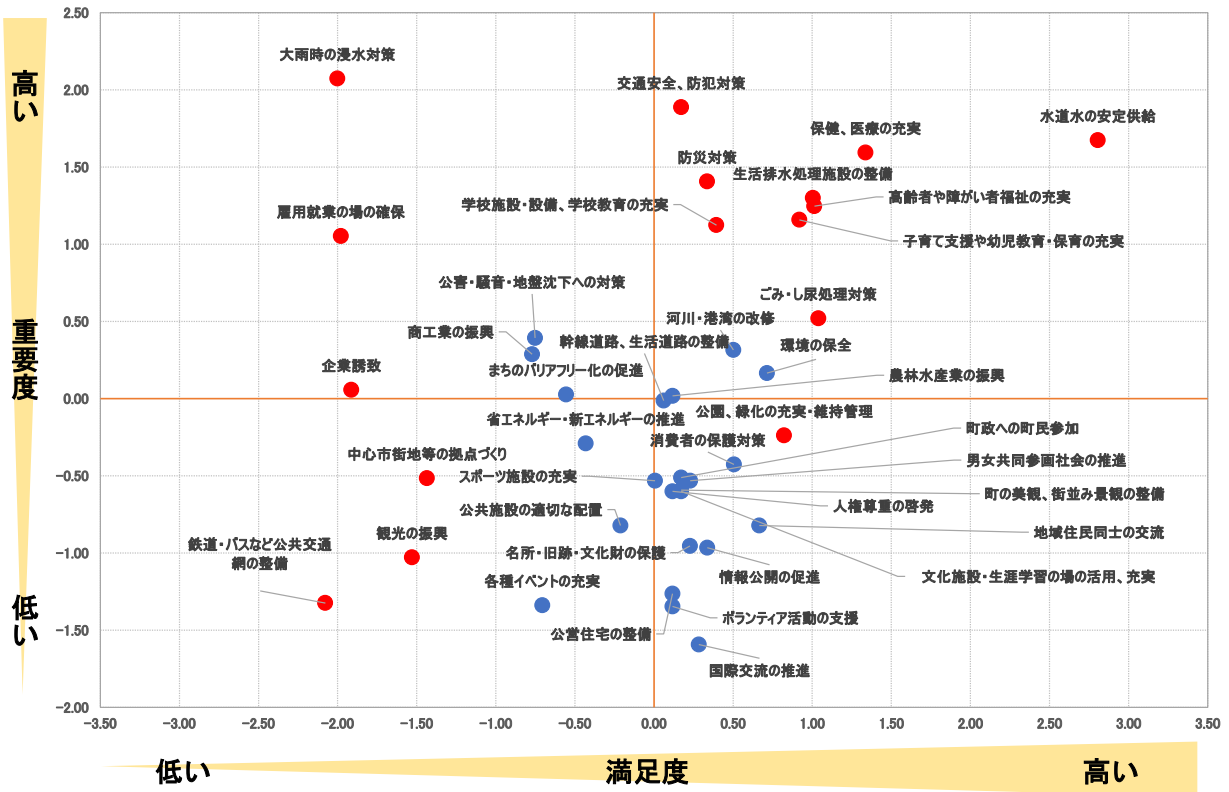
【満足度】

満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点 >0.80 ）のは、「ごみ・し尿処理対策」「公園、緑化の充実・維持管理」「名所・旧跡・文化財の保護」「地域住民同士の交流」となっています。逆に低くなっている（得点 <-1.00 ）のは、「大雨時の浸水対策」「企業誘致」「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「中心市街地等の拠点づくり」「観光の振興」「雇用就業の場の確保」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点 >1.00 ）のは、「大雨時の浸水対策」「水道水の安定供給」「保健、医療の充実」「防災対策」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」「生活排水処理施設の整備」「学校施設・設備、学校教育の充実」「交通安全、防犯対策」「高齢者や障がい者福祉の充実」となっています。

【六角小学校区】



【満足度】

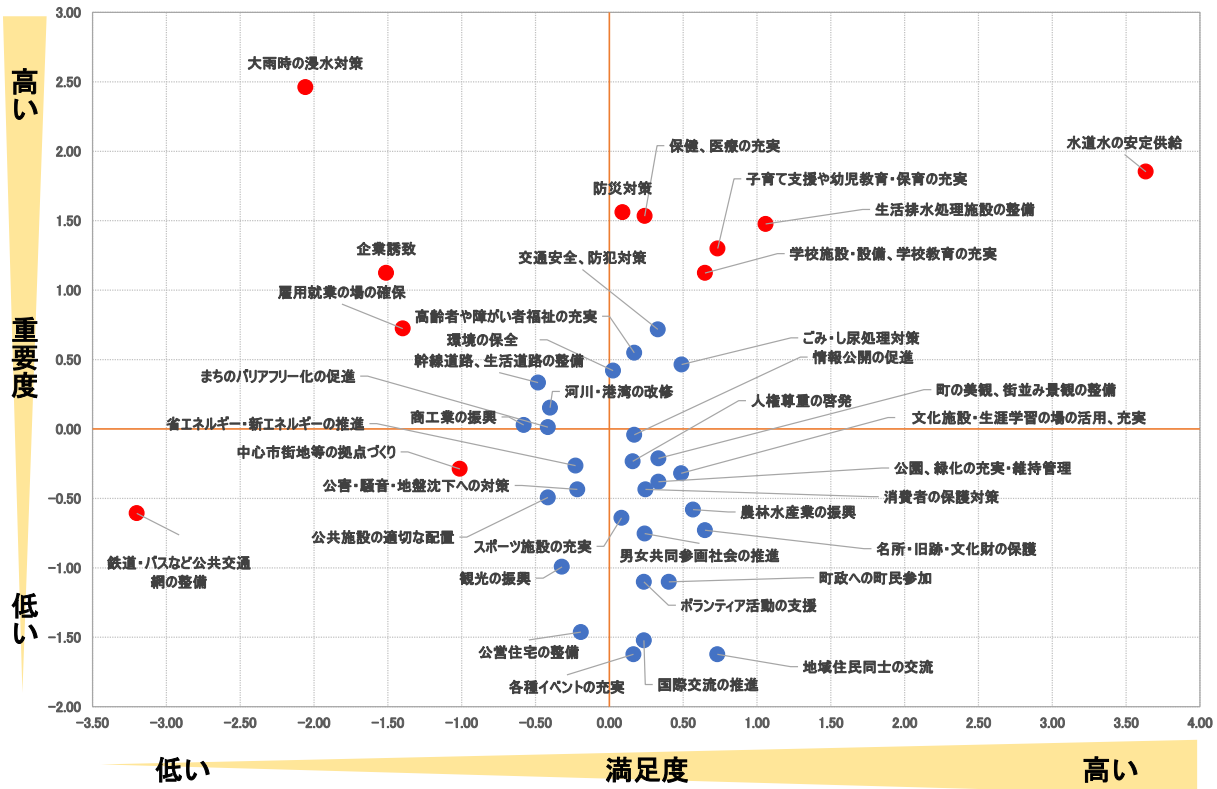
満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点>0.80）のは、「保健、医療の充実」「ごみ・し尿処理対策」「高齢者や障がい者福祉の充実」「生活排水処理施設の整備」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」「公園、緑化の充実・維持管理」となっています。

逆に低くなっている（得点<-1.00）のは、「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「大雨時の浸水対策」「雇用就業の場の確保」「企業誘致」「観光の振興」「中心市街地等の拠点づくり」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点>1.00）のは、「大雨時の浸水対策」「交通安全、防犯対策」「水道水の安定供給」「保健、医療の充実」「防災対策」「生活排水処理施設の整備」「高齢者や障がい者福祉の充実」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」「学校施設・設備、学校教育の充実」「雇用就業の場の確保」となっています。

【須古小学校区】



【満足度】

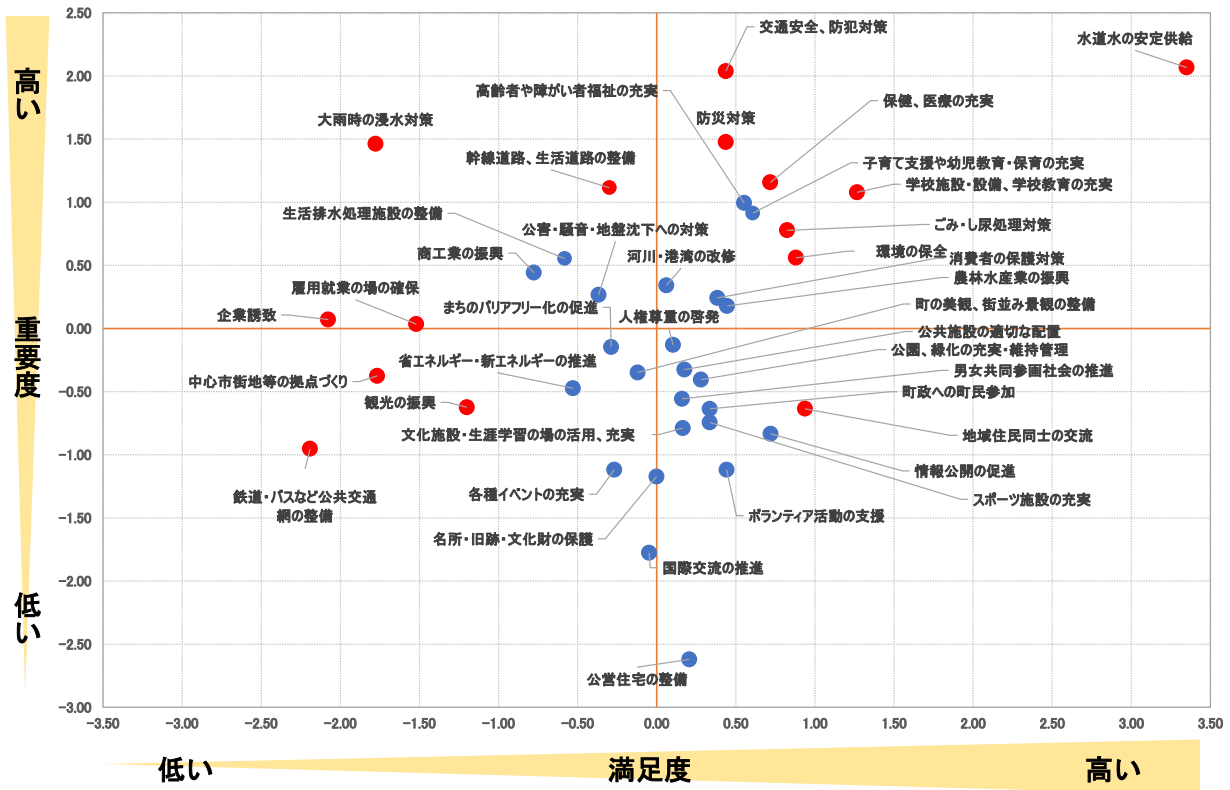
満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点 >0.80 ）のは、「生活排水処理施設の整備」となっています。

逆に低くなっている（得点 <-1.00 ）のは、「鉄道・バスなど公共交通網の整備」が突出して低く、「大雨時の浸水対策」「企業誘致」「雇用就業の場の確保」「中心市街地等の拠点づくり」と続いています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点 >1.00 ）のは、「大雨時の浸水対策」「水道水の安定供給」「防災対策」「保健、医療の充実」「生活排水処理施設の整備」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」「企業誘致」「学校施設・設備、学校教育の充実」となっています。

【北明小学校区】



【満足度】

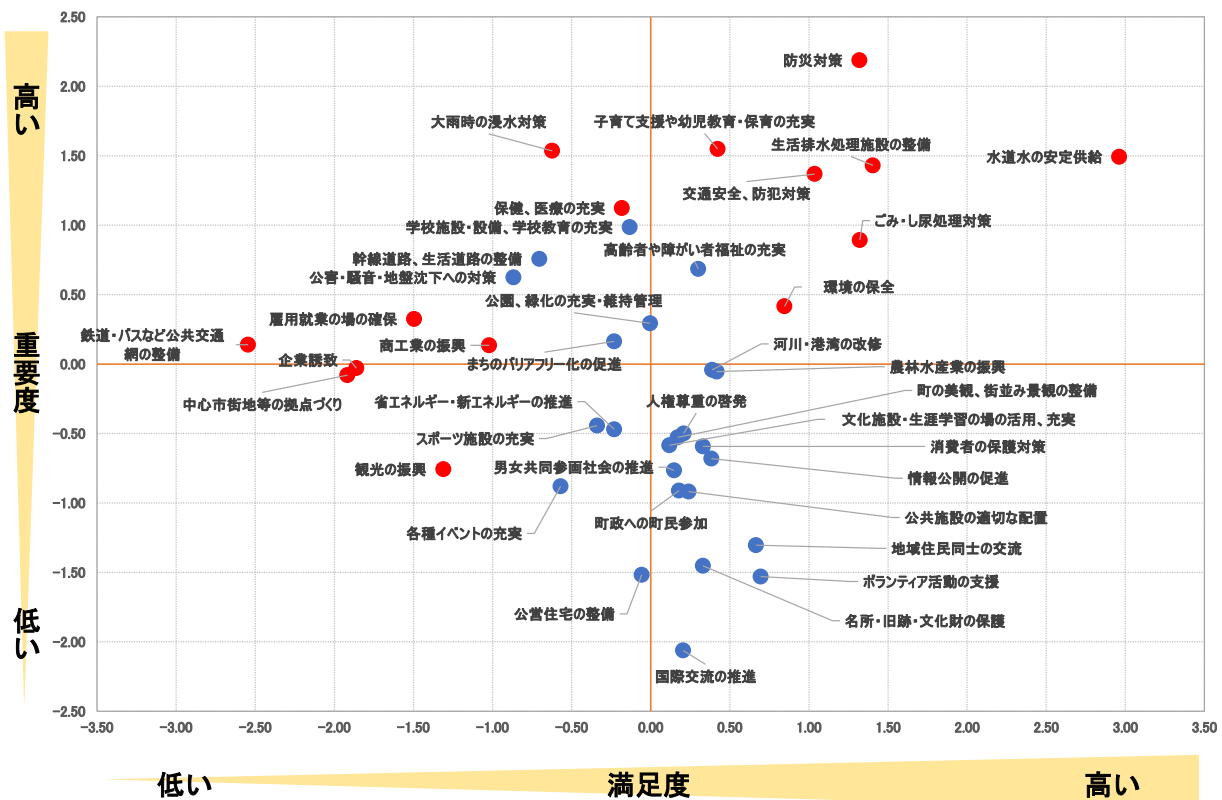
満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点 >0.80 ）のは、「学校施設・設備、学校教育の充実」「地域住民同士の交流」「環境の保全」「ごみ・し尿処理対策」となっています。

逆に低くなっている（得点 <-1.00 ）のは、「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「企業誘致」「大雨時の浸水対策」「中心市街地等の拠点づくり」「雇用就業の場の確保」「観光の振興」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点 >1.00 ）のは、「水道水の安定供給」「交通安全、防犯対策」「防災対策」「大雨時の浸水対策」「保健、医療の充実」「幹線道路、生活道路の整備」「学校施設・設備、学校教育の充実」となっています。

【福富小学校区】



【満足度】

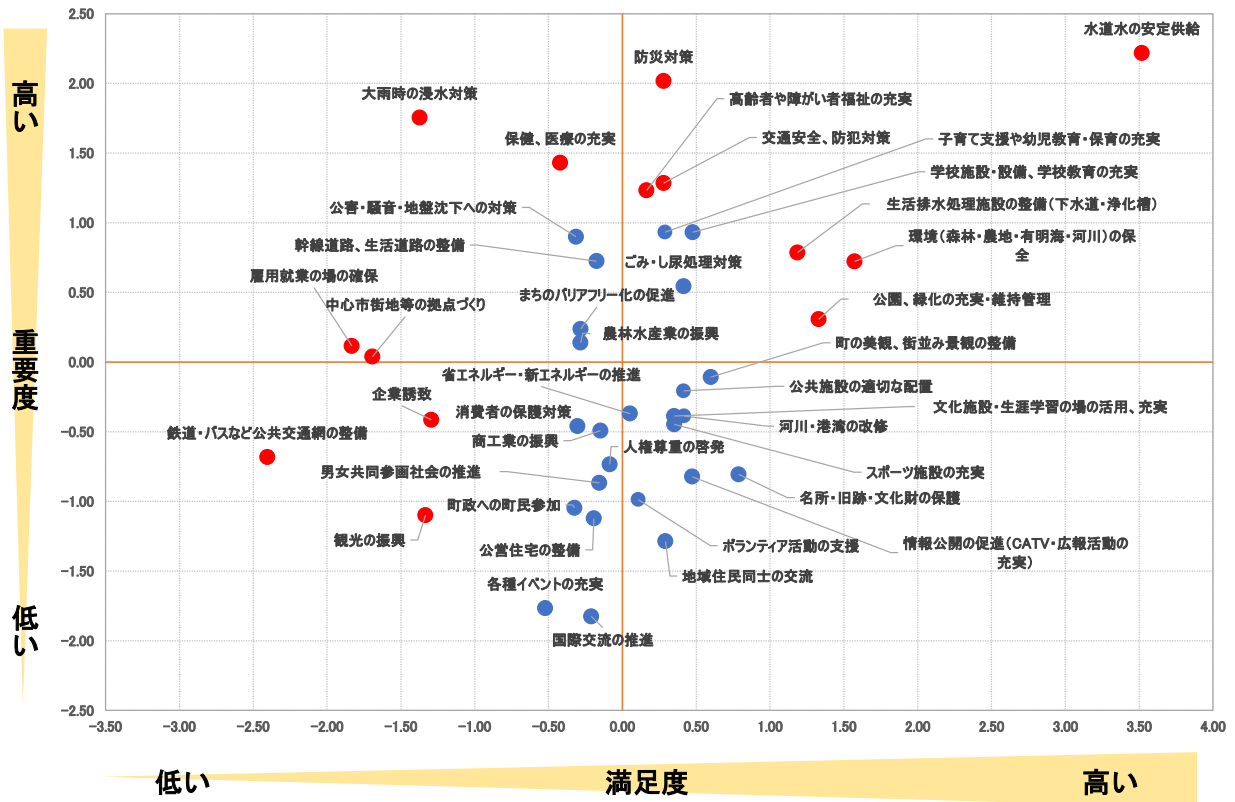
満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点 >0.80 ）のは、「生活排水処理施設の整備」「ゴミ・し尿処理対策」「防災対策」「交通安全、防犯対策」「環境の保全」となっています。

逆に低くなっている（得点 <-1.00 ）のは、「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「中心市街地等の拠点づくり」「企業誘致」「雇用就業の場の確保」「観光の振興」「商工業の振興」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点 >1.00 ）のは、「防災対策」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」「大雨時の浸水対策」「水道水の安定供給」「生活排水処理施設の整備」「交通安全、防犯対策」「保健、医療の充実」となっています。

【有明東小学校区】



【満足度】

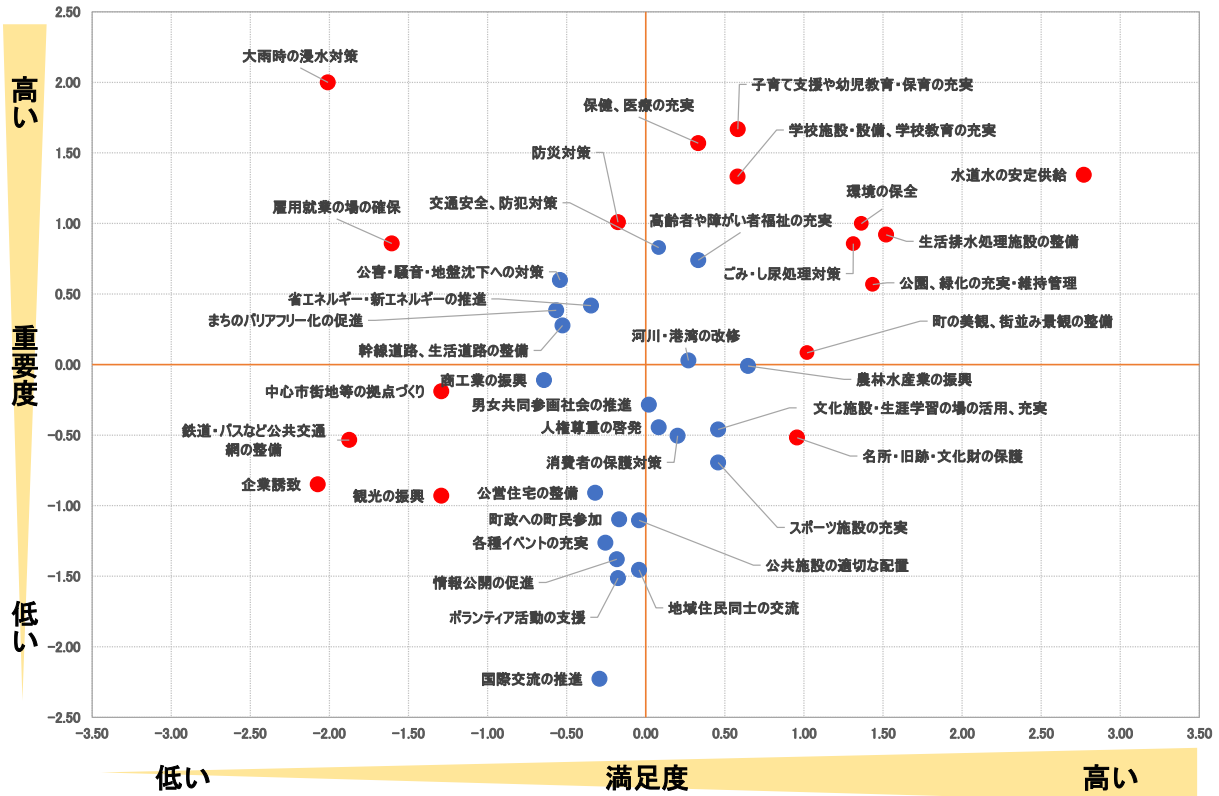
満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点>0.80）のは、「環境の保全」「公園、緑化の充実・維持管理」「生活排水処理施設の整備」となっています。

逆に低くなっている（得点<-1.00）のは、「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「雇用就業の場の確保」「中心市街地等の拠点づくり」「大雨時の浸水対策」「観光の振興」「企業誘致」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点>1.00）のは、「水道水の安定供給」「防災対策」「大雨時の浸水対策」「保健、医療の充実」「交通安全、防犯対策」「高齢者や障がい者福祉の充実」となっています。

【有明西小学校区】



【満足度】

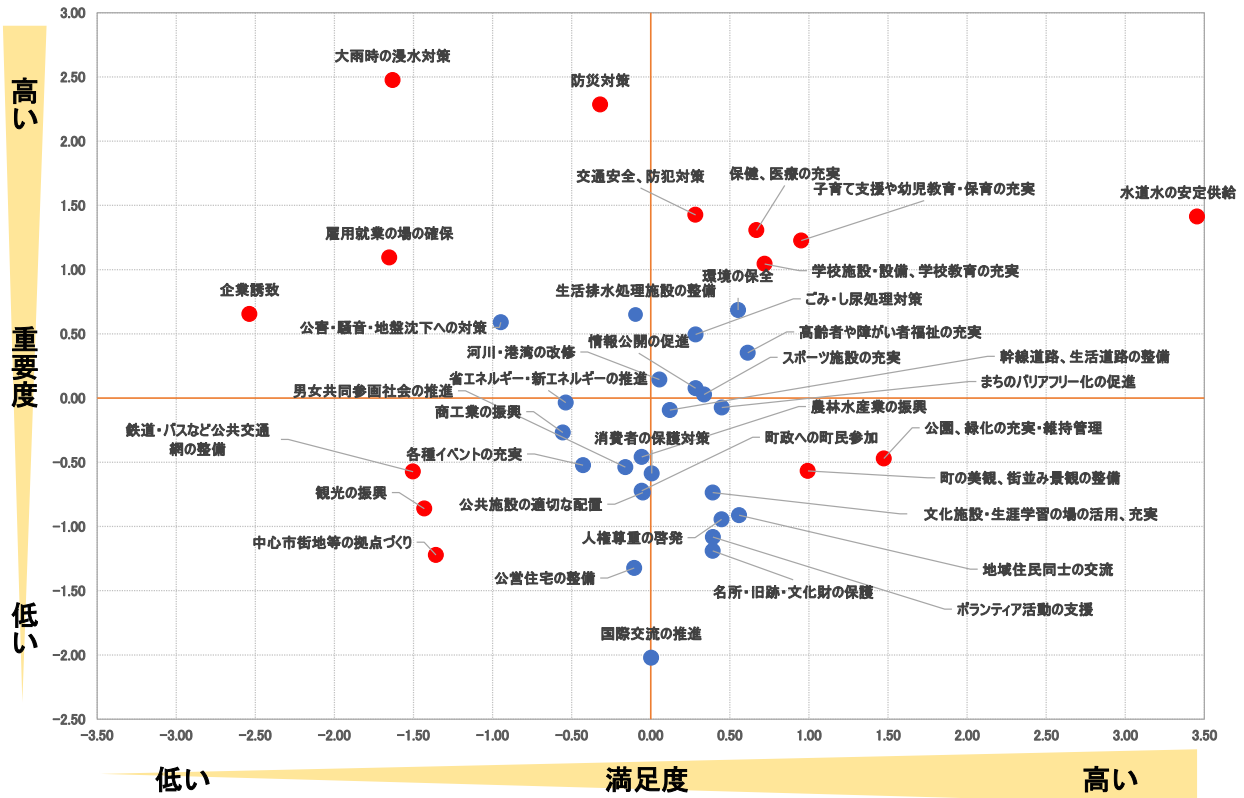
満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点>0.80）のは、「生活排水処理施設の整備」「公園、緑化の充実・維持管理」「環境の保全」「ごみ・し尿処理対策」「町的美観、街並み景観の整備」「名所・旧跡・文化財の保護」となっています。

逆に低くなっている（得点<-1.00）のは、「企業誘致」「大雨時の浸水対策」「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「雇用就業の場の確保」「中心市街地等の拠点づくり」「観光の振興」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点>1.00）のは、「大雨時の浸水対策」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」「保健、医療の充実」「水道水の安定供給」「学校施設・設備、学校教育の充実」「防災対策」「環境の保全」となっています。

【有明南小学校区】



【満足度】

満足度をみると、「水道水の安定供給」が突出して高くなっています。満足度が比較的に高くなっている（得点>0.80）のは、「公園、緑化の充実・維持管理」「町的美観、街並み景観の整備」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」となっています。

逆に低くなっている（得点<-1.00）のは、「企業誘致」「雇用就業の場の確保」「大雨時の浸水対策」「鉄道・バスなど公共交通網の整備」「観光の振興」「中心市街地等の拠点づくり」となっています。

【重要度】

重要度が高くなっている（得点>1.00）のは、「大雨時の浸水対策」「防災対策」「交通安全、防犯対策」「水道水の安定供給」「保健、医療の充実」「子育て支援や幼児教育・保育の充実」「雇用就業の場の確保」「学校施設・設備、学校教育の充実」となっています。

◆前回調査との比較

前回調査と比較するために、前回の調査結果に対して前述と同様な再計算を行い、各項目の平均点を算出しました。今回調査の満足度の各項目の平均点と前回のそれとの差分を算出しました。結果は次の通りとなっています。

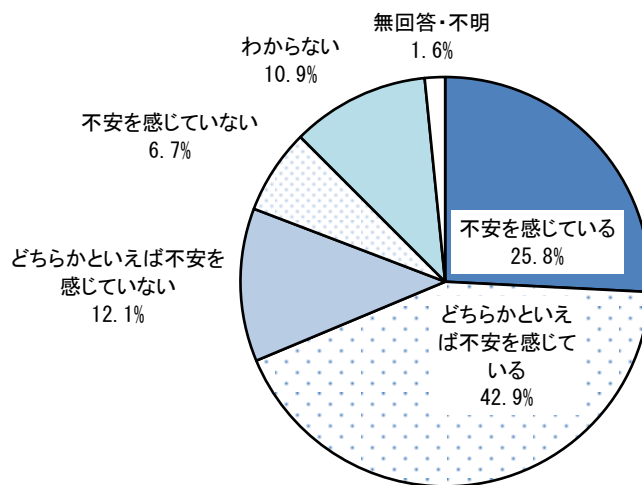
	今回満足度平均点	前回満足度平均点	差分
雇用就業の場の確保	-0.424	-0.686	0.263
防災対策	-0.046	-0.295	0.249
企業誘致	-0.502	-0.719	0.217
生活排水処理施設の整備（下水道・浄化槽）	0.040	-0.160	0.200
町の美観、街並み景観の整備	-0.041	-0.227	0.186
国際交流の推進	-0.095	-0.281	0.186
観光の振興	-0.356	-0.519	0.163
まちのバリアフリー化の促進	-0.157	-0.305	0.148
環境（森林・農地・有明海・河川）の保全	0.052	-0.095	0.147
公園、緑化の充実・維持管理	0.037	-0.097	0.134
ボランティア活動の支援	-0.041	-0.171	0.130
農林水産業の振興	-0.038	-0.165	0.127
高齢者や障がい者福祉の充実	-0.017	-0.130	0.113
消費者の保護対策	-0.063	-0.168	0.106
名所・旧跡・文化財の保護	-0.006	-0.102	0.096
町政への町民参加	-0.085	-0.180	0.095
商工業の振興	-0.251	-0.342	0.091
人権尊重の啓発	-0.070	-0.153	0.083
公害・騒音・地盤沈下への対策	-0.239	-0.315	0.076
子育て支援や幼児教育・保育の充実	0.015	-0.059	0.074
地域住民同士の交流	0.013	-0.053	0.066
省エネルギー・新エネルギーの推進	-0.164	-0.229	0.065
公共施設の適切な配置	-0.099	-0.161	0.063
交通安全、防犯対策	-0.044	-0.101	0.057
情報公開の促進（CATV・広報活動の充実）	-0.040	-0.093	0.053
保健、医療の充実	-0.036	-0.088	0.051
ごみ・し尿処理対策	0.072	0.032	0.040
中心市街地等の拠点づくり	-0.414	-0.444	0.029
文化施設・生涯学習の場の活用、充実	-0.052	-0.068	0.016
河川・港湾の改修	-0.054	-0.063	0.009
各種イベントの充実	-0.198	-0.185	▲ 0.013
幹線道路、生活道路の整備	-0.151	-0.107	▲ 0.044
鉄道・バスなど公共交通網の整備	-0.528	-0.464	▲ 0.064
スポーツ施設の充実	-0.087	-0.016	▲ 0.071
学校施設・設備、学校教育の充実	-0.025	0.055	▲ 0.080
大雨時の浸水対策	-0.451	-0.367	▲ 0.084
公営住宅の整備	-0.127	-0.037	▲ 0.090
水道水の安定供給	0.519	0.706	▲ 0.187

これからの暮らしについて

問19 あなたは、日常生活を営む中で、お住まいの地域の将来に不安を感じていますか。

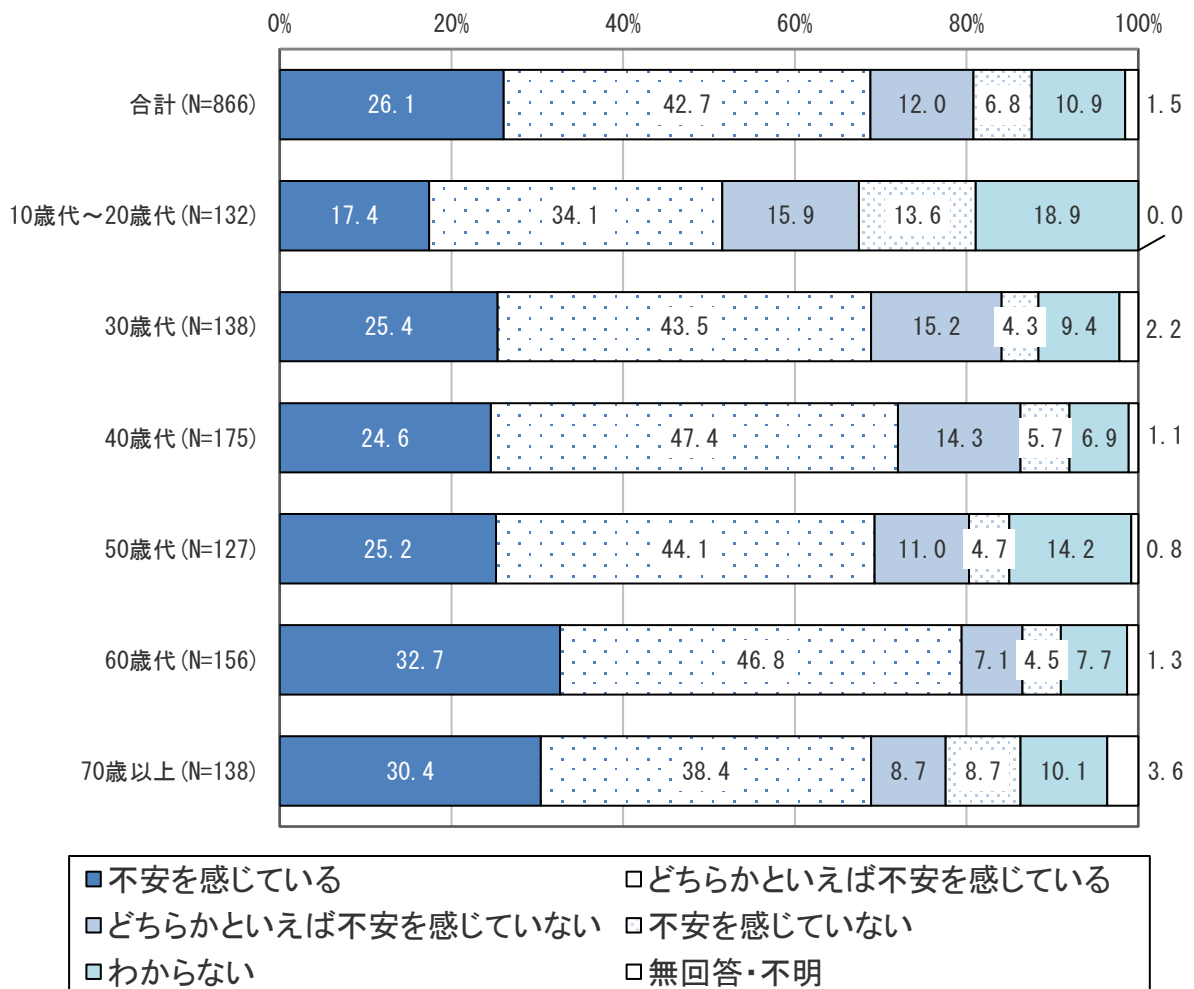
「どちらかといえば不安を感じている」が42.9%で最も高くなっています。次いで「不安を感じている」が25.8%、「どちらかといえば不安を感じていない」が12.1%が続いています。

N=879



【年代別クロス】

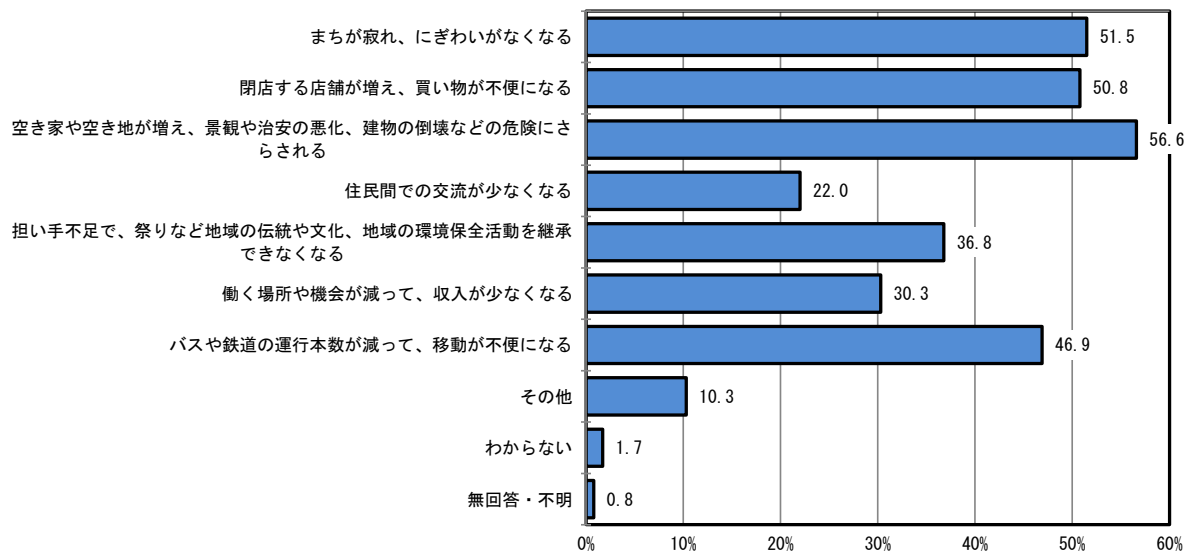
年代別にみると、“不安を感じている”（「不安を感じている」と「どちらかといえば不安を感じている」の合計）は、「10歳代～20歳代」では約50%、「30歳代」「40歳代」「50歳代」「70歳代」では約70%、「60歳代」で約80%となっています。



問19ー1 (問19で①か②)あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。

「空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされる」が56.6%を占めています。「まちが寂れ、にぎわいがなくなる」が51.5%、「閉店する店舗が増え、買い物が不便になる」が50.8%で続いています。

N=604



【年代別クロス】

年代別にみると、「10 歳代～20 歳代」では、「まちが寂れ、にぎわいがなくなる」「閉店する店舗が増え、買い物が不便になる」「空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされる」が高くなっています。

「30 歳代」では、「まちが寂れ、にぎわいがなくなる」「閉店する店舗が増え、買い物が不便になる」「バスや鉄道の運行本数が減って、移動が不便になる」が高くなっています。「40 歳代」では、「空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされる」「閉店する店舗が増え、買い物が不便になる」「まちが寂れ、にぎわいがなくなる」が高くなっています。「50 歳代」では、「空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされる」「閉店する店舗が増え、買い物が不便になる」「バスや鉄道の運行本数が減って、移動が不便になる」が高くなっています。

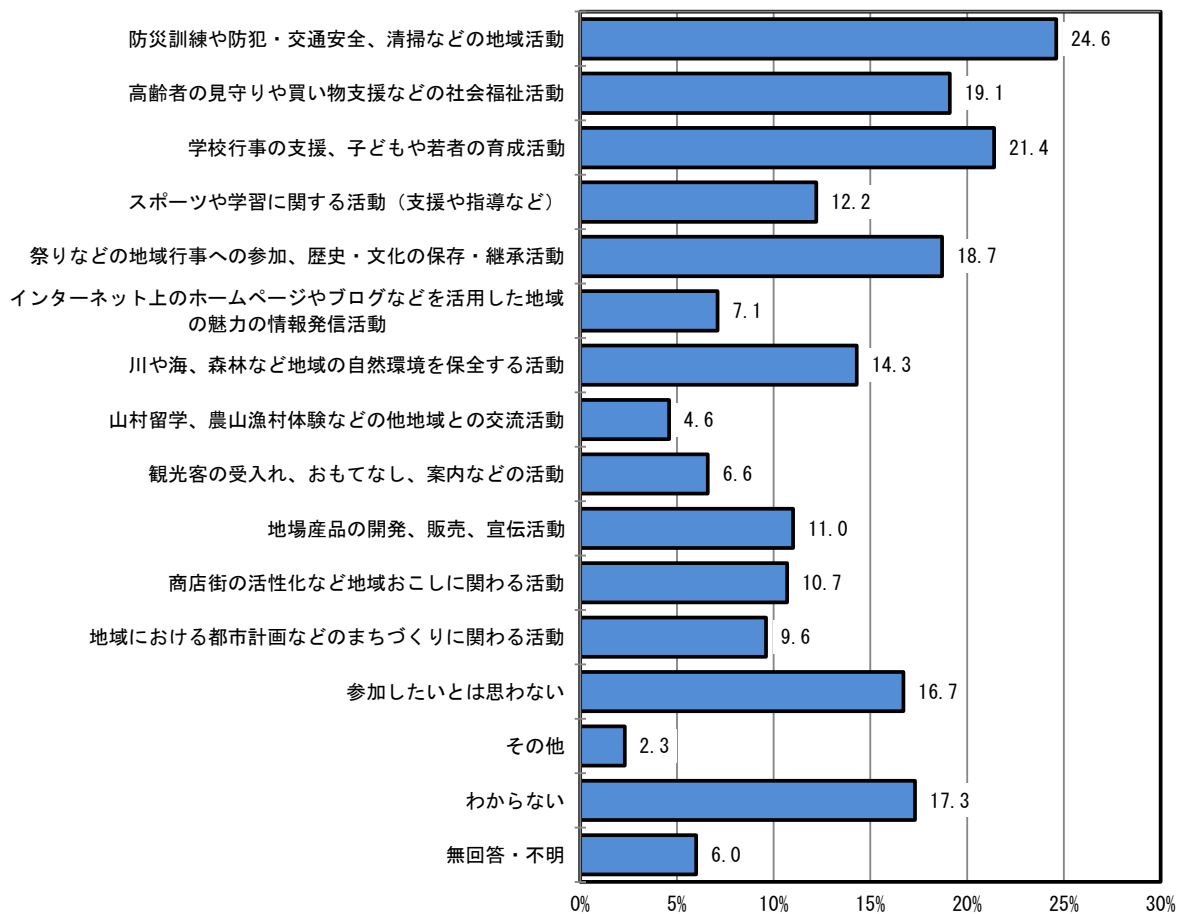
「60 歳代」では、「空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされる」「閉店する店舗が増え、買い物が不便になる」「担い手不足で、祭りなど地域の伝統や文化、地域の環境保全活動を継承できなくなる」が高くなっています。「70 歳以上」では、「空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされる」「まちが寂れ、にぎわいがなくなる」「バスや鉄道の運行本数が減って、移動が不便になる」が高くなっています。

	全体 (N=596)	10歳代 ～20歳代 (N=68)	30歳代 (N=95)	40歳代 (N=126)	50歳代 (N=88)	60歳代 (N=124)	70歳以上 (N=95)
まちが寂れ、にぎわいがなくなる	51.7	61.8	64.2	47.6	44.3	44.4	53.7
閉店する店舗が増え、買い物が不便になる	51.0	50.0	53.7	50.8	53.4	48.4	50.5
空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされる	56.9	45.6	42.1	54.8	64.8	65.3	64.2
住民間での交流が少なくなる	22.3	11.8	10.5	16.7	21.6	30.6	38.9
担い手不足で、祭りなど地域の伝統や文化、地域の環境保全活動を継承できなくなる	37.1	33.8	28.4	34.1	27.3	46.0	49.5
働く場所や機会が減って、収入が少なくなる	30.4	36.8	33.7	29.4	35.2	25.8	25.3
バスや鉄道の運行本数が減って、移動が不便になる	46.6	38.2	49.5	46.0	56.8	37.1	53.7
その他	10.2	8.8	10.5	12.7	10.2	11.3	6.3
わからない	1.7	2.9	1.1	3.2	1.1	-	2.1
無回答・不明	0.8	-	-	0.8	1.1	0.8	2.1

問20 あなたは、お住まいの地域における地域づくりに関わる活動として、どのようなものに参加したいと思いますか。

「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」が24.6%で最も高くなっています。次いで「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」が21.4%、「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」が19.1%で続いています。

N=879



【その他】

体力と気力が続くならば活動したい／年齢に合った活動ができれば参加したいと思っている
 ／今のところ自分に余裕がなく難しい／高齢のため／仕事が忙しく、参加したくても無理。
 体力にも自信なし／インフラ整備／今は子育てで精一杯／高齢のため自分できる範囲で若者
 たちへの交流ができれば（自分の体験など）／高齢者の増加のため、若い人を望む／興味
 がない／参加したいができない／不健康で仕事で精一杯。コロナ禍だから／参加したいと思
 える情報の発信が今まで少なく、何に参加したら良いかわからない／興味はあるが足を痛め、
 思うように動けなくなったのが残念／

【年代別クロス】

年代別にみると、「10歳代～20歳代」では、「祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動」「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」「スポーツや学習に関する活動（支援や指導など）」が高くなっています。

「30歳代」では、「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」「スポーツや学習に関する活動（支援や指導など）」「祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動」が高くなっています。「40歳代」では、「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「参加したいとは思わない」が高くなっています。「50歳代」では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」「わからない」が高くなっています。

「60歳代」では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」が高くなっています。「70歳以上」では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」が高くなっています。

	全体 (N=866)	10歳代 ～20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動	24.9	18.9	15.9	27.4	27.6	26.9	31.9
高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動	19.4	8.3	11.6	18.3	25.2	26.9	25.4
学校行事の支援、子どもや若者の育成活動	21.6	24.2	39.1	29.7	12.6	11.5	10.9
スポーツや学習に関する活動（支援や指導など）	12.2	20.5	18.1	14.3	8.7	8.3	3.6
祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動	18.8	27.3	18.1	20.0	13.4	17.9	15.9
インターネット上のホームページやブログなどを活用した地域の魅力の情報発信活動	7.2	15.9	10.1	7.4	5.5	3.2	1.4
川や海、森林など地域の自然環境を保全する活動	14.4	15.9	15.9	12.0	13.4	15.4	14.5
山村留学、農山漁村体験などの他地域との交流活動	4.6	6.1	6.5	3.4	3.1	5.8	2.9
観光客の受入れ、おもてなし、案内などの活動	6.7	13.6	8.7	6.3	3.1	3.8	5.1
地場産品の開発、販売、宣伝活動	11.1	10.6	10.1	12.0	9.4	14.1	9.4
商店街の活性化など地域おこしに関わる活動	10.7	18.9	14.5	9.1	7.9	8.3	6.5
地域における都市計画などのまちづくりに関わる活動	9.7	15.9	15.9	8.6	7.9	4.5	6.5
参加したいとは思わない	16.7	15.2	14.5	20.6	14.2	20.5	13.8
その他	2.2	-	0.7	0.6	3.9	2.6	5.8
わからない	17.1	14.4	16.7	16.6	18.1	20.5	15.9
無回答・不明	5.9	1.5	2.2	2.9	7.1	5.1	17.4

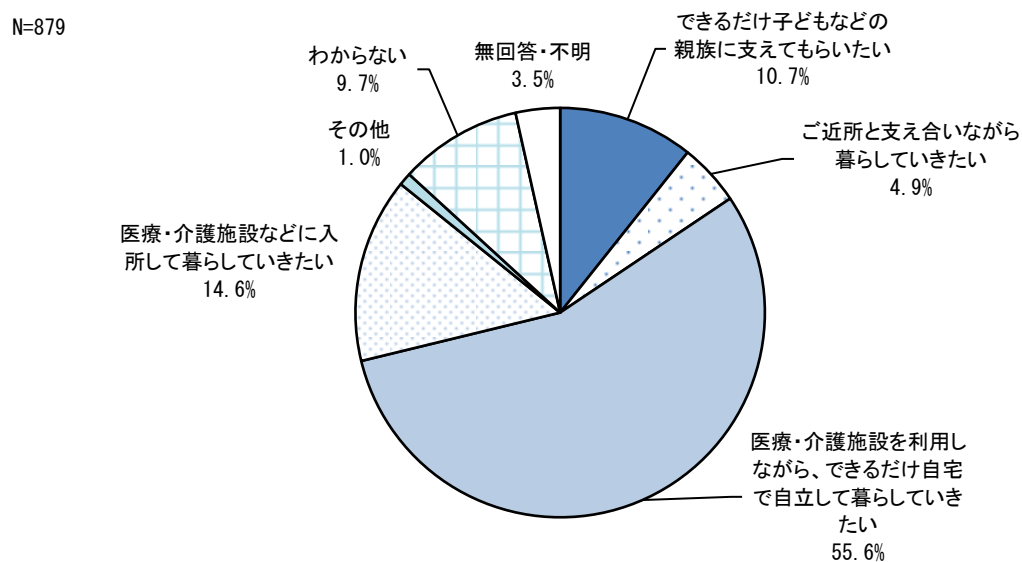
【地区別クロス】

地区別にみると、白石小学校区では「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」が高くなっています。六角小学校区では、「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動」が高くなっています。須古小学校区では「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」「わからない」が高くなっています。北明小学校区では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」「祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動」が高くなっています。福富小学校区では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」「わからない」が高くなっています。有明東小学校区では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」「学校行事の支援、子どもや若者の育成活動」が高くなっています。有明西小学校区では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動」「祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動」が高くなっています。有明南小学校区では、「防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動」「祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動」「参加したいとは思わない」が高くなっています。

	全体 (N=860)	白石小学校区 (N=158)	六角小学校区 (N=100)	須古小学校区 (N=74)	北明小学校区 (N=98)	福富小学校区 (N=152)	有明東小学校区 (N=84)	有明西小学校区 (N=93)	有明南小学校区 (N=101)
防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動	25.0	22.2	22.0	21.6	26.5	25.0	31.0	28.0	25.7
高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動	19.4	20.3	15.0	21.6	21.4	17.1	23.8	24.7	13.9
学校行事の支援、子どもや若者の育成活動	21.6	20.3	23.0	18.9	26.5	21.7	23.8	21.5	17.8
スポーツや学習に関する活動（支援や指導など）	12.2	13.9	11.0	8.1	13.3	15.1	11.9	9.7	10.9
祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動	18.8	15.2	20.0	17.6	24.5	13.2	21.4	23.7	20.8
インターネット上のホームページやブログなどを活用した地域の魅力の情報発信活動	7.2	8.9	10.0	2.7	5.1	5.9	10.7	5.4	7.9
川や海、森林など地域の自然環境を保全する活動	14.5	14.6	17.0	13.5	12.2	12.5	8.3	22.6	15.8
山村留学、農山漁村体験などの他地域との交流活動	4.7	5.7	4.0	5.4	1.0	4.6	7.1	5.4	4.0
観光客の受入れ、おもてなし、案内などの活動	6.7	5.7	10.0	1.4	6.1	9.2	9.5	6.5	4.0
地場製品の開発、販売、宣伝活動	11.0	8.9	13.0	5.4	11.2	14.5	15.5	9.7	8.9
商店街の活性化など地域おこしに関わる活動	10.6	13.9	9.0	6.8	4.1	10.5	16.7	14.0	7.9
地域における都市計画などのまちづくりに関わる活動	9.7	13.3	8.0	4.1	7.1	10.5	10.7	10.8	8.9
参加したいとは思わない	16.5	18.4	18.0	14.9	17.3	11.2	19.0	15.1	19.8
その他	2.1	1.9	1.0	2.7	4.1	2.6	2.4	-	2.0
わからない	17.0	15.2	15.0	23.0	15.3	19.1	13.1	19.4	16.8
無回答・不明	5.9	5.1	7.0	9.5	3.1	9.2	2.4	4.3	5.9

問21 あなたは、老後の日常生活において、生活支援や介護が必要となった場合には、主にどのような生活を希望しますか。

「医療・介護施設を利用しながら、できるだけ自宅で自立して暮らしていきたい」が55.6%を占めています。「医療・介護施設などに入所して暮らしていきたい」が14.6%、「できるだけ子どもなどの親族に支えてもらいたい」が10.7%で続いています。

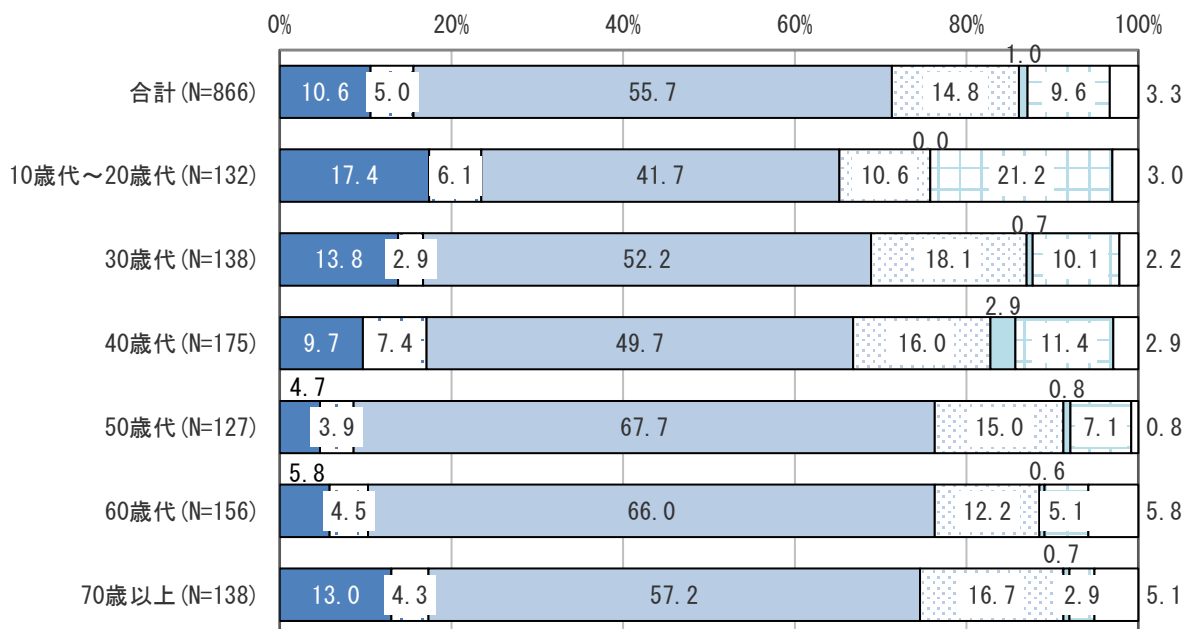


【その他】

1人でゆっくり自立して暮らしたい／移住する／まだ考えられない／会社定年後は佐世保に戻る予定なので、老後のことは佐世保で考える／能力と時間がない／

【年代別クロス】

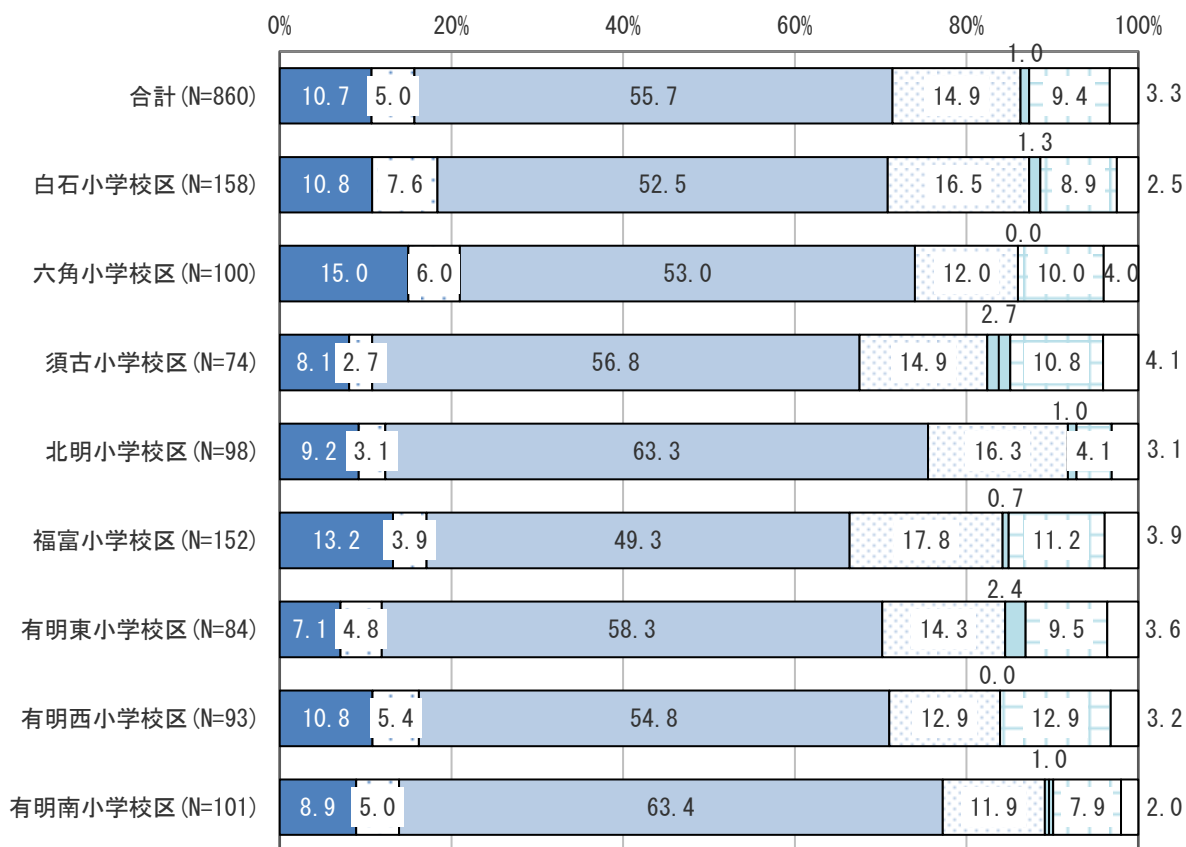
年代別にみると、どの年代においても「医療・介護施設を利用しながら、できるだけ自宅で自立して暮らしていきたい」が最も高くなっています。



- できるだけ子どもなどの親族に支えてもらいたい
- ご近所と支え合いながら暮らしていきたい
- 医療・介護施設を利用しながら、できるだけ自宅で自立して暮らしていきたい
- 医療・介護施設などに入所して暮らしていきたい
- その他
- わからない
- 無回答・不明

【地区別クロス】

地区別にみると、どの年代においても「医療・介護施設を利用しながら、できるだけ自宅で自立して暮らしていきたい」が最も高くなっています。



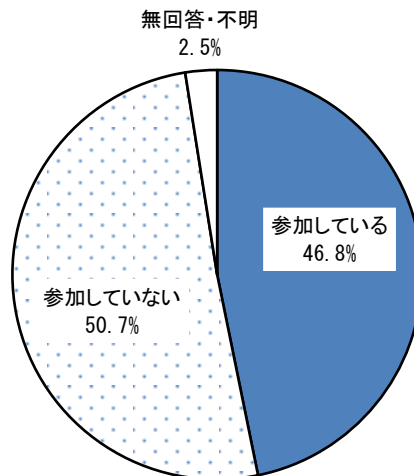
- できるだけ子どもなどの親族に支えてもらいたい
- ご近所と支え合いながら暮らしていきたい
- 医療・介護施設を利用しながら、できるだけ自宅で自立して暮らしていきたい
- 医療・介護施設などに入所して暮らしていきたい
- その他
- わからない
- 無回答・不明

地域活動について

問22 あなたは、地域活動(自治会、町内会、老人クラブ、子どもクラブ、消防団など)に参加されていますか。

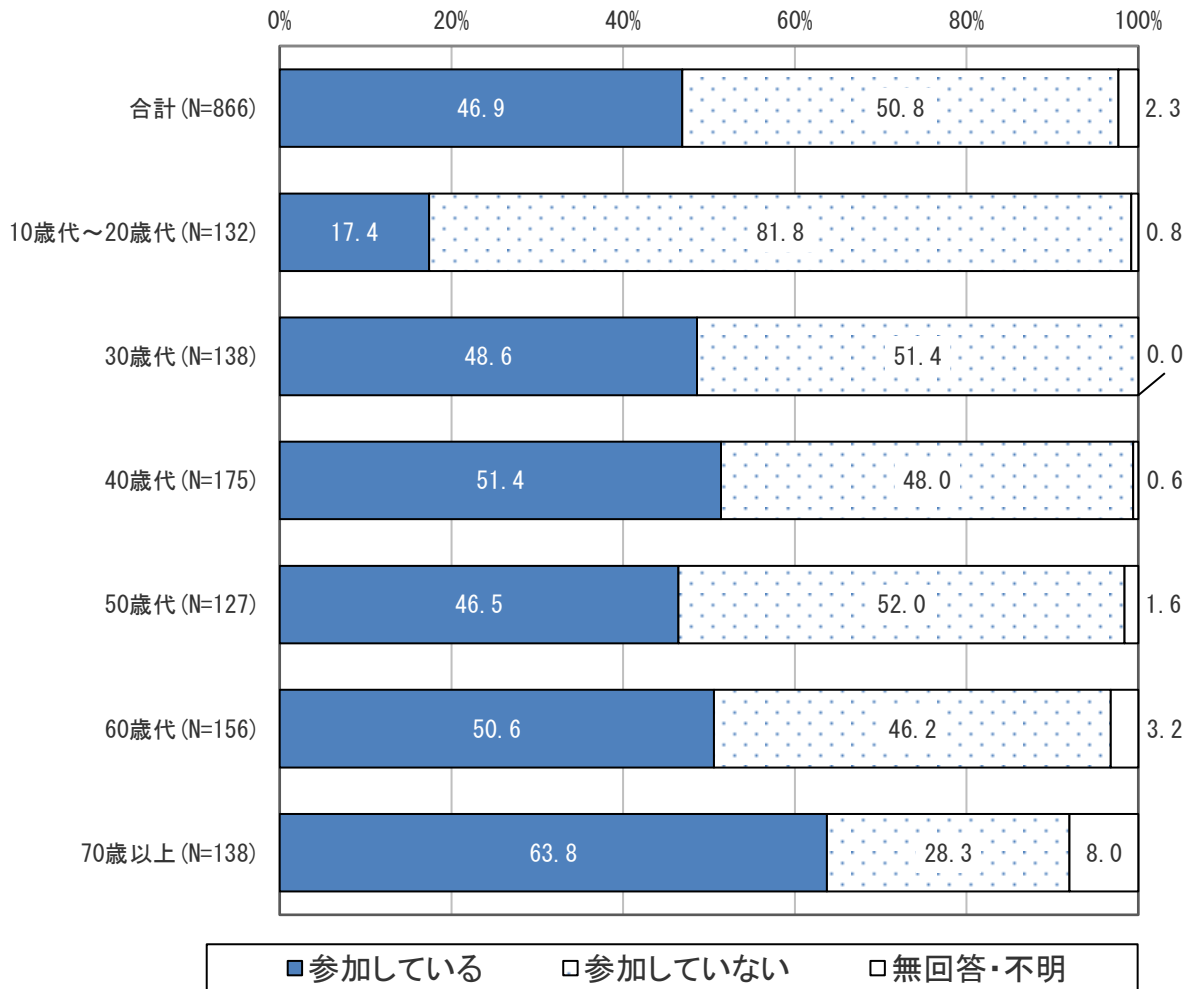
「参加していない」が50.7%、「参加している」が46.8%となっています。

N=879



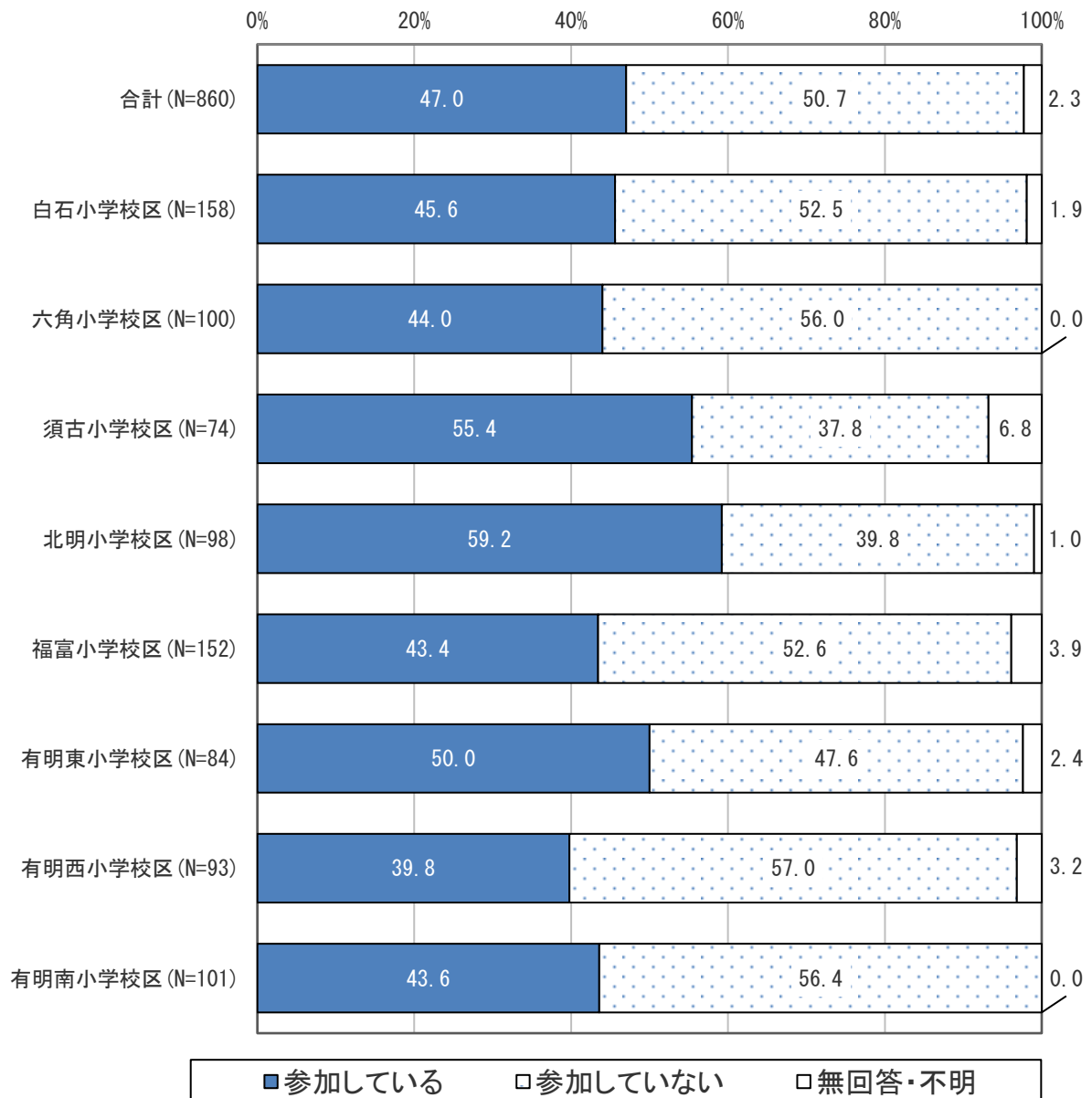
【年代別クロス】

年代別にみると、「参加している」の割合は、「10歳代～20歳代」が約20%、30歳代から60歳代までが約50%、70歳以上が約60%となっています。



【地域別クロス】

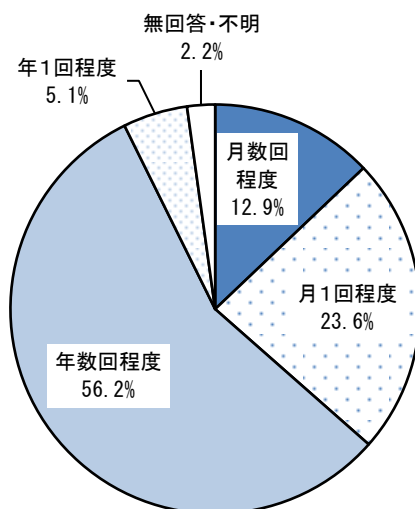
地区別にみると、「参加している」の割合は、「須古小学校区」「北明小学校区」で約 60%、「有明東小学校区」「白石小学校区」で約 50%、「六角小学校区」「福富小学校区」「有明西小学校区」「有明南小学校区」で約 40%となっています。



問22-1 (問22で①) あなたが地域活動に参加される頻度はどのくらいですか。

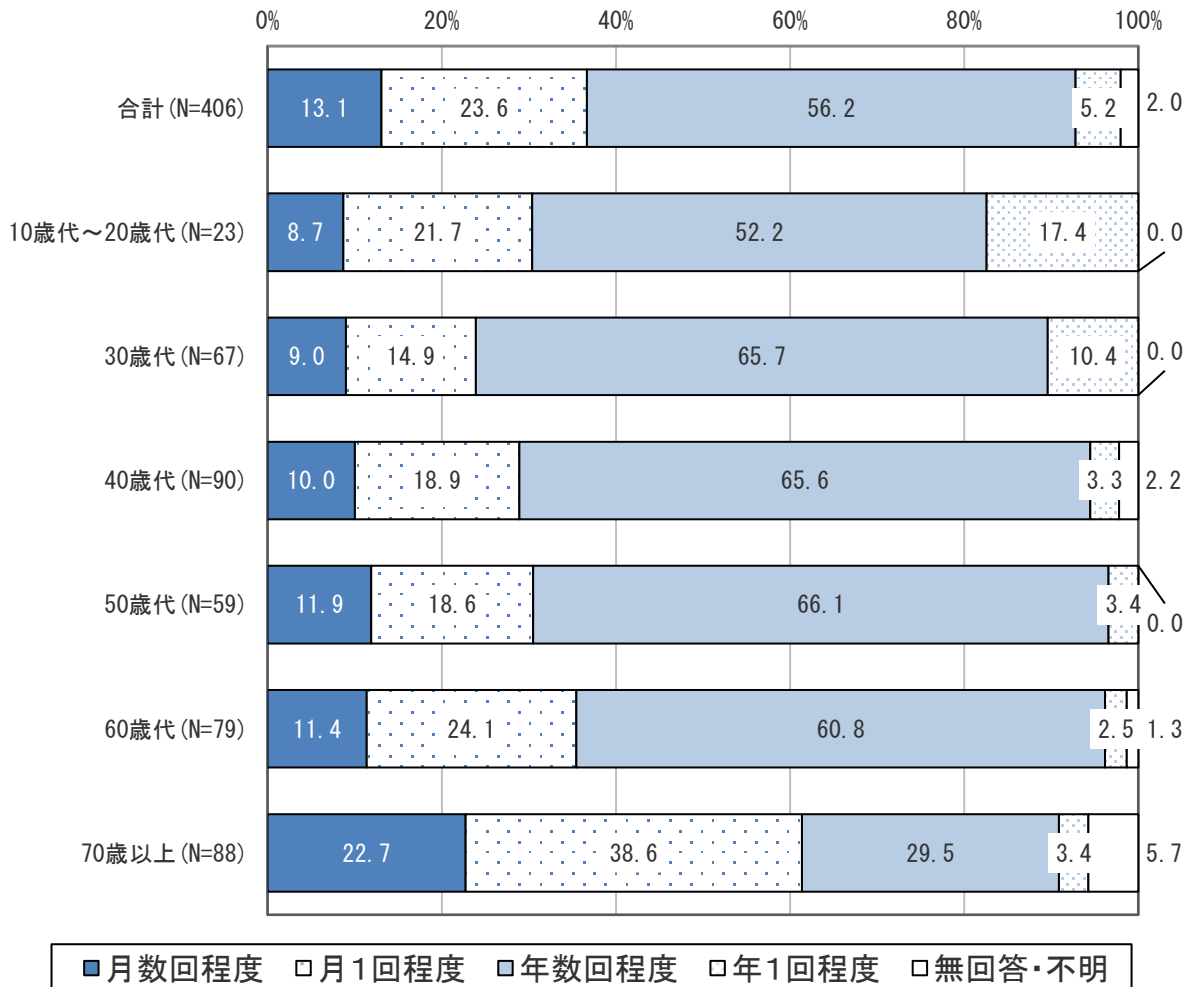
「年数回程度」が56.2%を占めています。「月1回程度」が23.6%、「月数回程度」が12.9%で続いています。

N=411



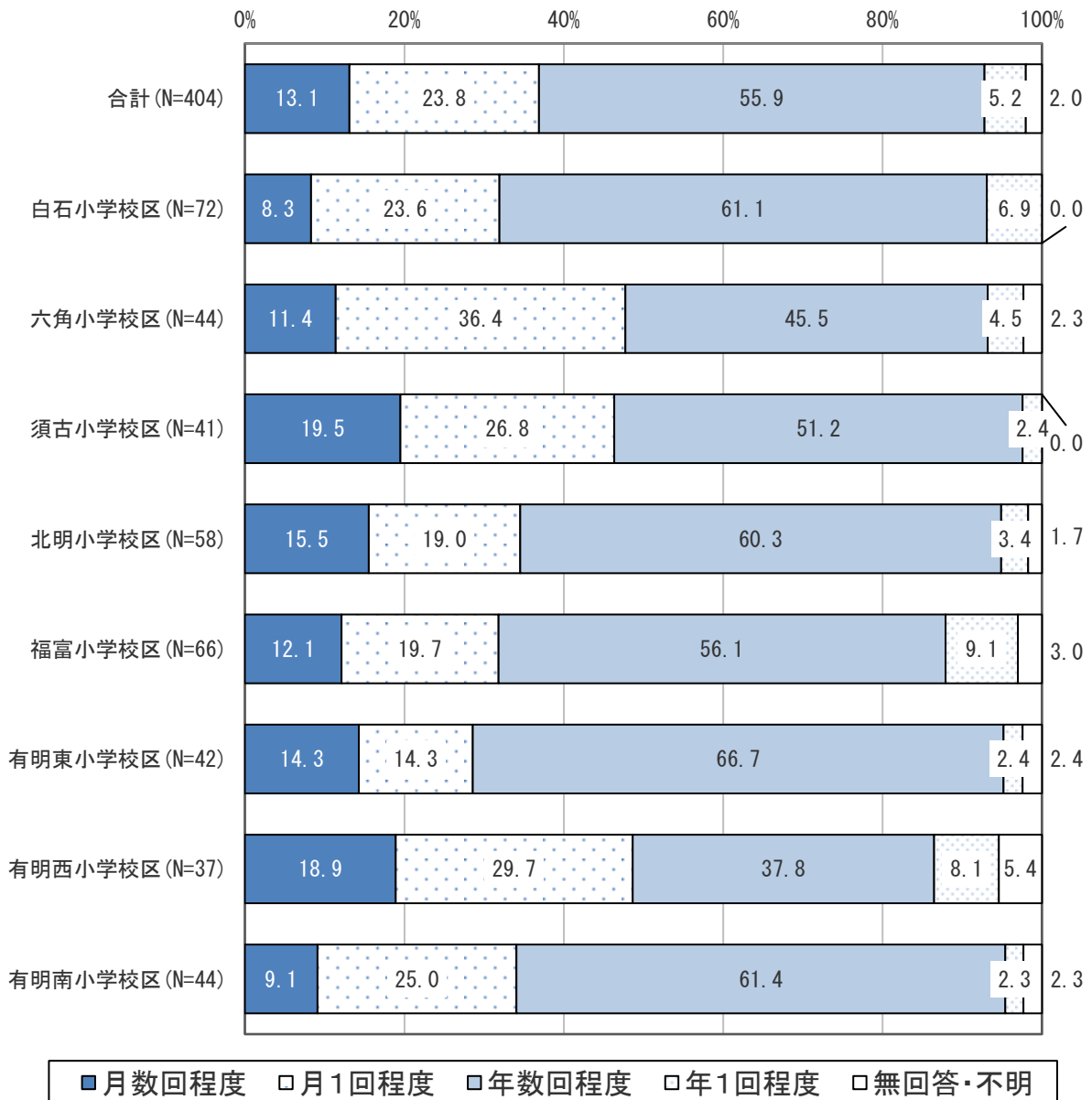
【年代別クロス】

年代別にみると、60歳代までの年代で「年数回程度」が最も高く、「月数回程度」が約10%、「月1回程度」が約15~20%の間となっています。



【地区別クロス】

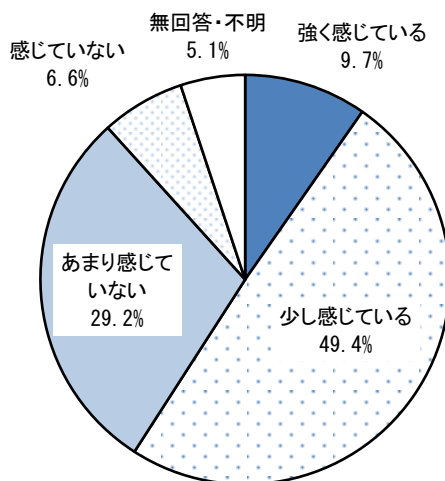
地区別にみると、比較的に参加頻度の高い（「月数回程度」と「月1回程度」の合計）地区は、「六角小学校区」「須古小学校区」「有明西小学校区」となっています。



問22-2(1) (問22で①) 【(やりがい)あなたは、地域活動への参加についてどう感じていますか。】

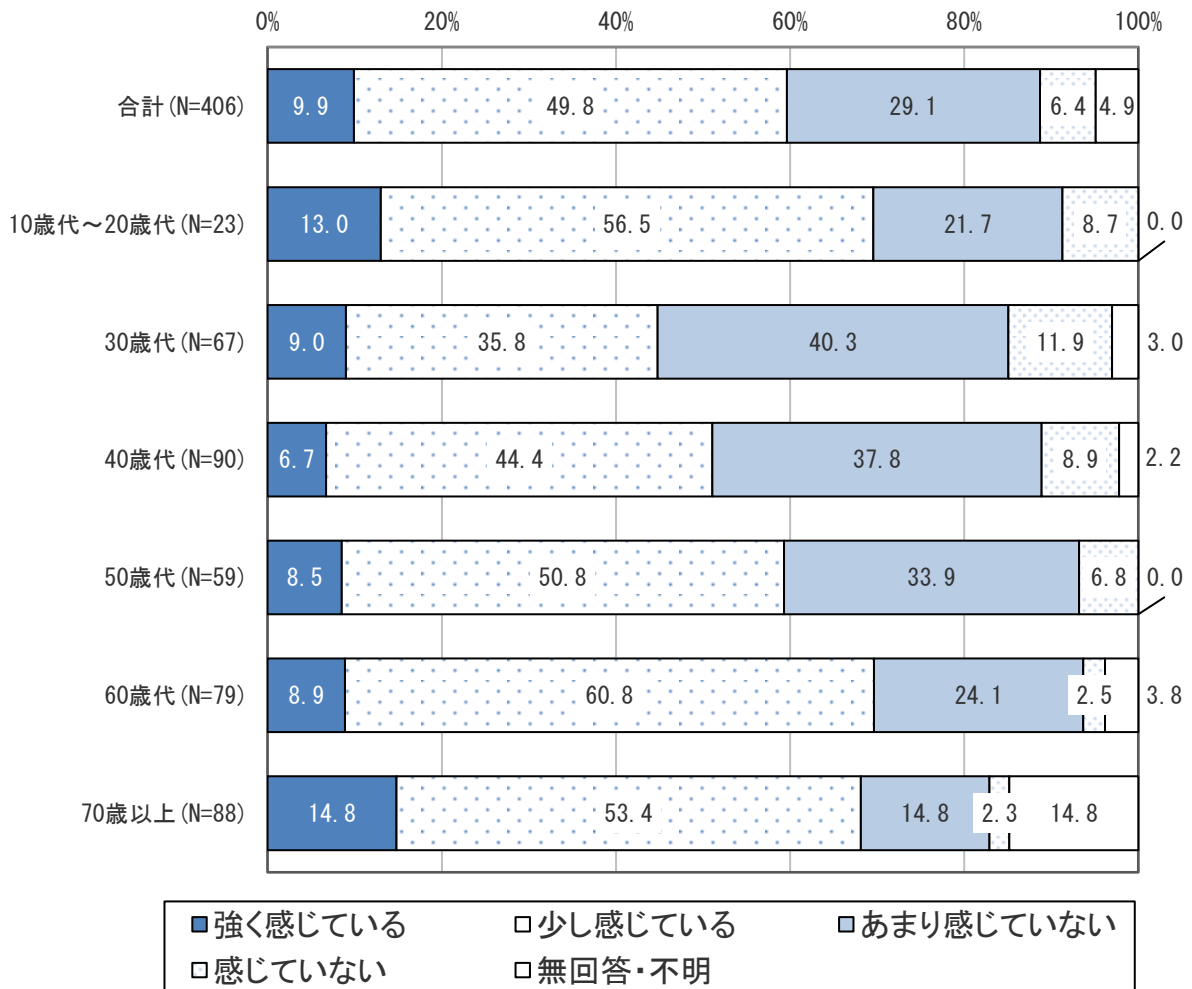
「少し感じている」が 49.4%で最も高くなっています。次いで「あまり感じていない」が 29.2%、「強く感じている」が 9.7%で続いています。

N=411



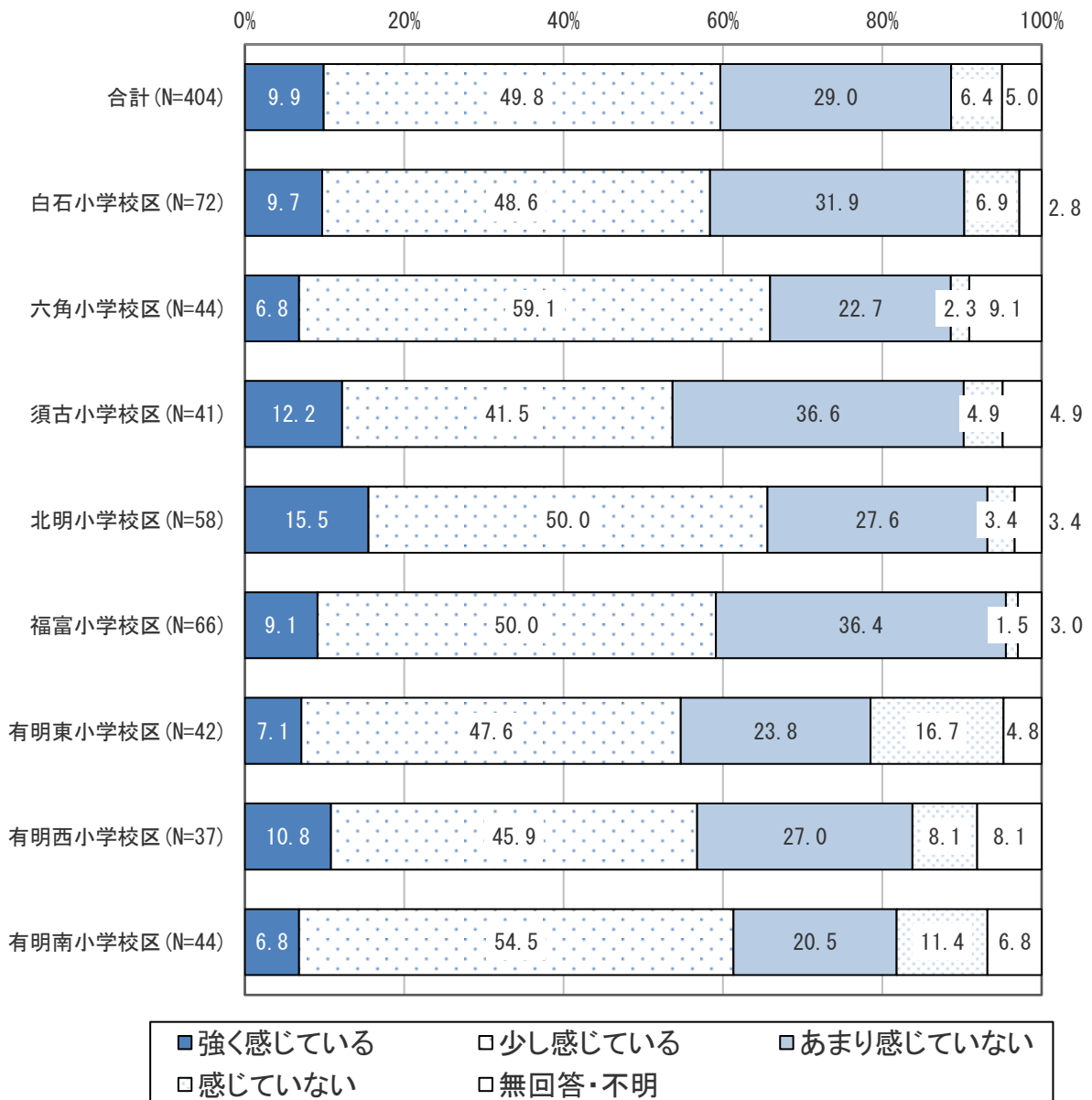
【年代別クロス】

年代別にみると、「やりがいを感じている」（「強く感じている」と「少し感じている」の合計）の割合が高くなっているのは、「10歳代～20歳代」「60歳代」「70歳以上」となっています。



【地区別クロス】

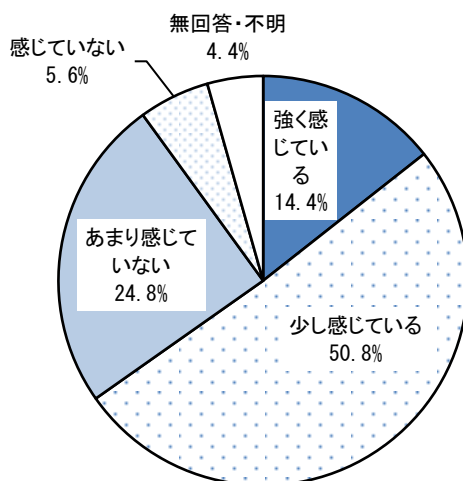
地区別にみると、「やりがいを感じている」（「強く感じている」と「少し感じている」の合計）の割合が高くなっている地区は、「六角小学校区」「北明小学校区」「有明南小学校区」となっています。



問22-2(2) (問22で①) 【(使命感)あなたは、地域活動への参加についてどう感じていますか。】

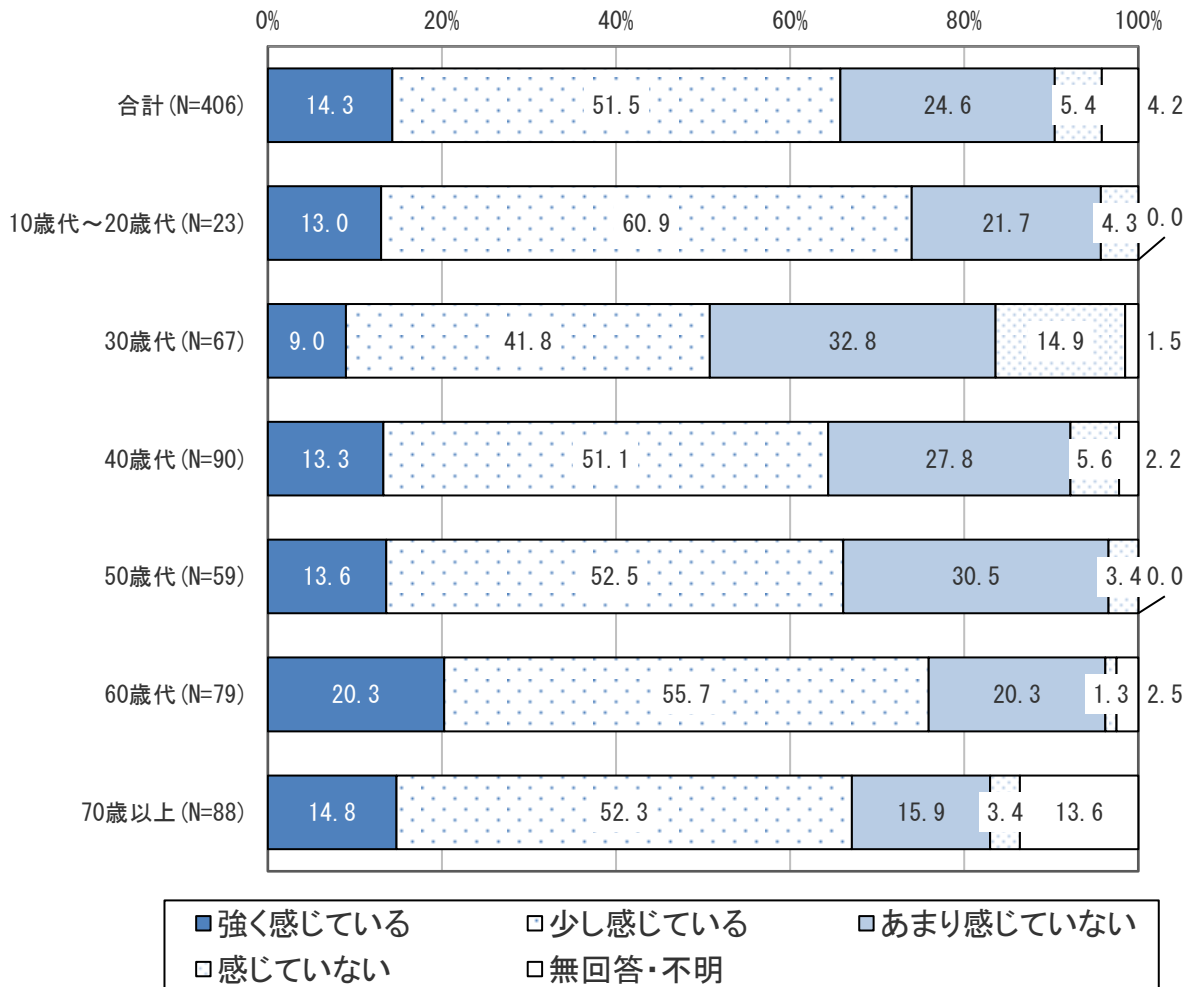
「少し感じている」が50.8%を占めています。「あまり感じていない」が24.8%、「強く感じている」が14.4%が続いています。

N=411



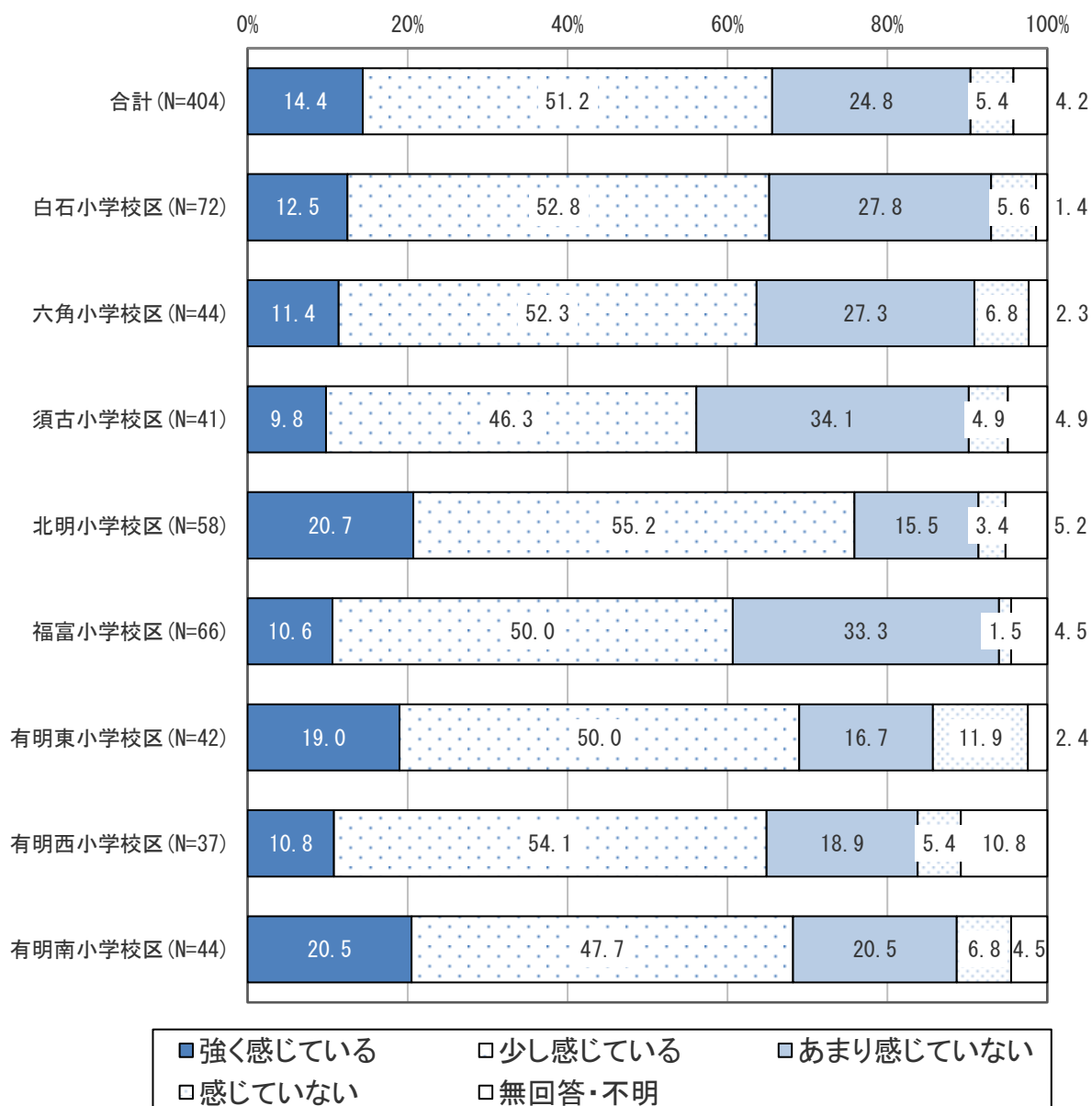
【年代別クロス】

年代別にみると、「使命感を感じている」（「強く感じている」と「少し感じている」の合計）の割合が高くなっているのは、「10歳代～20歳代」「60歳代」となっています。



【地区別クロス】

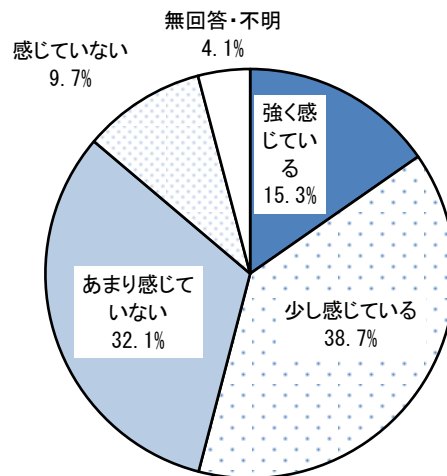
地区別にみると、「使命感を感じている」（「強く感じている」と「少し感じている」の合計）の割合が高くなっている地区は、「北明小学校区」「有明東小学校区」「有明南小学校区」となっています。



問22-2(3) (問22で①) 【(負担感・ストレス)あなたは、地域活動への参加についてどう感じていますか。】

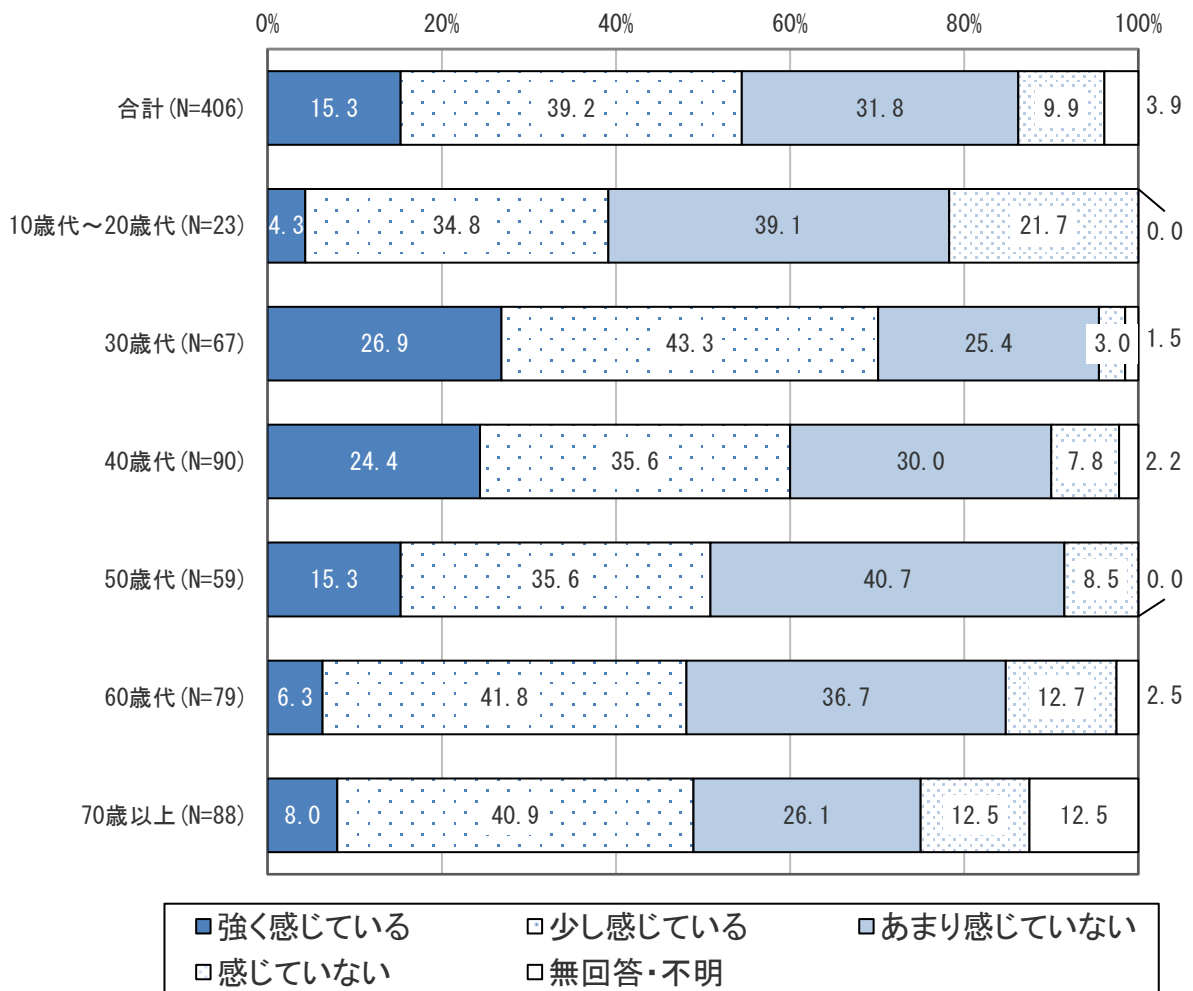
「少し感じている」が 38.7%で最も高くなっています。次いで「あまり感じていない」が 32.1%、「強く感じている」が 15.3%が続いています。

N=411



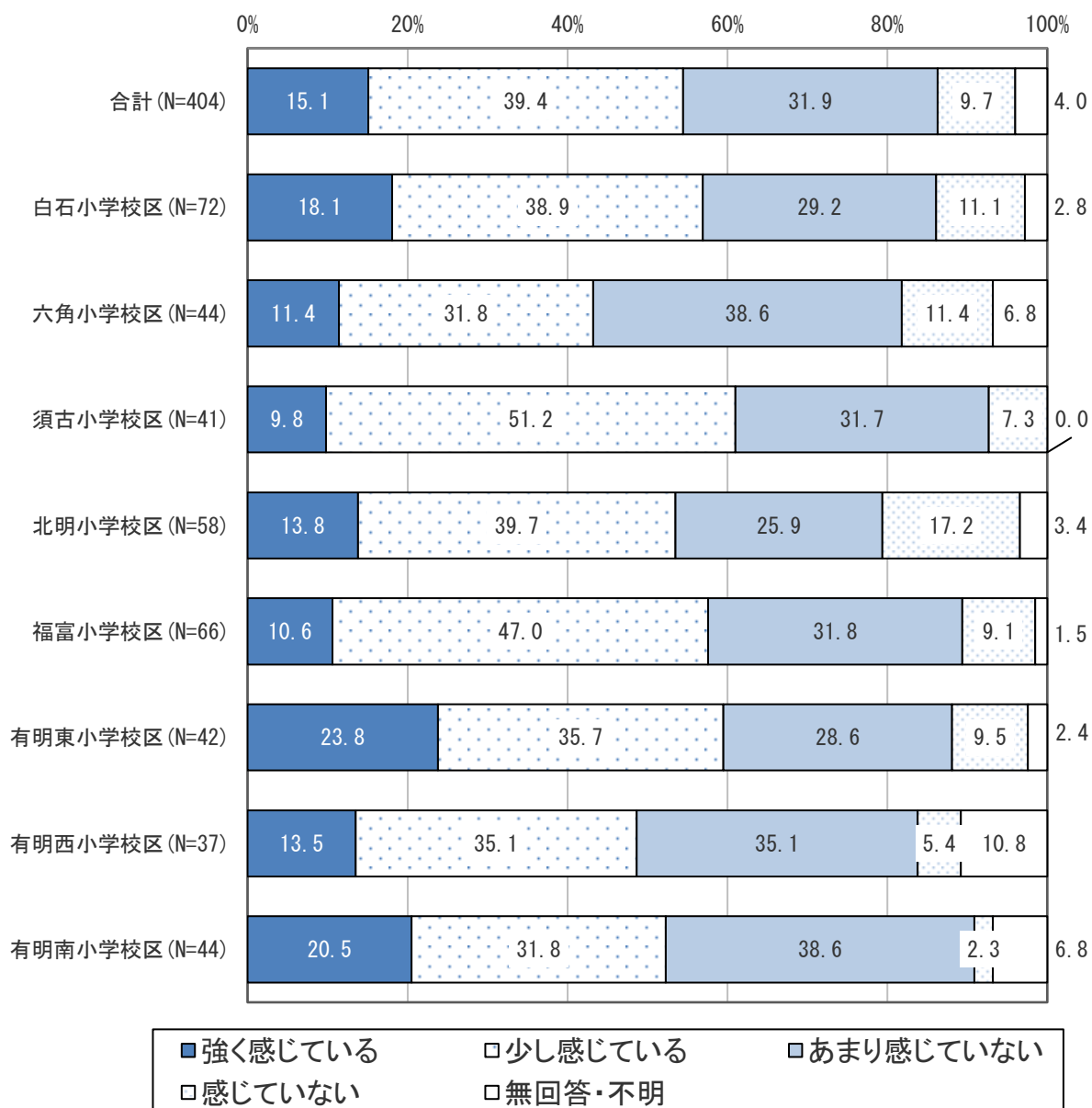
【年代別クロス】

年代別にみると、「ストレスを感じていない」（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）の割合が高くなっているのは、「10歳代～20歳代」「50歳代」「60歳代」となっています。



【地区別クロス】

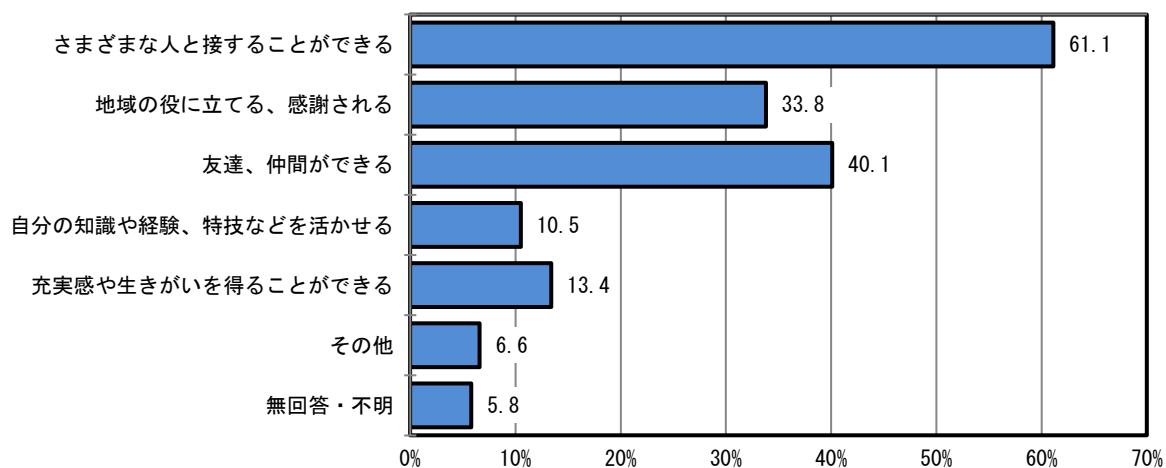
地区別にみると、「ストレスを感じていない」（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）の割合が高くなっている地区は、「六角小学校区」「北明小学校区」「福富小学校区」「有明南小学校区」となっています。



問22-3 (問22で①)地域活動に参加して良かったことは、何ですか。

「さまざまな人と接することができる」が61.1%を占めています。「友達、仲間ができる」が40.1%、「地域の役に立てる、感謝される」が33.8%で続いています。

N=411



【その他】

仕方なく参加している／嫌と感じていないから／義務感で参加している／良いことはない、負担しかない／子どもがいるから参加せざるを得ない／地域に育てていただいた感謝の気持ち／特になし／

【年代別クロス】

年代別にみると、どの年代においても「さまざまな人と接することができる」「地域の役に立てる、感謝される」「友達、仲間ができる」が高くなっています。

	全体 (N=406)	10歳代 ~20歳代 (N=23)	30歳代 (N=67)	40歳代 (N=90)	50歳代 (N=59)	60歳代 (N=79)	70歳以上 (N=88)
さまざまな人と接することができる	60.8	65.2	53.7	54.4	64.4	63.3	67.0
地域の役に立てる、感謝される	34.2	34.8	22.4	37.8	37.3	41.8	30.7
友達、仲間ができる	40.1	47.8	38.8	37.8	35.6	36.7	47.7
自分の知識や経験、特技などを活かせる	10.6	21.7	9.0	6.7	8.5	17.7	8.0
充実感や生きがいを得ることができる	13.5	21.7	4.5	8.9	8.5	12.7	27.3
その他	6.4	4.3	11.9	7.8	6.8	3.8	3.4
無回答・不明	5.9	-	9.0	8.9	3.4	1.3	8.0

【地区別クロス】

地区別にみると、どの小学校区も「さまざまな人と接することができる」「友達、仲間ができる」「地域の役に立てる、感謝される」が高くなっています。

「さまざまな人と接することができる」については、どの校区も50%以上となっています。

「友達、仲間ができる」については、高くなっているのは「福富小学校区」(50.0%)、「有明東小学校区」(47.6%)となっています。「地域の役に立てる、感謝される」については、高くなっているのは「有明南小学校区」(45.5%)、「北明小学校区」(41.4%)となっています。

	全体 (N=404)	白石小学校区 (N=72)	六角小学校区 (N=44)	須古小学校区 (N=41)	北明小学校区 (N=58)	福富小学校区 (N=66)	有明東小学校区 (N=42)	有明西小学校区 (N=37)	有明南小学校区 (N=44)
さまざまな人と接することができる	60.9	52.8	70.5	61.0	62.1	72.7	54.8	59.5	52.3
地域の役に立てる、感謝される	34.4	33.3	34.1	34.1	41.4	25.8	26.2	37.8	45.5
友達、仲間ができる	40.1	37.5	40.9	43.9	37.9	50.0	47.6	24.3	34.1
自分の知識や経験、特技などを活かせる	10.6	12.5	6.8	9.8	8.6	15.2	7.1	10.8	11.4
充実感や生きがいを得ることができる	13.6	16.7	9.1	17.1	12.1	16.7	14.3	13.5	6.8
その他	6.2	9.7	9.1	4.9	5.2	3.0	7.1	8.1	2.3
無回答・不明	5.9	4.2	4.5	4.9	5.2	4.5	9.5	8.1	9.1

問23 これからの地域活動について、どのようにした方がよいかご意見・ご提案などがあれば記載してください。

■10代の意見

年齢	性別	記載内容
10歳代	女性	まだよくわかりませんが、つながりがずっと続くような活動は素敵だと思います。
10歳代	女性	バス、電車などの運行本数を増やしてほしい。
10歳代	女性	乗合バスの充実
10歳代	男性	コロナが収束しないと色々なイベントができませんが、世界中にこんなに素晴らしい町がある事をPRする。
10歳代	女性	高校時代に参加してみたいと思ったが、どのようにすれば良いかわからずできなかった。SNSなどを使い、情報発信を充実させることで、学生や若い世代に興味をもってもらいたいと思う。

■20代の意見

年齢	性別	記載内容
20～24歳	男性	意味がない地区の掃除等はやめてほしい(小さい子どもがいる家庭で、除草作業に各家庭から2人出ない場合、出不足金支払い等)。
20～24歳	男性	日常生活や仕事に負担(影響)がある活動は控えてほしい(例:平日の朝が早い活動)。
20～24歳	男性	若い者はどのように近所と付き合いが良いのかわからないため、参加も難しくなっている。少しでも良いので指導がほしい。
20～24歳	男性	ごみ拾いなどを行う。
25～29歳	男性	協議会の立ち上げ。
25～29歳	女性	地域ごとにやり方の差があるため、ある程度統一してほしい。
25～29歳	男性	若年層への支援の充実、子どもたちへのグローバル教育を行い、日本のみならず世界へ目を向けやすい環境整備を希望します。外国人との交流等も良いかもしれません。
25～29歳	男性	子育て世代の支援になるような活動を増やしてさらに充実していただけたらと思う
25～29歳	男性	農家以外の住むメリットがあまり感じないのに農家の担い手が減っているのであれば町が企業等を誘致して農業を存続させていくべきである
25～29歳	女性	若い人が住みたいと思わない。何をしても買いに行くのも近くに無いし遠い。若い人が住みたいと思うアパートがない。アパートが古すぎる。1番は近所付き合いのめんどくささやの上の人たちからの強制的参加みたいな感じのウザさ。 行事ごとに絶対参加みたいな意味がわからない。

年齢	性別	記載内容
25～29 歳	男性	子どもが安全に暮らせるように地域で密着し、連携して対応する。
25～29 歳	女性	<p>文化や白石の特産物を通して子供達に魅力を感じてもらえるような活動が必要。</p> <p>→将来、子供達が勉強や就職で県外へ出たとしても また白石に住みたい、盛り上げたい、という思いへ繋げる。</p> <p>例えば、 学校の授業やクラブ活動の中で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●白石の風景を写真に撮ったり絵画に残す(賞を与えたり評価はせず、ただ本人が好きなお所や気になるところを見つけて特別なものにする) <p>また、生産者の方や高齢者の方に協力を得て</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産直やスーパーを取材し生産者の声を聞く ●農業体験や漁業体験、自分で採った食材で伝統的な料理を作る ●新たな商品の開発をする <p>など</p> <p>もしかしたらもう行われているかもしれません。</p> <p>観光客を呼び込むことは収益を上げる上でももちろん大切であると思います。</p> <p>しかし、若い世代がこれからも住み続けたいと思えること、故郷に誇りを持つことはもっと大切なことだと思います。</p>
25～29 歳	女性	<p>独居や老老介護の方に対する支援(いこカーやかせすっけん等を利用してゴミ出し、買い物、病院受診などができること)に関して、町民への周知が薄い気がします。町内への施設や病院関係の方にも周知してもらい、より良いサービス提供ができるようにする。</p>

■30代の意見

年齢	性別	記載内容
30～34 歳	女性	<p>子どもが小学生になって初めて子どもクラブに入る時とても緊張しました。しかし、歓迎会や新入生の紹介等があり、家族としても近所の子どもさんたちを知る機会ができ、ありがたかったです。</p>
30～34 歳	女性	飲み会ばかりで参加したくない
30～34 歳	男性	若い人が入って来ないので、消防団を辞めにくい。
30～34 歳	男性	出来るだけ多くの人に参加してもらう
30～34 歳	女性	<p>父親が消防団や体育部の飲み会などで夜家を開ける機会が多くあり、小さな子供がいるのに飲みに出て行く頻度が多いのですが、 地域の活動の為に家庭を置いてきていることに配慮してくれる人は誰もい</p>

年齢	性別	記載内容
		<p>ません。</p> <p>最近はコロナのために自粛傾向にあります。地域活動をする為には月に何度も集まらなくてはならないのでしょうか。家で子どもたちを一人で見ている母親はさらに孤独ではないかなと思います。</p> <p>また、福富地域には、児童館はなく、公園も充実していません。子供が安全に遊べる場所がないのです。子育てをするにあたり非常に困ると思います。子育て世代の親や、小学生の放課後など、安全に集まれるところ、見守ってくれる人がいる環境があればいいなと思います。</p>
30～34 歳	男性	他の地域がどのような取り組みを行なっているかを学ぶ機会があればいいと思います。そして、いいと思ったことを積極的に取り入れる姿勢を育てれば町は良い方向に進むと思います。
30～34 歳	女性	自治会で公園整備、美化活動をしてほしい。枯れ葉や落ち葉が放置されたままなので、子どもが遊ぶ時に危ない。
30～34 歳	女性	どのような地域活動があり、参加することで得られること、良かったことを実際に参加している方の意見も含めて伝えていく。
30～34 歳	女性	<p>近隣住民の噂話に翻弄されたくない。</p> <p>自身のプライバシーに関する事は聞かれたくない。</p> <p>農業に従事する方同士で団結・コミュニケーションをする事については否定しないが、農業に従事しない者を話の話題にしないでほしい。</p>
30～34 歳	女性	積極的に参加されたい方が活躍できる場として必要と考えますが、不必要に役職や人数などを設けると、消極的ながら参加せざるを得ない方も参加することとなるので、参加されたい方のご意向を重視しながらの方がいいように感じます。
30～34 歳	男性	親が町内のことに参加しているが、もっと効率よく行えないのか？
30～34 歳	女性	強制的に参加させないでほしい。
35～39 歳	女性	これから地域を支えていく若い世代の意見を取り入れ、参加しやすく、活動しやすい環境づくりをしてほしい。若い世代や今の時代のライフスタイルに合わせる。
35～39 歳	女性	負担を少なく、楽しく。
35～39 歳	女性	コロナで今は集まることができないと思うけど、レクリエーションなどはもっと増やして、地域の方々と仲良くする場は大切だと思います。
35～39 歳	女性	<p>子育て家庭からは負担になる行事も多いので、見直して欲しい。</p> <p>地区に人が足りないからと強制的に参加させる風習も考えて欲しい。</p>
35～39 歳	女性	現在の区の見直し。
35～39 歳	女性	誘われることがありません。自分から参加する大事さもわかりますが、目につきやすいところに情報があつたらなあと思います。
35～39 歳	女性	若い人も少ないし寂しいですが、どうにもならないかも。

年齢	性別	記載内容
35～39 歳	女性	参加者が義務感や負担を感じる事が少ない活動を増やして貰えば参加しやすくなると思います。仕事や育児世代は役員などは、どうしても負担を感じるため。
35～39 歳	女性	地区ごとの子どもクラブの交流会などしたら、子どもたちも喜ぶと思う。同じ人ばかりだと飽きるかも…。
35～39 歳	女性	婦人会や女性部発足等あるが、仕事がある為負担になる。出来れば無くして欲しい。
35～39 歳	男性	地域活性化のために活動を増やすのは、負担を増やし、結果的には地域から若手が離れる原因となる側面がある。このコロナの機会に負担を減らす活性化を考えた方が良い。
35～39 歳	男性	今はコロナ時代と言われているが、コロナと向き合いながら、地域活動を進めていく必要がある。 その中でも、子供たちを中心とした、野外活動、これは、白石でしか出来ないことを考える必要がある。 自然を活かして、自然と共存する力を養っていくことで、伝統文化の伝承にも繋がると考える。
35～39 歳	男性	戸建に住むと地域活動に参加しないといけませんが、必ずしも誰もが参加しないといけない風潮は…。土日に学校行事、地域行事と多くあると休む暇はない。

■40代の意見

年齢	性別	記載内容
40～44 歳	女性	子どもと老人が交流できる場の提供。
40～44 歳	女性	コロナ禍では、やはり自粛した方が良いのかなと思います。
40～44 歳	女性	毎月集まり会費を徴収することは簡素化すべき。
40～44 歳	女性	地域性が根強く昔ながらの風習が残っているが、時代とともに変わっていくところも必要であると思う。
40～44 歳	女性	子どもクラブの統一。子どもが少なくなっている地区は、近隣のクラブとの合併もして良いと思う。
40～44 歳	男性	子どもたちに対して遠慮せずに向き合うことが大切なのではないだろうか。
40～44 歳	女性	活動内容、他を明確に。関わっている人間が近くにいないと何をやっているのかがほぼ分からない。
40～44 歳	女性	昔ながらの風習も大切だか、それを押し付けられ息苦しさをを感じる事がある。 時代に沿った変化も必要だと思う。
40～44 歳	女性	買い物が不便なので福富地域にスーパーを作って欲しい。 佐賀市内へ通う高校生の交通の便が悪く、保護者の駅までの送迎が負担になっている。

年齢	性別	記載内容
		子育て支援に力を入れていると言われているようですが、要望等を聞かれた事もないので本当に力を入れてあるのか分からない。
40～44 歳	女性	独身者にとって地域活動に参加することは難しい(しづらい)。SNS等が発達している中で、地域活動を特に頑張る必要があるのか…。田舎であるがゆえに独身者にとっては参加したくても負い目があるので難しい。
40～44 歳	男性	PTA、消防団、公民館の役員などが毎年次々と回ってくる。
40～44 歳	男性	提案では無いです。町外から来た者から見ての感想。浮立など覚えてやってきた行事も地元育ちの世代から子供の習い事、試合、遠征で人数が揃わない為、中止廃止になるのを見ると『子育ての現状と地域行事の在り方のギャップ』を強く感じてます。 今の子育ては習い事の選択で土日も無く忙しいのが現状ですね
40～44 歳	女性	小学校の地区役員活動等は今後小学校統合も控えているので、もうなくても良いと思います(特に必要性を感じない)。
40～44 歳	男性	今までの慣習にとられず改革していくこと。
40～44 歳	女性	コロナ禍でも感染予防対策を講じて、リモートなど工夫しながら他者とのふれあいを増やしていく。孤立している方々がコロナで余計に孤立が高まっていくため、民生委員を中心として交流する場を提供する(ファーマーズマーケット等)。
45～49 歳	女性	時代の流れに合った活動が必要だと思います。昔からのやり方をそのまま行うのではなく、臨機応変なやり方が必要だと思います。
45～49 歳	女性	風習、習慣、慣例…田舎だと思うことばかり。今まではこうしていたと言われることばかり。他地域から転居された方の意見も取り入れるべきではないか？
45～49 歳	女性	現在は地域活動に携わる機会もなく、なんとなく日々を過ごしているが、白石町は高齢者がこれからも増加していくと思うので、個々が自立した生活を維持できるように努め、近隣住民への配慮が自然とできるような余裕を持ちたいと思う(提案ではないのですが…)。
45～49 歳	女性	負担を感じないようなやり方を希望。
45～49 歳	男性	地域婦人会、老人クラブが消滅する中、高齢者等が集まれる場(サロン)づくりが必要。
45～49 歳	男性	例えば、消防団活動などは担い手不足が深刻であり、合併するなどして活動継続しやすいようにしてほしい。
45～49 歳	男性	地域活動がどうのこうのより、役場の職員が率先して行動すべきは、地域行事に参加もしないであーだこーだ言う前にきちんと参加させろ。町民の税金で給料をもらっている身分で何もしていないのでは話にならないのでは。アンケートをする前に自分たちの立場をもっと考えろ！！
45～49 歳	男性	各世代が適度に参加できる地域活動があった方が良い。
45～49 歳	女性	人口減少にともなう農村環境の保全が難しくなる。

年齢	性別	記載内容
45～49 歳	女性	地域活動でよく川掃除があり、仕事が休みの日に家族や近所の人に参加しているのを見ていると、高齢になり休みの日まで駆り出されてとても大変だと思う。草刈り機の破片が飛んできてケガをしたら、白石町は保障してくれるのだろうかと思う。環境保全は治安の面からもとても大事だが、高齢者ばかりが参加するのは酷なので(若い人は仕事でいない)、業者に入札させて環境を保つ方が良いと思う。
45～49 歳	男性	環境保全の通帳から、懇親会ができるように引き出せるようにしてもらいたい。
45～49 歳	男性	消防団のOB会をつくりたい。火災の時など人員が足りない場合に手伝いをしてもらえるように！！
45～49 歳	女性	地域の運動会、スポーツイベントを無理強いしないでほしい
45～49 歳	男性	具体策はわからないが、よそがやっているからこちらもでは、活動として特色なり差別化なりは図れないので、発信性、全体参加型なりを考慮した企画を検討する。
45～49 歳	男性	関わらないようにしたい。
45～49 歳	男性	やりがいは感じるが、人数が少なくなると、一人ひとりの負担も大きくなってきます。

■50代の意見

年齢	性別	記載内容
50～54 歳	女性	参加が自由意志で決定できること、やむを得ず参加出来ない人が気まずさを感じないこと。
50～54 歳	女性	公民館での活動で結構子どもクラブ→体育部長+班長などいろいろまわってくる。働きながら関わりが多い。もっと少人数で良いと思う。地域活動をする時間がある人がすれば良いのにとおもいます。
50～54 歳	女性	地域の人々の意識を皆が住みやすいように改革する。(人に対する意識、社会の変化、経済、流通などに対する意識)
50～54 歳	男性	雇用促進。
50～54 歳	男性	婚活パーティーなど少子化対策事業
50～54 歳	女性	さっぱりした人付き合い。 閉会の時間を守る。
50～54 歳	女性	地域住民の方は偏った考え方の方が多いので、少し外の世界を見てみた方が良いのではないかと思います。
50～54 歳	男性	ケガがないようにさらなる注意喚起を。
50～54 歳	女性	持続可能な形を今後考えて変えていく必要がある。
50～54 歳	女性	何年か前までは子どもクラブなどの参加をしていましたが子供の成長と共に地域活動から離れてしまいました 退職後に地域活動に再度参加したいと思います

年齢	性別	記載内容
50～54 歳	男性	参加しないといけないような体制ではなく、気軽に参加できるような広報活動を進めていった方が良い。
55～59 歳	女性	行政はもっと若い人の意見を聞くべきだと思う。私も娘がいるが、白石町に来てくれとは言えない。
55～59 歳	男性	地域活動をケーブルTV等で紹介して、後継者や仲間が増えるように知ってもらえる機会ができれば良い。
55～59 歳	女性	様々な働き方があり、勤務についても休みがとりにくい人が多くなっていることを配慮し、義務的ではなく、温かい支えあいになればありがたい。
55～59 歳	女性	高齢者が増え、除草作業などが大変な仕事になってきている。出ないと近所から言われる。武雄などはお金を出して(出し合って)シルバーさんをお願いしている。
55～59 歳	男性	町民がたくさん集まれる運動会や球技大会、その他のイベント等(老若男女集まれるような)を活発に行ってほしい。
55～59 歳	女性	担い手が全部いなくなってきていて、老後は若い人がいないので、部落の集会所などでできる地域活動をしていけたら良いのですが。
55～59 歳	女性	役場の方と定期的な住民との意見交換
55～59 歳	男性	障害者も参加出来る地域活動
55～59 歳	女性	定期的に行うことが難しいので、単発でできる活動があれば登録制にして参加できるようにするなど。
55～59 歳	男性	地域によっては、高齢化等が進んでいるため地域活動を行なう枠組みの見直しが必要

■60代の意見

年齢	性別	記載内容
60～64 歳	女性	これからのまちづくりに向かって目標を掲げて、町が指導をしてくださって、それに向かって活動できればと思います。例えば、孤立化を防ぐために集合住宅化するなど。
60～64 歳	女性	地域住民が高齢化している中、行政からの支援がほしい。
60～64 歳	男性	地域活動の拠点となる場所が自治公民館となるが、老朽化に伴う改修等の経費支援を簡易に行ってもらいたい。
60～64 歳	男性	コロナが終息してから考えます。
60～64 歳	男性	このアンケートの主旨が何なのか知りたいです。今のままでは将来の展望がないから行うのか、何か目的(プロジェクト)などが構想されているのか。
60～64 歳	男性	特にありませんが、強制的に対象地区の併合や共同化は行わず、住民総意のもと自然な形で推進していただければ…。
60～64 歳	女性	趣味や興味のあることに関しての自由参加の活動であれば負担もなく入りやすい。半強制では参加したくない。
60～64 歳	男性	これまでのようにみんなが活動する意欲を失わない雰囲気を継続する掛け声、コミュニケーションが何気なくできる。
60～64 歳	男性	健康な人でも 65 歳以上になったら、ケアマネージャーさんが一人ひとりついていた方が良いと思います。
65～69 歳	女性	他所から転入した者にとってなかなか地域に受け入れてもらいにくい。交流することすらない。
65～69 歳	女性	うちの家から三町公民館まで遠い(グランドゴルフ場にしかなくてないので不満である)。孫の遊ぶ場所が隣の地区。多田の公民館に鉄棒、すべり台、ブランコがあり、孫がまだ小さいので利用したい。
65～69 歳	女性	若い人たちに参加していただきたい(負担にならない程度で)。
65～69 歳	女性	広い視野で、気軽に活動できたら。
65～69 歳	男性	自治会、集落を統合。大きい単位を望む。役職に就任する住民がいないため。
65～69 歳	女性	今はまだ働いているので、なかなか地域活動に参加できません。
65～69 歳	女性	町内でのいろいろな習い事？スポーツなどが増えた方が良い。
65～69 歳	女性	年齢に合った活動(地域)などを希望。
65～69 歳	男性	外国人労働者が増えている中で、もっと互いを理解できるような交流会を増やしてほしい。

■70 歳以上の意見

年齢	性別	記載内容
70 歳以上	女性	いろいろな年代の方とのコミュニケーションがとれるようなボランティア活動を増やす。
70 歳以上	女性	老人会等参加されない人がおられますが、家に引きこもってばかりでは何の意味もないと思います。人と接することで世間のことやいろいろなことがわかると思います。若い人と接した方が気持ちも若返り、楽しみも増えると思います。
70 歳以上	男性	小編成(公民館区)での協力活動。 リーダーとなる人の研修会開催。
70 歳以上	男性	区長さんがもっと活動に力を入れてほしい。
70 歳以上	女性	空家のところなどもみなさんと一緒にきれいに草むしりなどをしていきたいと思います。
70 歳以上	男性	住民同士対話が生まれる機会をつくっていく。
70 歳以上	女性	消防団の方たちの災害時の見まわりなど。災害が起きそうな時の声かけや誘導など、一人暮らしのところなどをお願いしたいと思います。
70 歳以上	男性	最小単位の部落。班会さえもボイコットして自我の世界を歩く人が増えている。集落人も減っていく現状では、このような人々は考えを改めて前向きな対応を願う。
70 歳以上	女性	資金面とか、町からの補助があれば助かります。ボランティアの団体なので、車で来られてもガソリン代も出していない状態です。
70 歳以上	男性	後継者がいない一人住まいの高齢者と車の増加に伴い改善が必要。 1. 回覧板まわしは、転倒、交通事故防止のため、町のホームページ、ケーブルテレビ、SNSで広報。 2. 必要以上に道路を増やさない→温暖化防止。 3. 町の境界に防犯カメラの設置→窃盗、詐欺から守る。 4. 区費等各種支払いを貯金からの自動支払いにする→各班の会計系の負担軽減。 5. 春と秋の清掃活動の人員が少なくなって、個々の負担が増加すると考えられるので、対策を打つ必要がある。 6. 山林、墓地、河川にごみが多い→商品の包装を簡単に。シールが剥がしにくい。ごみの区分が複雑すぎて面倒なことが原因だと思う。→大型もセンター持ち込みではなく、種別ごとに町で1ヶ所に日を決め、集中させれば捨てなくなると思える。→施策にも原因がある。
70 歳以上	男性	老人会活動など活動指導が欲しい時がある
70 歳以上	女性	3町がバラバラです。
70 歳以上	男性	参加を義務づけるような行事を可能な限り少なくすること。行事に縛られるような町には住みづらい。特に年をとれば重荷になる。

■年齢不詳の意見

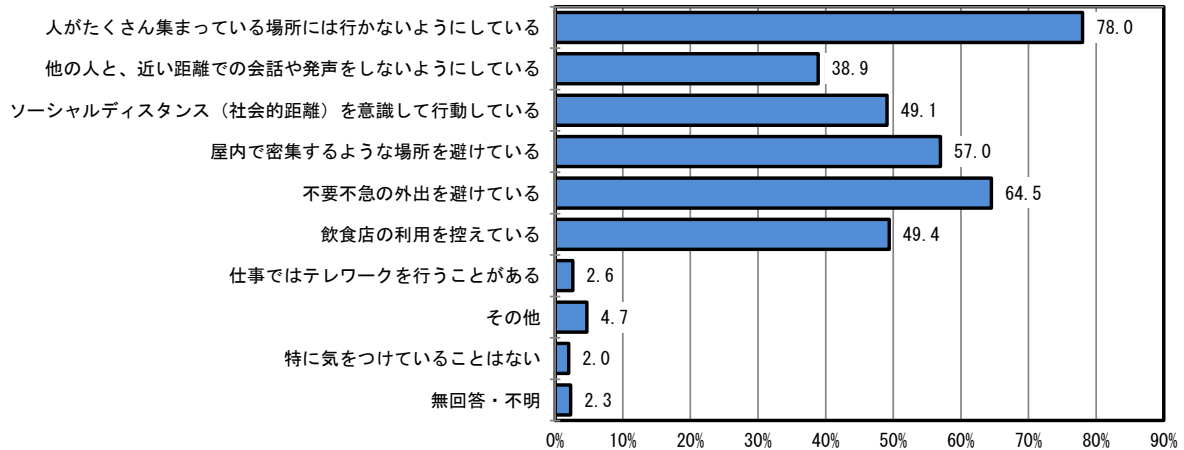
年齢	性別	記載内容
-	-	消防団など辞めてほしい。県外に行くなどをやりたくなる原因。
-	-	これから参加予定。
-	-	住まいが牛間田ですので、塩田川堤防を散歩していますが、高齢なのでできれば“ふれあい郷”の公園でジョギングやストレッチをしたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の影響について

問24 感染症予防のために、特に気をつけて行っていることを教えてください。

「人がたくさん集まっている場所には行かないようにしている」が78.0%で突出しています。

N=879



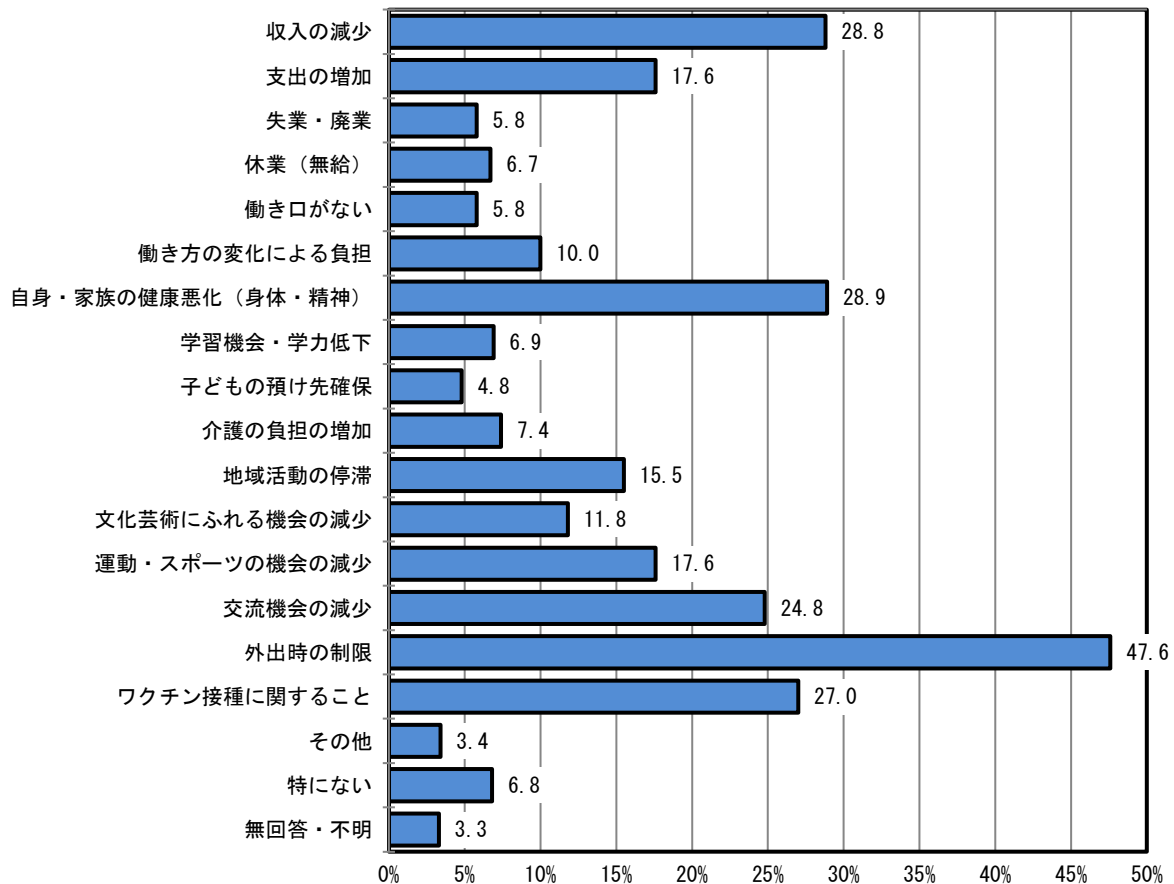
【その他】

マスクの着用／消毒／手洗い／うがい／自分の体は自分で守る。人にうつさない／買い物に出ても早く帰るようにしている／家族以外との会食は避ける／医療従事者なので、基本的なことに気をつけて行動している／県外へ行かない／

問25 コロナ禍で、現在あなたが困っていること、また、今後予想される困りごとを教えてください。

「外出時の制限」が47.6%で最も高くなっています。次いで「自身・家族の健康悪化（身体・精神）」が28.9%、「収入の減少」が28.8%が続いています。

N=879



【その他】

感染者に対しての厳しい声／病院に行くとき気になる／1年以上の自粛によるストレス／仕事の休みが多くなった／旅行ができない／老人施設の面会ができない／県外へ行けない／学校や保育園行事の中止による保護者間、子ども間の関わり／子どもたちのイベントが減り、運動会の時間短縮、授業参観なしなど寂しいしかわいそう。大人は飲み会とかしているのに！！／年金をずっともらえるか心配／固定消費税、税金が高い／コロナに対する差別など／ネット環境整備／自宅にこもりっぱなしで気分転換ができず、気が滅入っている／リモート学習／人と会話できない環境が長引くことでの、家族の精神的落ち込み／消防活動や聖火リレーなどの公的な事で、出席や警備を求められること、飲食を強要されること。コロナの中、極論でやらなくていい事は止めてほしい。パワハラです。／

【年代別クロス】

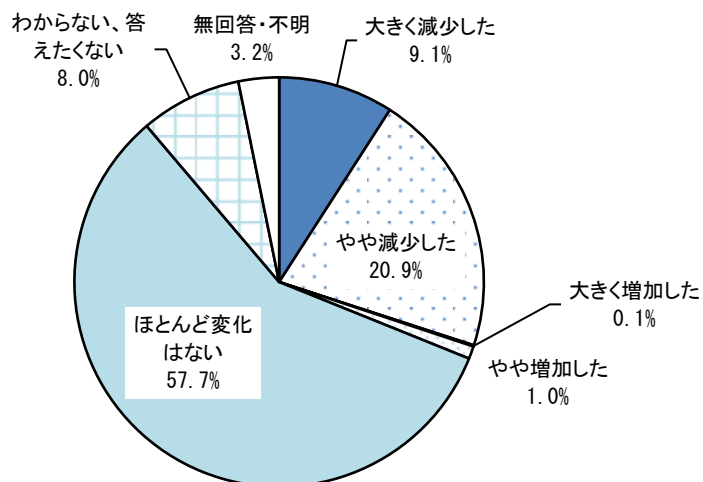
年代別にみると、60歳代までの年代では、「外出時の制限」「収入の減少」「自身・家族の健康悪化（身体・精神）」が高くなっています。60歳以上の年代では、「ワクチン接種に関すること」「外出時の制限」「地域活動の停滞」「交流機会の減少」等が高くなっています。

	全体 (N=866)	10歳代 ~20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
収入の減少	29.2	31.1	29.7	38.3	32.3	28.8	13.0
支出の増加	17.7	17.4	26.1	21.7	14.2	16.7	8.7
失業・廃業	5.9	4.5	5.1	6.9	7.9	7.1	3.6
休業（無給）	6.8	10.6	7.2	8.0	5.5	5.8	3.6
働き口がない	5.7	11.4	10.1	4.0	4.7	2.6	2.2
働き方の変化による負担	10.2	13.6	13.8	14.3	11.8	6.4	0.7
自身・家族の健康悪化（身体・精神）	29.1	28.0	31.2	33.1	28.3	28.8	23.9
学習機会・学力低下	6.9	6.8	18.8	10.9	1.6	1.3	1.4
子どもの預け先確保	4.6	4.5	15.9	5.1	0.8	1.3	-
介護の負担の増加	7.5	2.3	2.9	8.0	12.6	12.2	6.5
地域活動の停滞	15.5	6.8	10.1	17.7	10.2	19.2	26.8
文化芸術にふれる機会の減少	11.9	14.4	12.3	12.6	6.3	11.5	13.8
運動・スポーツの機会の減少	17.8	25.0	18.1	18.9	8.7	17.9	17.4
交流機会の減少	24.9	22.7	27.5	22.9	25.2	25.0	26.8
外出時の制限	47.7	60.6	66.7	52.0	36.2	40.4	29.7
ワクチン接種に関すること	27.0	20.5	29.0	22.3	22.0	33.3	34.8
その他	3.3	2.3	4.3	5.7	4.7	2.6	-
特になし	6.7	5.3	3.6	2.9	9.4	10.3	9.4
無回答・不明	3.0	0.8	-	1.7	2.4	1.9	11.6

問26 新型コロナウイルスの影響で、ご家庭の収入に変化はありましたか。

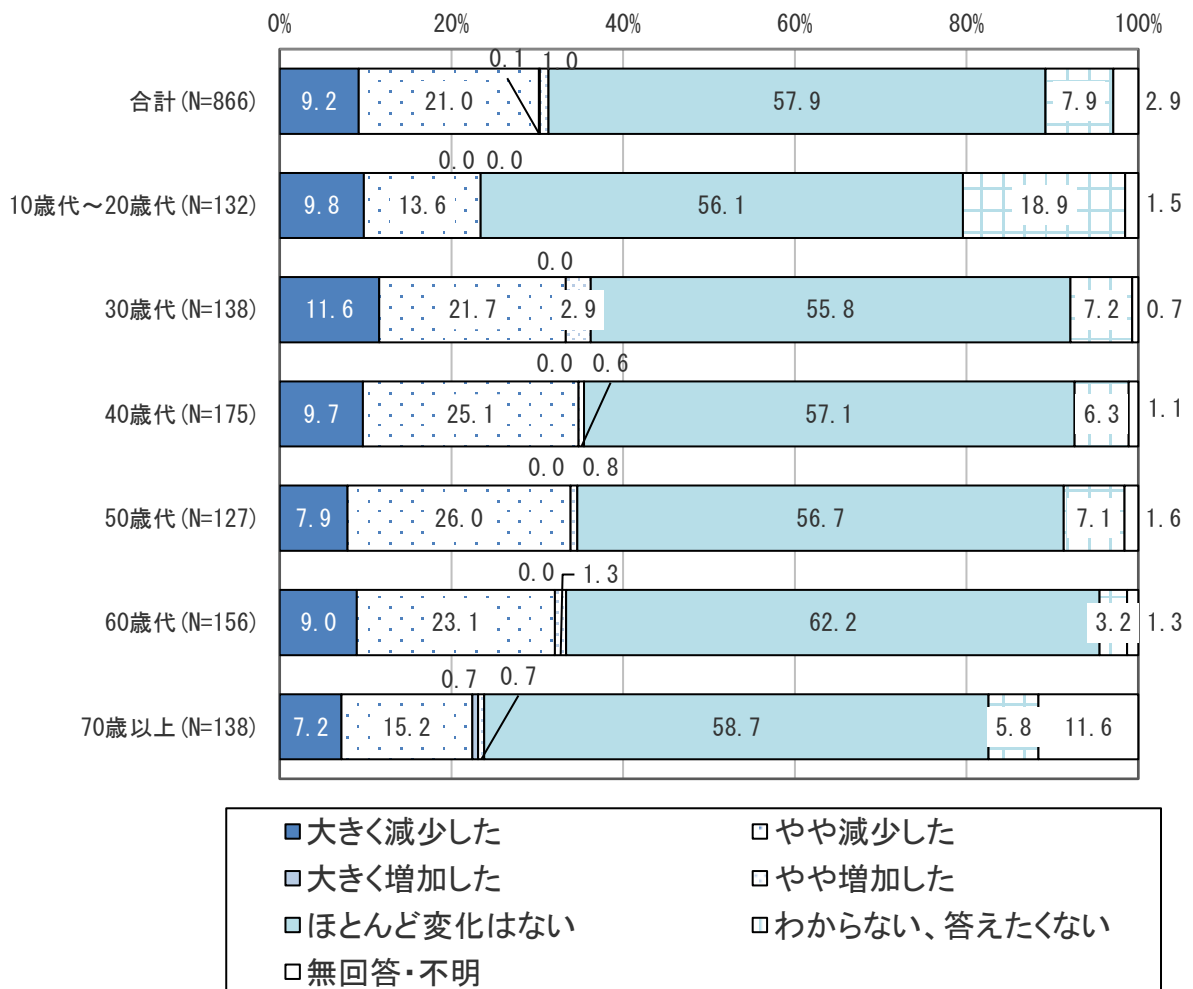
「ほとんど変化はない」が57.7%を占めています。「やや減少した」が20.9%、「大きく減少した」が9.1%が続いています。

N=879



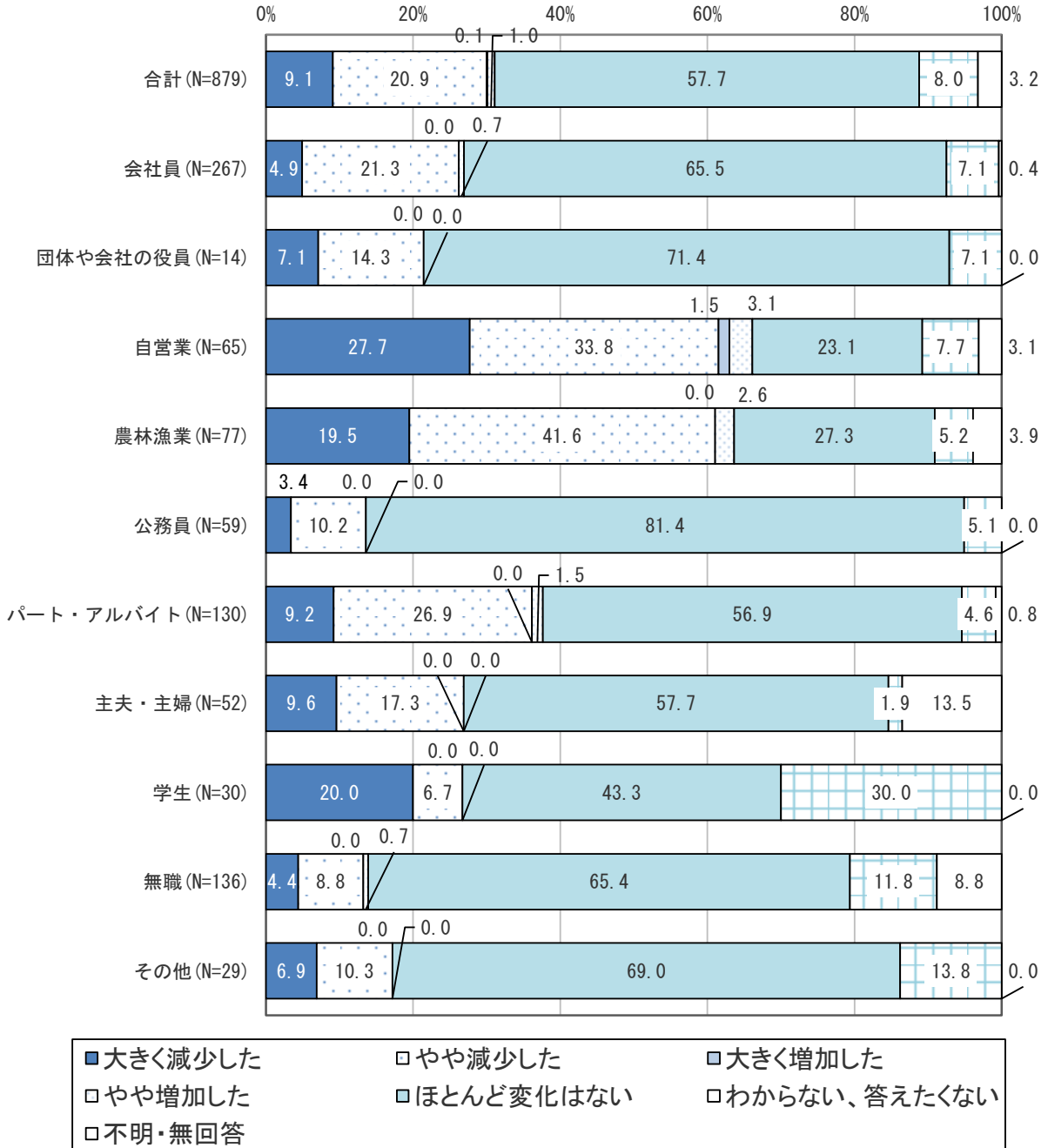
【年代別クロス】

年代別にみると、どの年代においても「ほとんど変化はない」が高くなっています。「減少した」（「大きく減少した」と「やや減少した」の合計）の割合は、30歳代から60歳代において約30～35%、「10歳代～20歳代」で約20%となっています。



【職業別クロス】

職業別にみると、「減少した」（「大きく減少した」と「やや減少した」の合計）の割合が高くなっているのは、「自営業」「農林漁業」となっています。

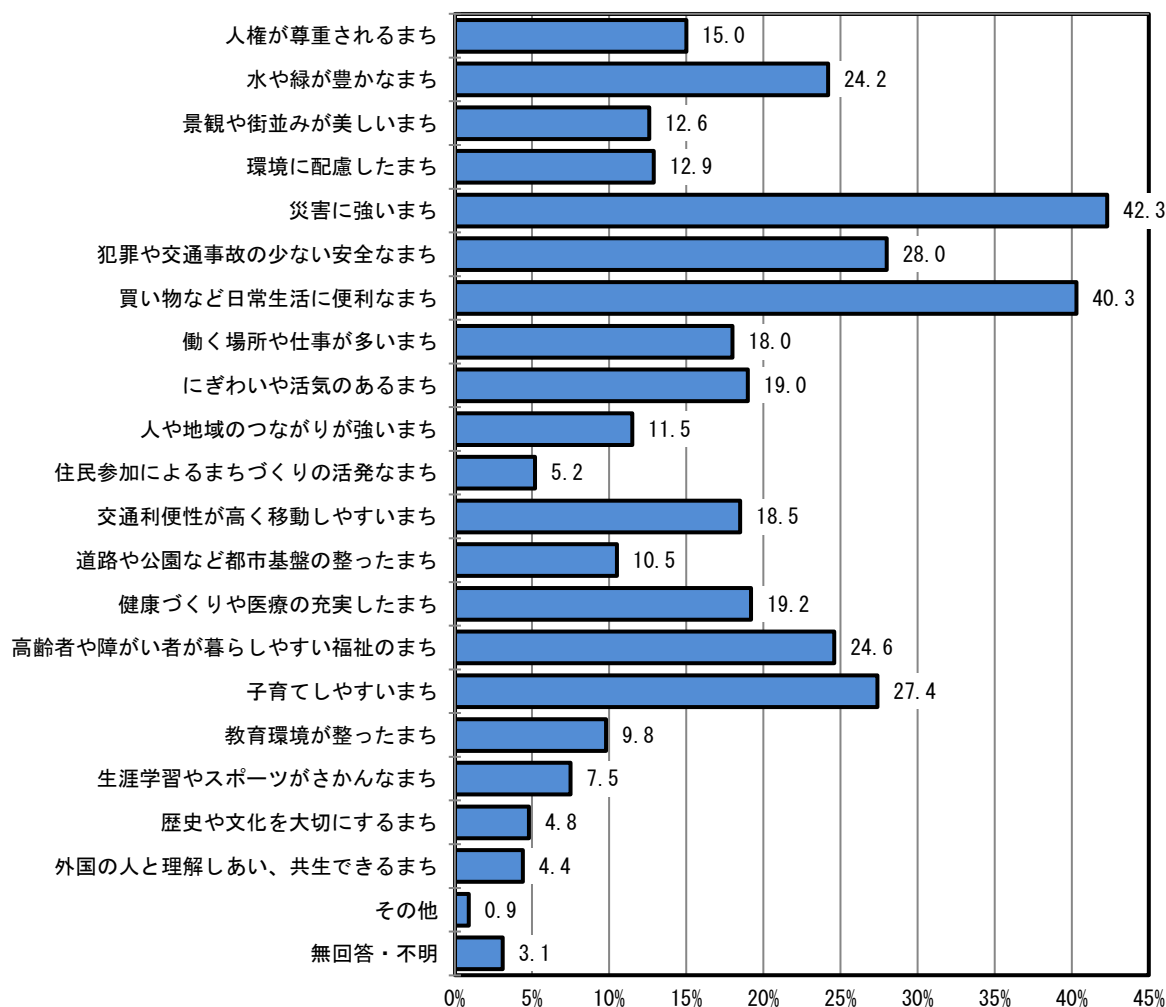


これからの白石町について

問27 あなたは、これからの白石町がどのような「まち」であってほしいと思いますか。

「災害に強いまち」が42.3%で最も高くなっています。次いで「買い物など日常生活に便利なまち」が40.3%、「犯罪や交通事故の少ない安全なまち」が28.0%が続いています。

N=879



【その他】

子どもや若い人が寄ってくるような町／農業振興／福富地区、小学校・中学校がなくなるのが心配／自分たち以外の人たち（白石で生まれ育った人たち）を受け入れる広い気持ちを持った町／これまで通り何事にも一生懸命取り組む町／何でも良いが、自慢できるものを1つでも良いからつくってほしい／興味がない／

【年代別クロス】

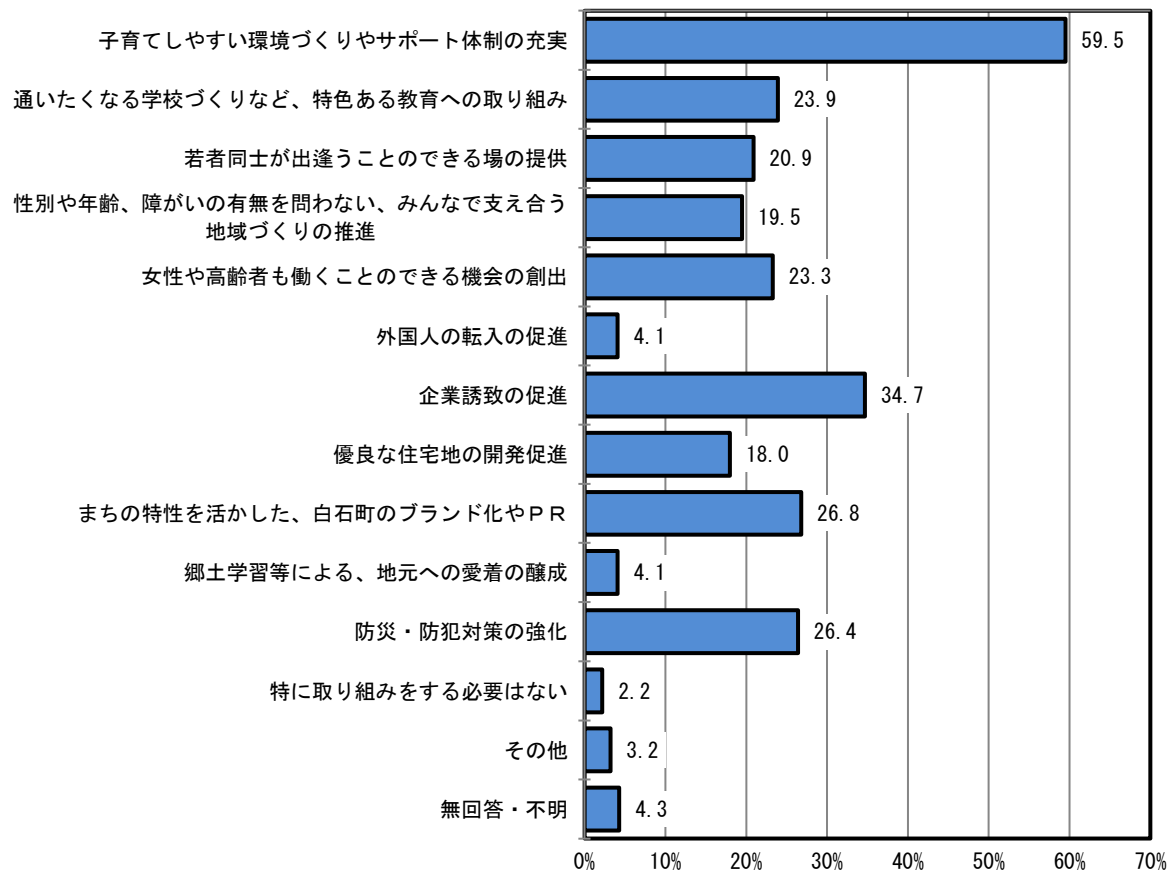
年代別にみると、「10歳代～20歳代」では、「買い物など日常生活に便利なまち」「子育てしやすいまち」「水や緑が豊かなまち」が高くなっています。「30歳代」では、「子育てしやすいまち」「買い物など日常生活に便利なまち」「災害に強いまち」が高くなっています。「40歳代」では、「災害に強いまち」「買い物など日常生活に便利なまち」「水や緑が豊かなまち」が高くなっています。「50歳代」では、「災害に強いまち」「買い物など日常生活に便利なまち」「高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉のまち」が高くなっています。「60歳代」では、「災害に強いまち」「買い物など日常生活に便利なまち」「犯罪や交通事故の少ない安全なまち」「高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉のまち」が高くなっています。「70歳以上」では、「災害に強いまち」「高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉のまち」「買い物など日常生活に便利なまち」が高くなっています。

	全体 (N=866)	10歳代 ～20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
人権が尊重されるまち	14.9	15.2	12.3	13.1	14.2	16.7	18.1
水や緑が豊かなまち	24.1	33.3	29.7	31.4	18.9	19.9	10.1
景観や街並みが美しいまち	12.6	19.7	15.9	14.9	13.4	6.4	5.8
環境に配慮したまち	12.8	15.9	9.4	16.6	15.0	12.8	6.5
災害に強いまち	42.0	32.6	39.9	43.4	50.4	43.6	42.0
犯罪や交通事故の少ない安全なまち	28.2	32.6	31.2	29.7	26.0	25.0	24.6
買い物など日常生活に便利なまち	40.1	43.2	41.3	40.6	46.5	38.5	31.2
働く場所や仕事が多いまち	17.9	19.7	12.3	20.6	28.3	14.1	13.0
にぎわいや活気のあるまち	19.1	27.3	26.1	17.1	22.0	11.5	12.3
人や地域のつながりが強いまち	11.5	12.1	8.7	13.7	10.2	10.9	13.0
住民参加によるまちづくりの活発なまち	5.3	7.6	2.2	4.6	6.3	5.1	6.5
交通便利性が高く移動しやすいまち	18.4	19.7	15.2	14.3	30.7	13.5	19.6
道路や公園など都市基盤の整ったまち	10.3	18.9	16.7	6.9	11.0	5.8	4.3
健康づくりや医療の充実したまち	19.3	12.9	13.0	23.4	24.4	17.9	23.2
高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉のまち	24.5	9.1	15.2	22.3	34.6	25.0	41.3
子育てしやすいまち	27.3	38.6	59.4	28.0	18.9	11.5	8.7
教育環境が整ったまち	9.7	8.3	21.0	9.7	10.2	3.8	5.8
生涯学習やスポーツがさかんなまち	7.5	9.1	10.9	8.0	8.7	5.1	3.6
歴史や文化を大切にすまち	4.7	5.3	1.4	5.1	3.9	5.8	6.5
外国の人と理解しあい、共生できるまち	4.0	7.6	3.6	4.0	5.5	2.6	1.4
その他	0.9	-	1.4	0.6	1.6	1.9	-
無回答・不明	3.0	1.5	1.4	-	3.1	3.2	9.4

問28 あなたは、人口減少の抑制あるいは人口増加に向けて、今後どのような取り組みが必要であると考えますか。

「子育てしやすい環境づくりやサポート体制の充実」が59.5%を占めています。「企業誘致の促進」が34.7%、「まちの特性を活かした、白石町のブランド化やPR」が26.8%で続いています。

N=879



【その他】

移住者の受け入れ／若者が住みたいと思えるようなまちづくり／コロナのような有事の際の迅速な対応／わからない／どこの町にも考えられないようなビッグイベント。温泉を掘り当てる、掘っていれば必ず出る／町の基盤である農業の後継者が育つ取り組みを行ってほしい／農業振興／全国的な自然現象／白石町では決め手がない感じがする／年配の方々の意識改革／娯楽、レジャー施設、大型商業施設等の誘致／図書館、プールなどの充実！！地元者への優遇／音楽、ダンス、ゲーム制作、映像クリエイターなど、様々な職種につながるような環境（場）づくり。子どもや若者向け／組織のリストラ。行事の簡素化／都市部の製造工場の誘致。県外から白石町に移り住む人に金銭的なサポート／公民館費・区費などの徴収の撤廃、税金をもっと町民のために有効活用する／補助金の町／同居手当の支給／自衛隊へり基地推奨／若者の発想を取り入れ、保守的な考えをやめてほしい／定住者に対する支援は絶対に必要／すぐ近くに成功例があるので？／交通網の整備／農・漁業が話題になる町／移住しやすい町になるような取り組み／

【年代別クロス】

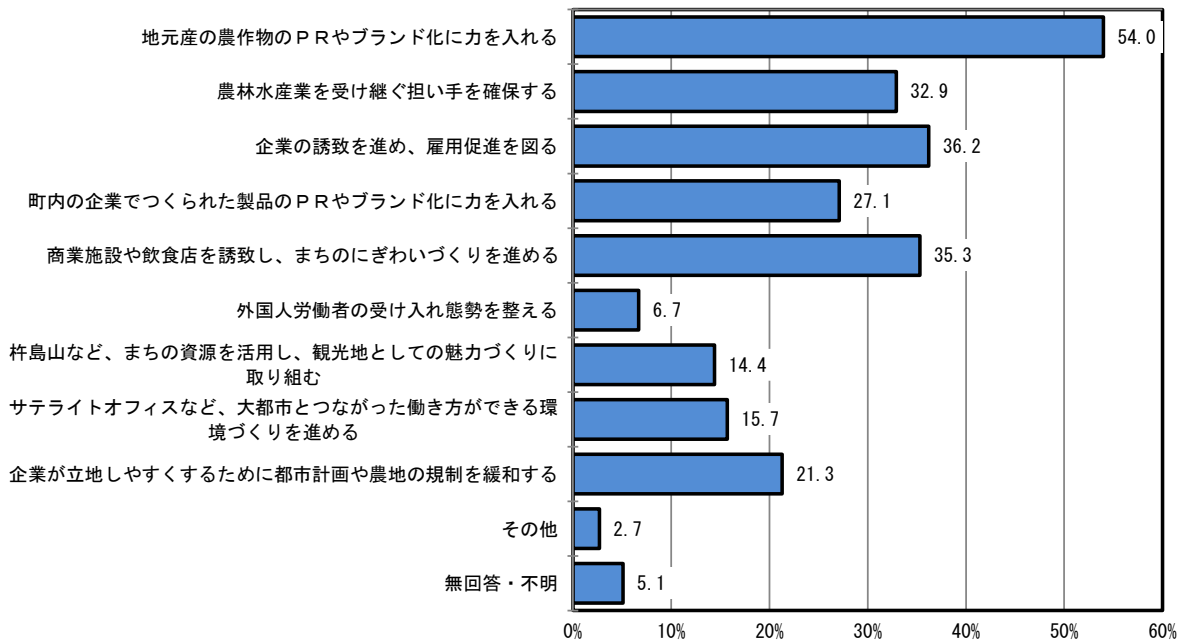
年代別にみると、どの年代においても「子育てしやすい環境づくりやサポート体制の充実」がもっとも高くなっています。40歳代までの若い世代では、「通いたくなる学校づくりなど、特色ある教育への取り組み」が高くなっており、それ以上の年代では「企業誘致の促進」が高くなっています。

	全体 (N=866)	10歳代 ~20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
子育てしやすい環境づくりやサポート体制の充実	59.8	73.5	79.0	62.3	52.0	55.1	37.0
通いたくなる学校づくりなど、特色ある教育への取り組み	23.9	29.5	36.2	29.1	19.7	16.0	12.3
若者同士が出逢うことのできる場の提供	21.0	35.6	18.8	14.9	21.3	14.1	24.6
性別や年齢、障がいの有無を問わない、みんなで支え合う地域づくりの推進	19.3	13.6	10.1	21.7	26.0	22.4	21.0
女性や高齢者も働くことのできる機会の創出	23.1	14.4	11.6	21.1	33.9	34.6	22.5
外国人の転入の促進	4.0	4.5	2.9	6.9	3.1	3.8	2.2
企業誘致の促進	34.8	22.0	34.8	37.7	39.4	36.5	37.0
優良な住宅地の開発促進	17.9	25.8	27.5	21.1	18.9	10.9	3.6
まちの特性を活かした、白石町のブランド化やPR	26.9	24.2	24.6	28.0	27.6	33.3	22.5
郷土学習等による、地元への愛着の醸成	4.0	2.3	1.4	4.0	7.1	3.2	6.5
防災・防犯対策の強化	26.2	22.7	31.2	24.6	26.8	25.0	27.5
特に取り組みをする必要はない	2.2	3.0	3.6	1.7	0.8	0.6	3.6
その他	3.2	2.3	2.9	3.4	4.7	3.2	2.9
無回答・不明	4.3	1.5	1.4	1.7	2.4	5.8	13.0

問29 あなたは、白石町の産業振興に向けて、どのような取り組みが重要だと考えますか。

「地元産の農作物のPRやブランド化に力を入れる」が54.0%を占めています。「企業の誘致を進め、雇用促進を図る」が36.2%、「商業施設や飲食店を誘致し、まちのにぎわいづくりを進める」が35.3%で続いています。

N=879



【その他】

何も変化なし／わからない／1は十分やっているけど寄ってはこないで、他の対策を。子どもや若者が寄ってくるような町にしてほしい／地元の人が地元で働ける場所。よその企業を誘致しても、よそに持っていかれるなら意味はないと思う／農業振興／担い手が取り組むべき／特に変わったことをするのではなく、今あるものをもっと素敵におしゃれに見せる工夫を／農作物、製品のPRに人件費をかけるなら、企業との契約（出荷契約）を促したり、アンテナショップなどを利活用して、PRの主旨である生産者を豊かにするというところに力を入れてほしい／住宅のサポート／自衛隊ヘリ基地誘致／農業の企業化／不要な議員削減、職員削減／

【年代別クロス】

年代別にみると、「10歳代～20歳代」では、「地元産の農作物のPRやブランド化に力を入れる」「商業施設や飲食店を誘致し、まちのにぎわいづくりを進める」「町内の企業でつくられた製品のPRやブランド化に力を入れる」が高くなっています。

「30歳代」では、「地元産の農作物のPRやブランド化に力を入れる」「商業施設や飲食店を誘致し、まちのにぎわいづくりを進める」「企業の誘致を進め、雇用促進を図る」が高くなっています。「40歳代」では、「地元産の農作物のPRやブランド化に力を入れる」「企業の誘致を進め、雇用促進を図る」「農林水産業を受け継ぐ担い手を確保する」が高くなっています。

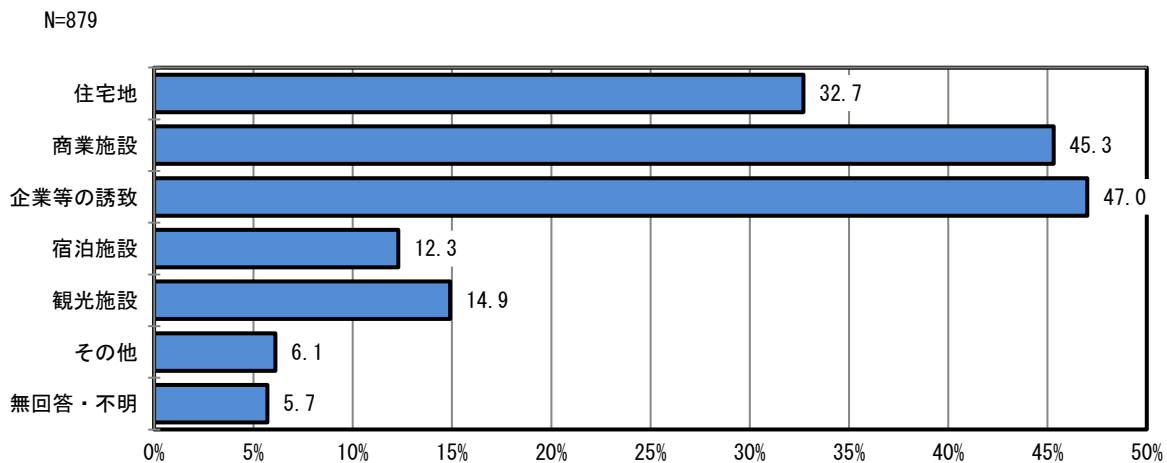
「50歳代」では、「地元産の農作物のPRやブランド化に力を入れる」「企業の誘致を進め、雇用促進を図る」「商業施設や飲食店を誘致し、まちのにぎわいづくりを進める」が高くなっています。

「60歳代」「70歳以上」では、「地元産の農作物のPRやブランド化に力を入れる」「農林水産業を受け継ぐ担い手を確保する」「企業の誘致を進め、雇用促進を図る」が高くなっています。

	全体 (N=866)	10歳代 ～20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
地元産の農作物のPRやブランド化に力を入れる	53.9	60.6	50.0	57.1	52.8	56.4	45.7
農林水産業を受け継ぐ担い手を確保する	32.9	24.2	21.7	30.3	36.2	44.2	39.9
企業の誘致を進め、雇用促進を図る	36.3	25.8	37.0	36.0	45.7	39.1	34.1
町内の企業でつくられた製品のPRやブランド化に力を入れる	27.4	33.3	31.9	29.7	20.5	27.6	20.3
商業施設や飲食店を誘致し、まちのにぎわいづくりを進める	35.3	43.9	48.6	29.1	38.6	30.1	24.6
外国人労働者の受け入れ態勢を整える	6.7	12.1	5.8	9.7	2.4	5.1	4.3
杵島山など、まちの資源を活用し、観光地としての魅力づくりに取り組む	14.4	13.6	14.5	11.4	18.9	12.8	16.7
サテライトオフィスなど、大都市とつながった働き方ができる環境づくりを進める	15.8	19.7	15.2	20.0	16.5	16.7	5.8
企業が立地しやすくするために都市計画や農地の規制を緩和する	21.2	15.9	21.7	22.9	20.5	23.1	22.5
その他	2.7	-	4.3	4.0	3.1	0.6	3.6
無回答・不明	5.0	3.8	3.6	1.7	2.4	5.1	13.8

問30 今後の人口減少に伴い、公共施設等の再編を進める必要がありますが、再編後の公共施設等の跡地はどのような形で利用した方がよいと思いますか。

「企業等の誘致」が47.0%で最も高くなっています。次いで「商業施設」が45.3%、「住宅地」が32.7%で続いています。



【その他】

高齢者の集合（共同）住居／ファミリーレストランなど／20～30代が寄ってくるような施設／公園／公営住宅／緊急物資保管所／特にない／デイサービス／介護施設／コンビニが少ない／子どもの室内の遊び場／わからない／公園の中に小さなレストランや喫茶、読書等ゆっくりくつろげる場所が併設されていたらなお良いと思う／ドッグラン／子どもたちが遊べる場所／高齢者と幼児が一緒にいられる場所や施設をつくってほしい／売却不動産／運動場、地域のふれあい／児童館／現道の駅のような施設だけはつくらないでほしい。名前は「道の駅」といっても直売所と変わらない／温泉（バリアフリーの入浴施設）／小学校跡を各区の公民館、スポーツ活動、医療活動の場に／災害時の避難場所／所在地の特徴を活かした遊び場（干潟とか）／人口減少が著しい。人を増やすことを考えてほしい。他の自治がしていることを真似しても、どうにもならない。「道の駅」が良い悪い例ではないか？少子化が進み、子育てするのも大変な世の中。若い世代が住みついてくれるように何かしらやってほしい／公共住宅の新築、または改築／災害時の備蓄／キャンプ場／みゆき公園（嬉野市）、森林公園（佐賀市）のような町内外の憩いの場／地域の人やみんなが集まれる場所として活用／他県からでも農業をやりたい人を受け入れる施設／民間に売却／スポーツ公園／各区高齢者の集會場の洋式化（椅子化）／そのままの施設で利用してもらおう／病院、薬局／生涯学習やスポーツの拠点となるような複合施設（障がい者や高齢者の活動や就業の取り組みも含む）／再編計画内容がわからない。跡地もわからないので意見不可／

【年代別クロス】

年代別にみると、「10歳代～20歳代」「30歳代」の若い世代では、比較的に「商業施設」が高くなっており、それ以上の年代では「企業等の誘致」が高くなっています。

	全体 (N=866)	10歳代 ～20歳代 (N=132)	30歳代 (N=138)	40歳代 (N=175)	50歳代 (N=127)	60歳代 (N=156)	70歳以上 (N=138)
住宅地	32.7	35.6	37.0	37.1	27.6	31.4	26.1
商業施設	45.3	55.3	54.3	45.1	47.2	42.3	28.3
企業等の誘致	46.9	33.3	37.7	52.6	46.5	51.3	57.2
宿泊施設	12.5	15.2	12.3	10.3	11.8	16.0	9.4
観光施設	15.0	17.4	13.0	13.7	22.8	12.2	12.3
その他	6.0	2.3	3.6	7.4	7.1	5.8	9.4
無回答・不明	5.7	3.8	3.6	2.9	6.3	5.1	13.0

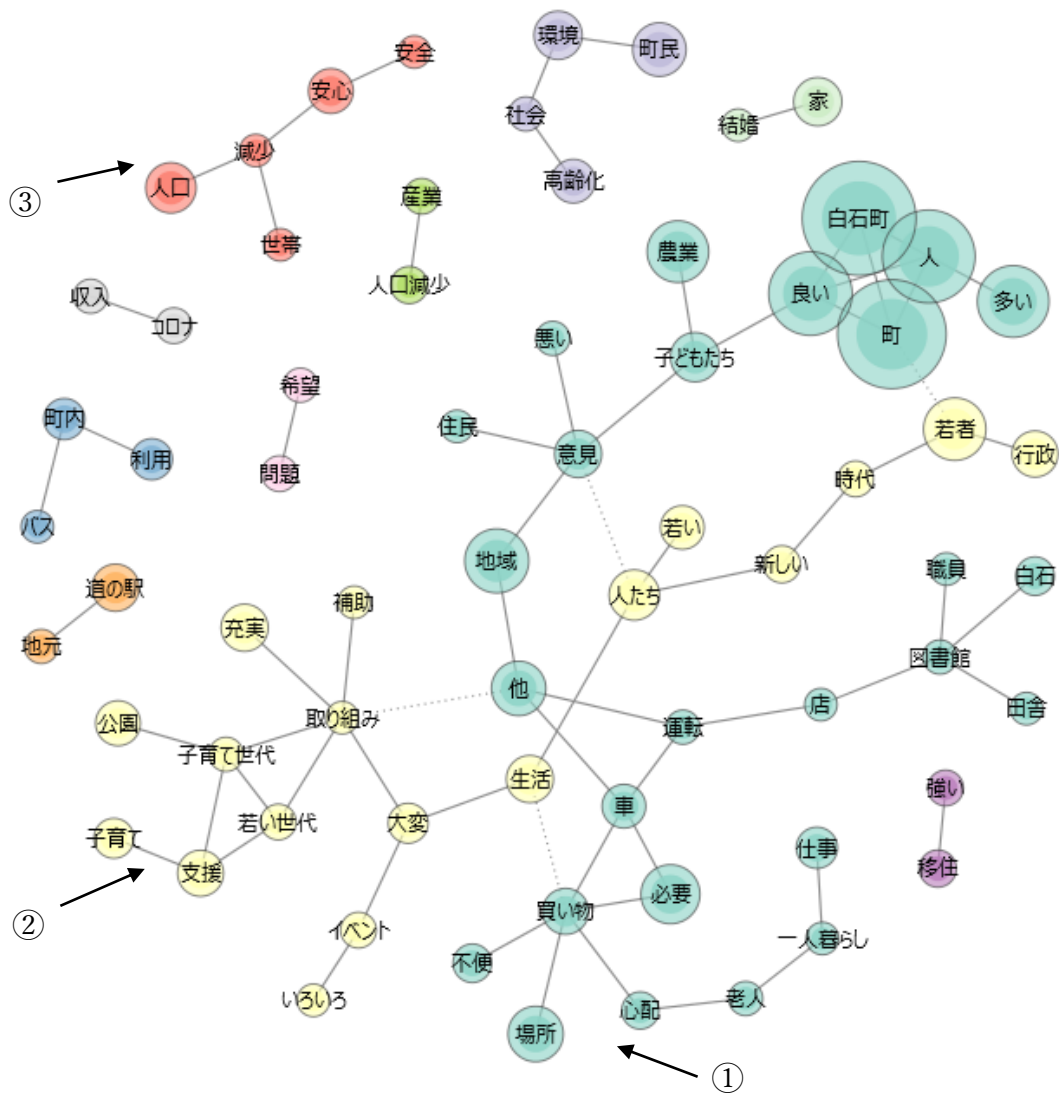
問31 最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

自由回答の傾向をみるために、単語と単語との結びつきを分析し、それを可視化しました。

①のつながりをみると、「買い物」「不便」「車」「必要」「心配」「老人」「一人暮らし」といった単語がつながっています。買い物の不便さや高齢者の買い物やそのための交通手段といったことがトピックとなっています。

②のつながりをみると、「子育て世代」「支援」「公園」「取り組み」「充実」といった単語がつながっています。子育て世代への支援や子どもが遊べる公園といった、若い世代の意見がトピックとなっています。

③のつながりをみると、「人口」「減少」「安心」「安全」といった単語がつながっています。またその近くに、「人口減少」「産業」「高齢化」「社会」「環境」「町民」といった単語がならんでおり、人口減少や高齢化による町への影響に関することがトピックとなっています。



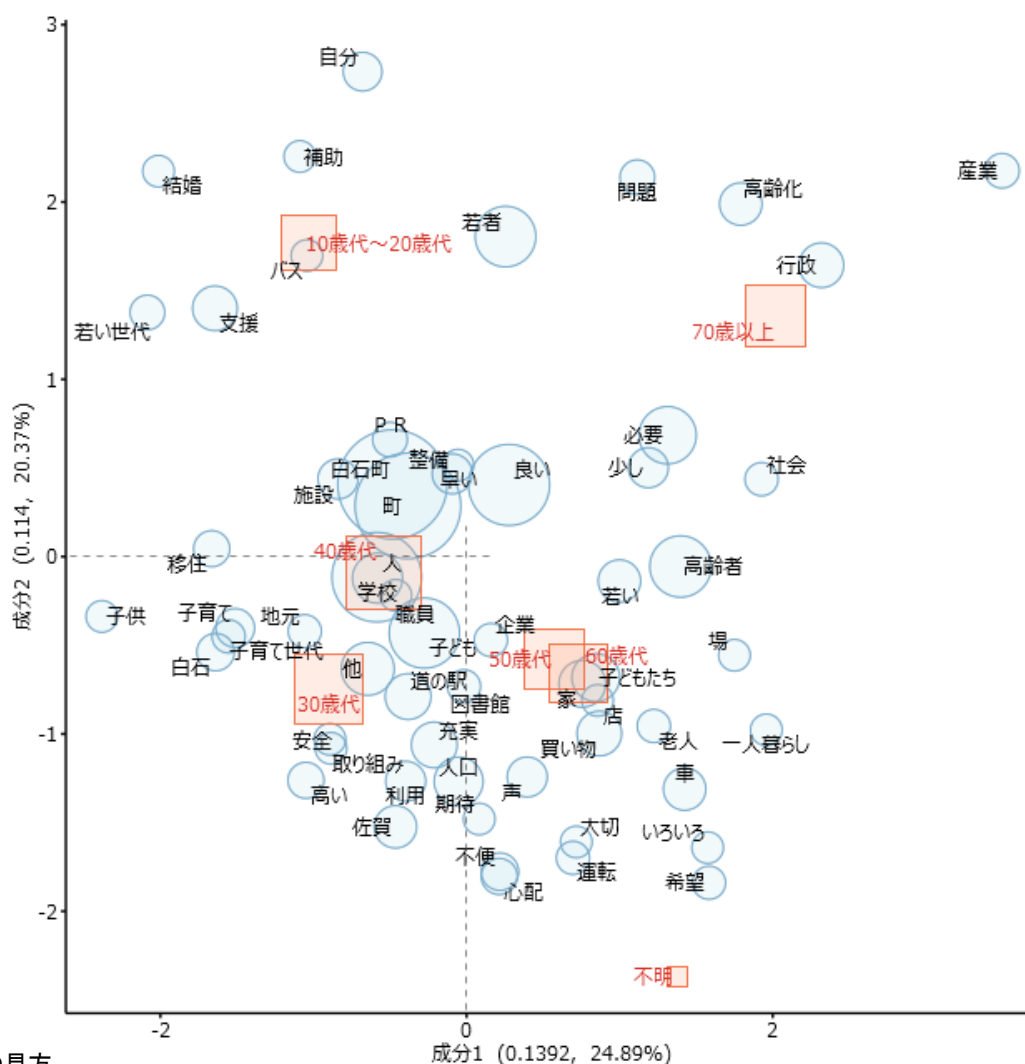
■年代別による傾向

年代別に意見の傾向をみると、「10歳代～20歳代」の若い世代では、「若者」「支援」「補助」「バス」「結婚」といった単語が配置されています。若い世代向けの支援等を望む意見があることがわかります。

「30歳代」「40歳代」は近い位置にあり、その周りには、「子育て世代」「子育て」「移住」「子ども」「安全」「学校」「道の駅」といった単語が配置されています。子育て等子どもに関する事柄が特徴的になっています。

「50歳代」「60歳代」は重なっており、似たような傾向にあることがわかります。それらの周りには、「買い物」「老人」「車」「運転」「一人暮らし」「不便」「心配」といった単語が配置されています。買い物や交通手段に関する事柄が特徴的になっています。

「70歳以上」では、「行政」「高齢化」「産業」といった単語が配置されています。「高齢化」に関する行政への要望が多くなっているようです。



* 図の見方

この図は各カテゴリー（ここでは「年代」とそのカテゴリーに特徴的な高い単語を可視化したもの。中心点（0, 0）付近の単語は、どのカテゴリーでも使用され、特徴的でない単語。カテゴリー（「赤の四角」で示される）の近くに配置されている単語が、そのカテゴリーを特徴づけるものとなっている。

なお、単語の○の大きさはその単語の頻度の回数を示す。○が大きければ、頻度も高い。

